

Canon

**POWER
PROJECTOR**

LX-4K3500Z/LX-4K2600Z

powered by **LX-BD4K01**

使用説明書



ご使用前に、必ずこの使用説明書をお読みください。

特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

JPN

はじめに

このたびは、キヤノン パワープロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、プロジェクター本体に別売のラージベニューボード（LX-BD4K01）を組み合わせ、接続した機器からの映像をスクリーンに投写します。プロジェクター本体のみでは使用できませんのでご注意ください。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この使用説明書（本書）をよくお読みください。使用説明書は、いつでも見られる場所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本書は、下記の機種について共通の使用説明書です。LX-BD4K01 を組み合わせた LX-4K3500Z を主にして説明しています。

- 本書で説明している機種名
LX-4K3500Z、LX-4K2600Z、LX-BD4K01

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。

その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡やけがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

レーザー光線の安全に関する警告

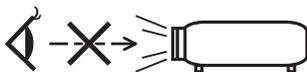
- 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C6802 : 2014、IEC60825-1 3rd Edition : 2014 のクラス 1 に分類されています。
- 本製品は、IEC 62471-5 1st Edition: 2015 のリスクグループ 3 に分類されています。



- 本書に掲載した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。



- レーザー放射光の直接被爆を禁止します。RG3 IEC62471-5 : 2015
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。
視力障害の原因となります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、レンズのほうを向いている人がレーザーの出射光路上にいないことを確認してください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



- 本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際に、お客様自身で本機を分解しないでください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
また改造しないでください。火災・感電およびレーザー光がもれる原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

決められた電圧以外で使用しない



- 以下に示す電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
C1 接続の場合（プロジェクター電源と光源電源へ AC 電源を 1 本のコードで供給する場合）
・ AC200V-240V 単相 50/60Hz
C2 接続の場合（プロジェクター電源と光源電源へ別々の電源コードで AC 電源を供給する場合）
・ AC200V-240V 単相 50/60Hz（プロジェクター電源）
・ AC200V-240V 単相 50/60Hz（光源電源）
C1 接続、C2 接続に関しては設置マニュアルを参照してください。

電源コードの取り付けについて



- 電源コードの接続工事は、販売店にご依頼ください。お客様による取り付けは絶対にしないでください。
火災・感電の原因となります。
- 本機に電源コードは添付していません。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用してください。電源コードの選定および手配は、販売店にご依頼ください。

警告

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない万ープロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、本体へのAC電源の供給を遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。
- C2 接続の場合、まず本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源へのAC電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。

天吊りの設置について



- 天吊りやアイボルトを使用して吊り下げるなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにししない
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは AC 電源を遮断する



AC 電源を遮断する

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合、キャビネットが破損した場合は、本体の電源を切り、本体へのAC電源の供給を遮断器などで遮断してください。火災・感電・視力障害の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。
- C2 接続の場合、まず本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源へのAC電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断して、販売店へ修理をご依頼ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。
- C2 接続の場合、まず本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。

清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

設置および輸送について



- プロジェクターの設置および輸送については、販売店にご相談ください。お客様による設置および輸送は絶対におやめください。けがの原因となります。

動作中にレンズをふさがない



- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



注意

アース端子を接続する



- 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。

通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
- プロジェクターを設置する場所は周囲から適切な空間をあけてください。(▶15ページ)

長期間使用しないときは、AC電源を遮断する



AC電源を遮断する

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず本体の電源を切り、本体へのAC電源の供給を遮断器などで遮断してください。
- C2接続の場合、本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源へのAC電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断してください。

お手入れの際はAC電源を遮断する



AC電源を遮断する

- お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、本体へのAC電源の供給を遮断器などで遮断してください。
- C2接続の場合、本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源へのAC電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断してください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

レンズシフト動作中は指の挟み込みに注意



- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

移動するときはAC電源を遮断する



AC電源を遮断する

- 移動する場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、機器間の接続ケーブルおよびレンズユニットを外したことを確認のうえ、行ってください。
- C2接続の場合、本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源へのAC電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断してください。

注意

移動するときは6人以上で行う



- プロジェクターを移動するときは6人以上で行い、必ず本体前面と背面のハンドルを持って運んでください。6人未満で持ち運んだ場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

冷却液に触れない



- 本体が破損した場合、内部から冷却液が漏れ出る場合があります。漏れ出た冷却液は、飲んだり触れたりしないでください。万一口や目に冷却液が入ってしまった場合は、すみやかに医師に相談してください。

レンズの取り外し / 取り付け



- レンズユニットの取り外し、取り付けを行う際は、プロジェクターの電源を切ってください。視力障害の原因となることがあります。なお、レンズユニットの取り外しおよび取り付けについては、販売店にご依頼ください。

レンズシフトの調整は後方または横から行う



- レンズシフトの調整はプロジェクターの後方または横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の LAN および HDBaseT ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN および HDBaseT ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は販売店で

- 1年に一度くらいは内部の清掃を販売店にご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては販売店にご相談ください。

⚠️ 注意

レンズユニットは落下防止用ワイヤーで固定する

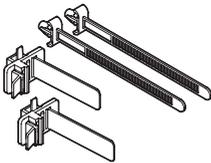


- 天吊りなど、本機を高所から吊り下げて設置するような場合は、落下防止用ワイヤー（市販品）を使ってレンズユニットを固定してください。固定しないと、レンズユニットが外れた場合に落下するおそれがあります。

電源コードのコネクターは電源コードストッパーで固定する



- 本機は電源コードストッパー（下図）を添付しています。本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり押し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。電源コードストッパーの取り付けについては、[▶38 ページ](#)をご覧ください。



ケーブルについて



- HDMI、DisplayPort、BNC、LAN、RS232C、15ピン、37ピンケーブルは、シールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

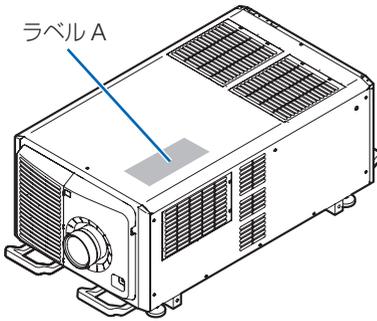
3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意



- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
 - ・ 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
 - ・ スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
 - ・ 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
 - ・ 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
 - ・ 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

本機の警告ラベル

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください



ラベル A: Lamp Warning Label (ランプ警告ラベル)

**RISK GROUP 3
WARNING**
DO NOT LOOK INTO THE BEAM.
NO DIRECT EYE EXPOSURE TO THE BEAM IS PERMITTED.
HAZARD DISTANCE: REFER TO THE MANUAL.

**GROUPE DE RISQUE 3
AVERTISSEMENT**
NE PAS REGARDER DIRECTEMENT DANS LE FAISCEAU.
L'EXPOSITION DIRECTE DES YEUX AU FAISCEAU EST INTERDITE.
DISTANCE A RISQUE: SE REPORTER AU MANUEL.

**RISIKOGRUPPE 3
WARNUNG**
SCHAUEN SIE NICHT IN DEN STRAHL.
DIREKTER AUGENKONTAKT MIT DEM STRAHL IST NICHT ERLAUBT.
SICHERHEITSABSTAND: SIEHE HANDBUCH.

**ГРУППА РИСКА 3
ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ**
НЕ СМОТРИТЕ НА ЛУЧ.
ЗАПРЕЩАЕТСЯ ЛЮБОЕ ПРЯМОЕ ВОЗДЕЙСТВИЕ ЛУЧА НА ГЛАЗА.
ОПАСНОЕ РАССТОЯНИЕ: СМ. РУКОВОДСТВО ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ.

**リスクグループ 3
警告**
ビームを見ないこと。
目へのビームの直接被曝を禁止する。
障害距離: 取扱説明書を参照。

**위험 그룹 3
경고**
빔을 눈으로 보지 마십시오.
빔을 직접 눈에 노출하는 것은 허용되지 않습니다.
위험 거리: 설명서를 참조하십시오.

**风险组别 3
警告**
请勿注视光束。
不允许将眼睛暴露于光束中。
有害距离: 请参阅手册。

IEC/EN 62471-5:2015

FOR NORTH AMERICA

**RISK GROUP 3
WARNING**
HAZARDOUS OPTICAL RADIATION EMITTED FROM THIS PRODUCT.
DO NOT LOOK AT OPERATING LIGHT SOURCE.
EYE INJURY MAY RESULT.
HAZARD DISTANCE: REFER TO THE MANUAL.
NO DIRECT EXPOSURE TO BEAM SHALL BE PERMITTED.
NOT FOR HOUSEHOLD USE.

**GROUPE DE RISQUE 3
AVERTISSEMENT**
RADIATIONS OPTIQUES DANGEREUSES EMISES PAR CE PRODUIT.
NE REGARDEZ PAS DIRECTEMENT LA SOURCE LUMINEUSE.
CELA POURRAIT ENTRAÎNER DES BLESSURES AUX YEUX.
DISTANCE A RISQUE: SE REPORTER AU MANUEL.
L'EXPOSITION DIRECTE AU RAYON DOIT ÊTRE AUTORISÉE.
NE CONVIENT PAS A UN USAGE DOMESTIQUE.

IEC/TR 62471-2:2009
IEC/EN 62471:2006

投写光の放射範囲 (HD: Hazard distance (障害距離))

- 下図の範囲は、IEC 62471-5 1st Edition : 2015 にてリスクグループ 3 (RG3) に分類された投写光の範囲を表しています。
- 設置時には下記事項を順守してください。

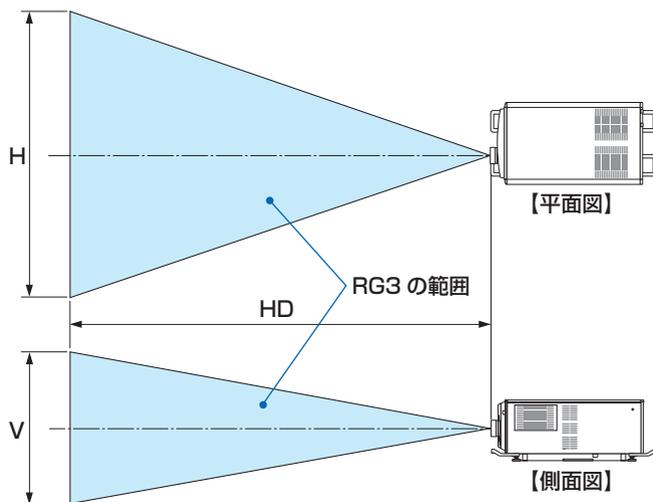
人の目が RG3 の領域内 (障害距離) に侵入しないようにバリアを設けること。

バリアは RG3 となる領域から水平距離 1.5m 以上の保安距離をとること。

ただし、頭上に設置する場合は、床面と RG3 の領域の距離を 3m 以上確保すること。

RG3 の領域内への侵入を制御するか、領域内では観客の目の暴露を防ぐ高さで本機を設置すること。

レンズ		投写距離(m) RG3 HD	画面サイズ(m)	
			H	V
L2K-10F1		4.1	4.51	2.38
L4K-11ZM	Wide	4.6	4.07	2.15
	Tele	7.1	4.13	2.18
L4K-15ZM	Wide	6.2	4.28	2.25
	Tele	9.1	4.33	2.29
L4K-20ZM	Wide	8.2	4.14	2.18
	Tele	14.0	4.12	2.17
L2K-30ZM	Wide	11.0	4.07	2.15
	Tele	16.0	4.10	2.16
L2K-43ZM1	Wide	16.0	4.10	2.16
	Tele	22.0	4.07	2.15
L2K-55ZM1	Wide	21.0	4.20	2.21
	Tele	32.0	4.16	2.19



※レンズシフトをお使いの場合は、画面が移動します。シフト量も考慮してください。

(164 ページ)

注意

安全確保のため、以下の事項を順守してください。

設置について

- 設置場所のレイアウト設計の際には本書に記載された安全への処置の実施を遵守すること。
- 危険回避のため、緊急時に電源プラグをコンセントから抜けるように、コンセントは手の届く範囲に設置すること。
もしくは、プロジェクターを停止できるようなデバイス（ブレーカー）を設けること。
- 前項の RG3 の領域へ人の目が入らないような安全処置を行うこと。
- 設置する場所に適したレンズを選定し、レンズごとに設定された安全のための領域を確保する処置を適切に行うこと。
プロジェクターを動作させて光の調整作業などを行う際は、必ず適切な処置が完了してから行うこと。
- 設置後にレンズごとに設定された安全確保の処置が適切に施行されているか妥当性の確認を行うこと。
妥当性の確認は定期的を実施し、確認結果の記録を保管すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、安全に関する教育を機器使用前に必ず実施すること。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。故障の原因となります。
 - ・ 強い磁界が発生する場所
 - ・ 腐食性のガスが発生する場所
- 本機は、360°のどの角度でも設置が可能です。本機を左右方向に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
ただし、ポートレート設置は可能です。ポートレート設置のときは、ポートレート設置上のご注意をご覧ください。 (▶ 173 ページ)



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(12時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめ販売店にご相談ください。
- 本機を高所(気圧の低い所)や高温環境下で使用すると、内部部品の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- プロジェクターの移動について
プロジェクターを移動するときは6人以上で行い、必ず本体前面と背面のハンドルを持って運んでください。その際、レンズユニットはプロジェクター本体から取り外してください。また、プロジェクターに強い衝撃を与えないでください。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
- 廃棄について
本体を廃棄する際は分解を行わず、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

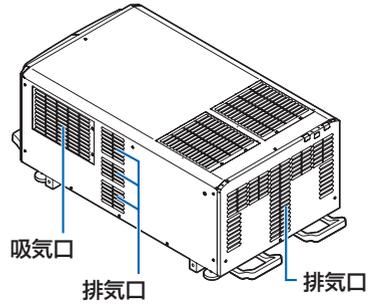
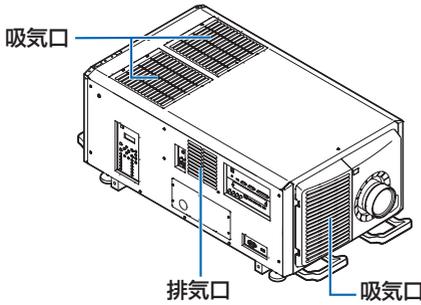
設置する際の周囲との距離についての注意

本機を設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。

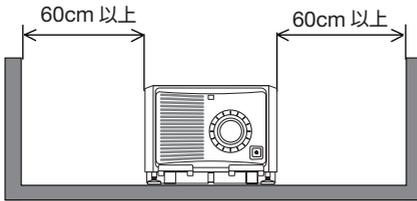
本機から出た高温の排気が再び本機に吸気される場合があります。

また、エアコンから吹き出された風が本機に当たらないようにしてください。

本機の温度制御で異常(温度エラー)を感知して自動的に電源が切れることがあります。



例 1 : 本機の左右に壁がある場合



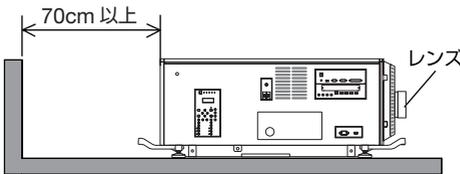
- 左の図において、プロジェクター本体の後方、および上方は十分な空間があるものとします。

- ポートレート投写の場合も、吸気口と床との間に必要な距離は、左の図と同じです。

ポートレート投写の設置例については [173 ページ](#) をご覧ください。

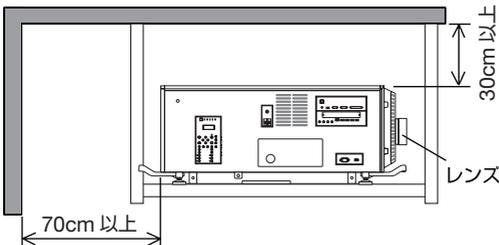
例 2 : 本機の後方に壁がある場合

(1) 床置きの場合



左の図において、プロジェクター本体の両横および上方は十分な空間があるものとします。

(2) 天井設置の場合



左の図において、プロジェクター本体の両横および下方は十分な空間があるものとします。

別売のレンズユニット取り扱い上の注意

本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。なお、レンズユニットの取り外しは販売店にご依頼ください。

AC 電源を遮断する際の注意

以下のような場合は本体への AC 電源の供給を遮断しないでください。機器が故障するおそれがあります。

- 投写中
- Power On 中
- Power Off したあとのクーリング中

著作権についてのご注意

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
本機の警告ラベル	10
投写光の放射範囲 (HD: Hazard distance)	12
お願い	14
目次	17
本書の表記について	19
1. 添付品や名称を確認する	20
1-1. 特長	20
1-2. 添付品の確認	22
1-3. 本体各部の名称	24
1-4. リモコン各部の名称	31
2. 映像を投写する（基本操作）	36
2-1. 映像を投写する流れ	36
2-2. 電源コードを接続する	37
2-3. コンピューターと接続する	40
2-4. 本機の電源を入れる	41
2-5. 入力信号を選択する	44
2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する	46
2-7. 本機の電源を切る	52
3. 便利な機能	54
3-1. 投写光を遮断する	54
3-2. 光源を消灯する	54
3-3. 本体操作ボタンをロックする	55
3-4. 映像を消去する (AV ミュート)	55
3-5. オンスクリーン表示を消去する (オンスクリーンミュート)	56
3-6. オンスクリーンメニューの表示位置を変更する	57
3-7. 動画を静止画にする (静止)	58
3-8. 映像の一部を拡大する (部分拡大)	58
3-9. 輝度 (明るさ) を調整する	59
3-10. 台形歪みを調整する (4 点補正)	60
3-11. セキュリティを設定して無断使用を防止する	63
3-12. 3D 映像を投写する	66
3-13. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	68
3-14. レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する (レンズメモリー)	70

4. マルチスクリーン投写	74
4-1. マルチスクリーン投写でできること	74
4-2. 1台のプロジェクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する 【PICTURE BY PICTURE】	75
4-3. 複数のプロジェクターを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写する 【タイリング】	77
4-4. 投写画面の境界を調整する【エッジブレンディング】	80
5. オンスクリーンメニュー	85
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	85
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	89
5-3. 入力端子	95
5-4. 調整	99
5-5. 表示	114
5-6. セットアップ	123
5-7. 情報	151
6. 機器と接続する	152
7. 本体のお手入れ	154
7-1. キャビネットの清掃	154
7-2. レンズの清掃	155
7-3. エアフィルターの清掃	156
8. 付 録	160
投写距離とスクリーンサイズ	160
対応解像度一覧	166
仕様	169
外觀図	172
ポートレート（縦向き）投写をする	173
主な端子のピン配列と信号名	174
故障かな？と思ったら	179
インジケータ表示一覧	183
トラブルチェックシート	186
本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて	188
別売品／商標について	189
保証とアフターサービス	190

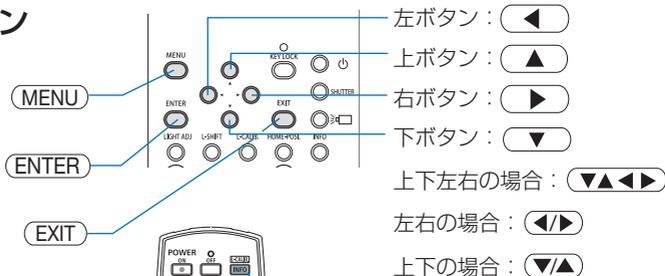
本書の表記について

マークの意味

	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「プリセット」



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

■全般

● 3チップDLP方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	解像度	アスペクト比
LX-4K3500Z	35,000lm/40,000lm (センター)	4096×2160 (4K)	17:9
LX-4K2600Z	26,000lm/30,000lm (センター)	4096×2160 (4K)	17:9

●優れた防塵性能

光学部品の冷却に、循環冷却システムを採用しています。密閉構造内部で温風を冷風に換えて循環させるため、外気が光学部品に触れません。ほこりや塵などによる光学部品の汚れを防いで*1、明るさを維持します。

*1 ただし、完全に遮断することはできません。

●メタルフィルター採用によるランニングコスト削減

金属製フィルターの採用により、定期的な清掃を行うことで、フィルターを交換することなく繰り返し使用できます。

それによりランニングコストを削減するとともに、使用済みフィルターを廃棄する必要もなく、環境への配慮も実現しています。

■光源・輝度

●長寿命レーザー光源を採用

信頼性、冗長性に優れた新開発のレーザー光源を採用。レーザー光源は長寿命(約20,000時間)のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。また、光源が突然消灯して黒画面になる危険性を低減します。

●幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、輝度を30%*2から100%まで1%刻みで調整することができます。

*2 LX-4K2600Zは40%からです。

●輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。

ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

■設置

●設置場所に応じて選べるオプションレンズ

本機は、7種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

なお、工場出荷時はレンズが装着されていません。別途オプションレンズをお買い求めのうえ、取り付けは販売店へご依頼ください。

●設置角度が垂直方向360°可能(チルトフリー)

本機は、垂直方向360°のどの角度でも設置が可能です。

ただし、本体を左右に傾けて設置することはできません。

●ポートレート投写が可能

本機は、投写画面を90°傾けたポートレート投写が行えます。

●天吊り設置について

本機は、アイボルトを使用して吊り上げることができます。移動のためだけでなく、天吊りでの常設が可能な構造です。

アイボルトを使用した設置は、販売店にご依頼ください。

■映像

●HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SDIなどの豊富な入力端子

本機は別売のラージベニューボードと組み合わせて使用します。

ラージベニューボードにはHDMI (1/2)、DisplayPort (1/2)、HDBaseT、SDI (1/2/3/4)の入力端子を装備しています。

HDMI入力端子、DisplayPort入力端子は、HDCPに対応しています。

HDBaseTは、HDBaseT Allianceによって策定された家電製品向けの接続規格です。

●電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体側面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整（レンズシフト）ができます。

●2つまたは4つの映像を同時表示（PICTURE BY PICTURE）

本機1台で2つまたは4つの映像を同時に投写することができます。

2画面表示の場合は、画面の位置を調整することができます。また、ポートレート投写にも対応しています。

●複数台のプロジェクターを用いたマルチスクリーン投写

複数台のプロジェクターを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写することができます。さらに、エッジブレンディング機能により、画面の境界を滑らかにします。

●設置環境に合わせたカラーキャリブレーション機能

スクリーンの種類、周囲の壁の色（内装）、照明など、様々な現場固有の条件を反映し、意図した色を忠実に再現します

■ネットワーク

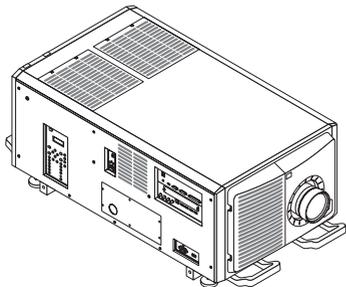
●有線LAN対応

LANポートとHDBaseTポート（RJ-45）を装備しており、有線LANに接続してコンピューターから本機を制御することができます。

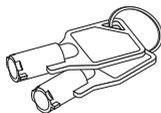
1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

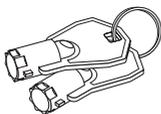
- プロジェクター本体（本機）
- 防塵キャップ



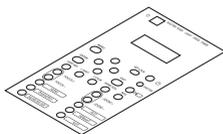
- サービスキー：2個



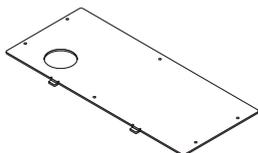
- 管理者用キー：2個



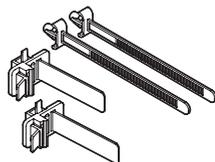
- 本体操作部表示ラベル



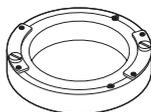
- プレートインレット $\phi 35$



- 電源コードストッパー



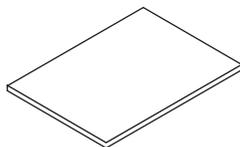
- レンズホルダー



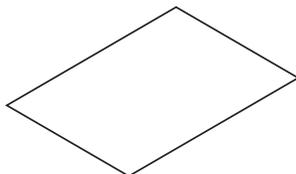
- ギアボックスカバー
- ネジ：2個



- 重要なお知らせ

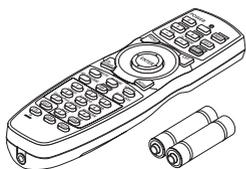


- ワランティーシート（欧州用）



□ ラージベニューボード (LX-BD4K01)

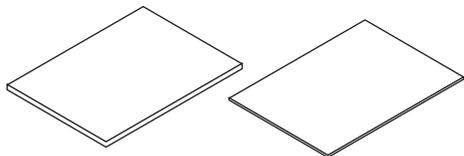
- ・ ラージベニューボード
- ・ リモコン
- ・ 単三アルカリ乾電池 (リモコン用) : 2 本



- ・ Projector CD-ROM
PDF (Portable Document Format) 形式の使用説明書 (本書) を収録しています。



- ・ 重要なお知らせ (LX-BD4K01)
- ・ クイックセットアップガイド



● ラージベニューボードについて

- ・ 本機は、プロジェクター本体のみでは使用できません。必ずラージベニューボード(LX-BD4K01)と組み合わせて使用してください。
- ・ ラージベニューボードの取り付けは、販売店にご依頼ください。
- ・ 本書の説明およびイラストは、ラージベニューボードが取り付けられている状態で説明します。

● 本体操作部表示ラベルについて

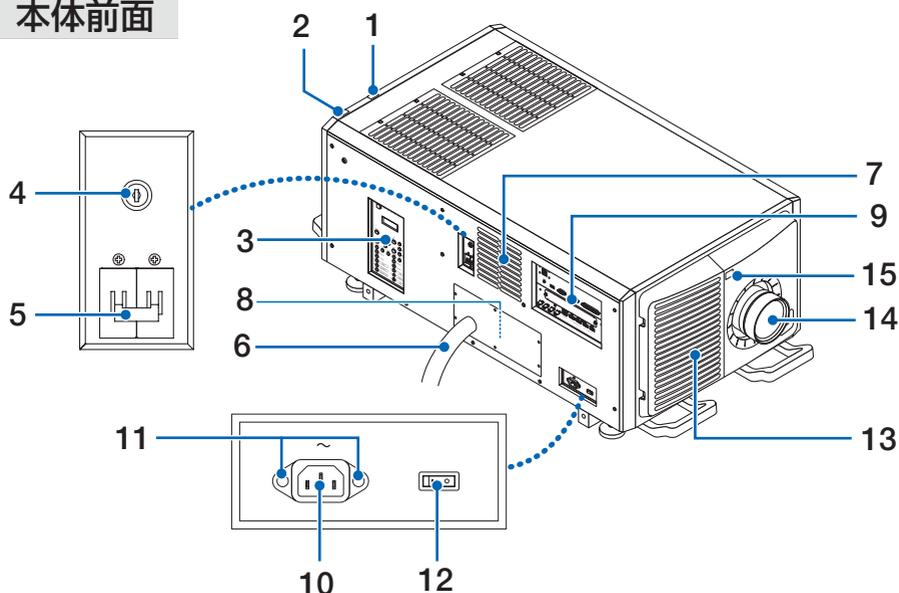
- ・ ご使用の前に、本体操作部／表示部に貼り付けます。
- ・ 本体操作部表示ラベルの貼り付けは、販売店にご依頼ください。
- ・ 本書の説明およびイラストは、ラベルが貼られている状態で説明します。

▲ 参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面



1 後方LED/LIGHT ステータスインジケータ
光源の状態を表示します。光源が点灯しているときは点灯、消灯しているときは消灯します。(▶185 ページ)

2 後方LED/SYSTEM ステータスインジケータ
本機の状態を表示します。正常に動作しているときは緑色またはオレンジ色で点灯/点滅します。異常がある場合は赤色で点灯/点滅します。(▶185 ページ)
異常の場合は、液晶表示画面の表示内容を確認してください。

3 本体操作部/表示部

- ・ 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
- ・ 電源入/スタンバイなど本機の状態を知らせます。(▶28 ページ)

4 管理者用スイッチ
管理者用キーを垂直の向きに差し込んで水平方向へ回すとプロジェクターを正常動作させることができます。
このとき管理者用キーは抜けなくなります。管理者用キーが取り付けられていなければ、本機は起動しません。

5 光源電源スイッチ
AC 電源を供給した状態で、光源電源スイッチ、プロジェクター電源スイッチを ON にすると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

6 電源コード
プロジェクター本体に AC 電源を供給するコードです。電源コードの接続についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

7 排気口
プロジェクター内部の熱を排気します。ふさがらないでください。

8 リモートインターロック端子(本体側面内部)
本機を安全に使用するための端子です。外部から本機を制御するときを使用します。ご使用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

9 接続端子部

各種映像信号のケーブルなどを接続します。
(👉27 ページ)

10 AC IN 端子

電源コードを接続します。電源コードは添付されていません。電源コードについては、販売店にご相談ください。

11 電源コードストッパー取り付け穴

添付の電源コードストッパーを取り付けて、電源コードのコネクターが抜け落ちることを防ぎます。

12 プロジェクター電源スイッチ

AC 電源を供給した状態で、光源電源スイッチ、プロジェクター電源スイッチを ON にすると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。(👉42 ページ)

13 吸気口／エアフィルター

プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないようにください。ほこりの侵入を防ぐため、吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。エアフィルターの清掃については、「7-3. エアフィルターの清掃」(👉156 ページ)をご覧ください。

14 レンズ (別売品)

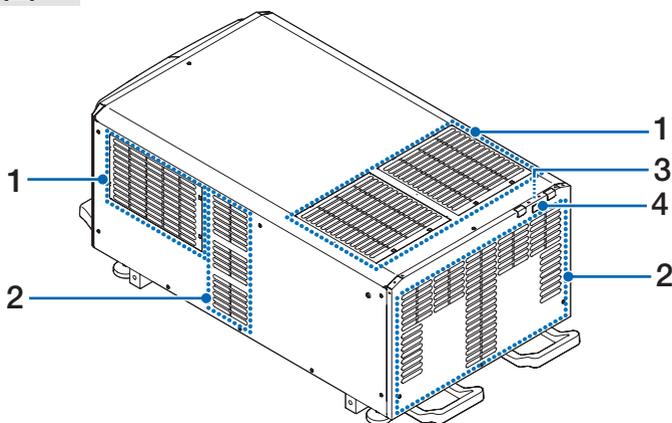
ここから映像が投写されます。レンズの取り付け、および交換については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

15 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。
(👉34 ページ)
本体の前面と背面の2箇所にあります。

注意

- 動作中は吸気口および排気口をふさがないようにください。吸気および排気が不十分な場合、内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本体背面**1 吸気口／エアフィルター**

プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないようにください。ほこりの侵入を防ぐため、吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。エアフィルターの清掃については、「7-3. エアフィルターの清掃」(👉156 ページ)をご覧ください。

2 排気口

プロジェクター内部の熱を排気します。ふさがないようにください。

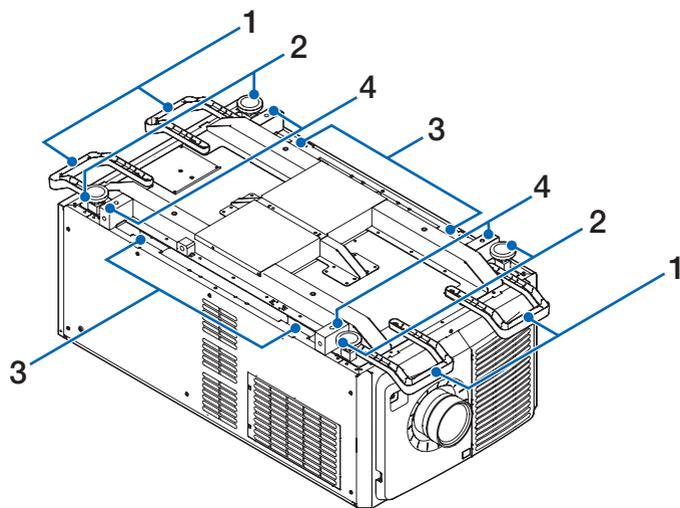
3 ブザー (本体背面内部)

AC 電源の供給時やエラー発生時にブザー音が鳴ります。

4 リモコン受光部**注意**

- 動作中は吸気口および排気口をふさがないようにください。吸気および排気が不十分な場合、内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本体底面



1 ハンドル (4箇所)

プロジェクター移動用のハンドルです。

2 アジャスター (4箇所)

通常設置の際に、プロジェクターの傾きを4箇所で調整することができます。

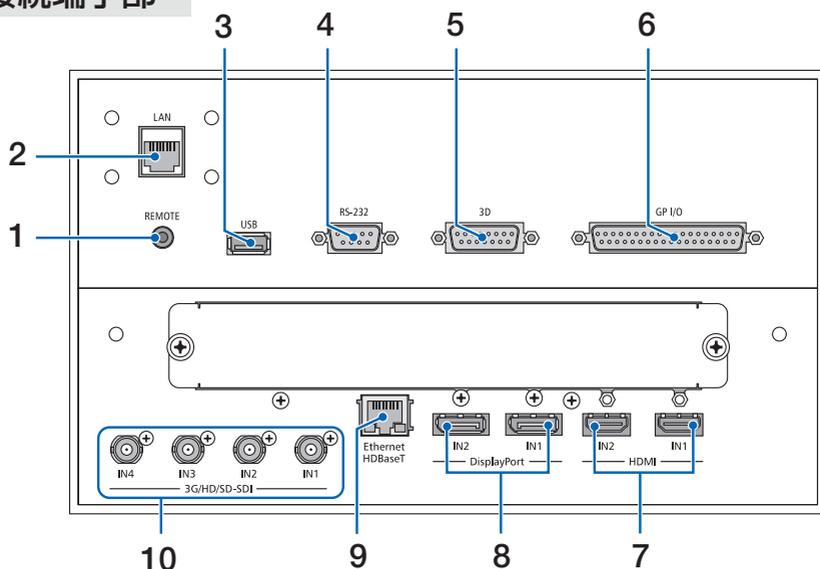
3 手掛け (4箇所)

プロジェクター移動用の手掛けです。

4 アイボルト取り付け用穴 (4箇所)

移動や設置のためにプロジェクターを吊り下げる場合に使用します。
アイボルトの取り付けは販売店にご依頼ください。

接続端子部



1 REMOTE 端子 [REMOTE] (ステレオ・ミニ)

市販のφ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。（☞35ページ）

2 LAN ポート [LAN] (RJ-45)

コンピューターからプロジェクターをLAN接続で制御する場合に使用します。プロジェクターとコンピューターを市販のシールドタイプのLANケーブル（10/100 Base-T）で接続します。

3 USB ポート [USB] (タイプ A)

プロジェクターのメンテナンスの際に使用します。

4 コントロール端子 [RS-232] (D-Sub 9P)

コンピューターからRS-232Cで本機を操作するときや、サービスマンがプロジェクターの設定を行うときに使用します。プロジェクターとコンピューターを市販のシールドタイプのRS-232Cストレートケーブルで接続します。

5 3D 端子 [3D] (D-Sub 15P)

本機に3D映像システムを接続するときに使用します。（☞66, 178ページ）市販のシールドタイプの15ピンケーブルを使用してください。

6 外部コントロール端子 [GP I/O] (D-Sub 37P)

本機を外部からコントロールするときに使用します。（☞176ページ）市販のシールドタイプの37ピンケーブルを使用してください。

7 HDMI1/HDMI2 入力端子 [HDMI IN1/IN2] (タイプ A)

コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの出力端子と接続します。（☞152ページ）

8 DisplayPort1/DisplayPort2 入力端子 [DisplayPort IN1/IN2] (DisplayPort 20P)

コンピューターなどの出力端子と接続します。（☞152ページ）

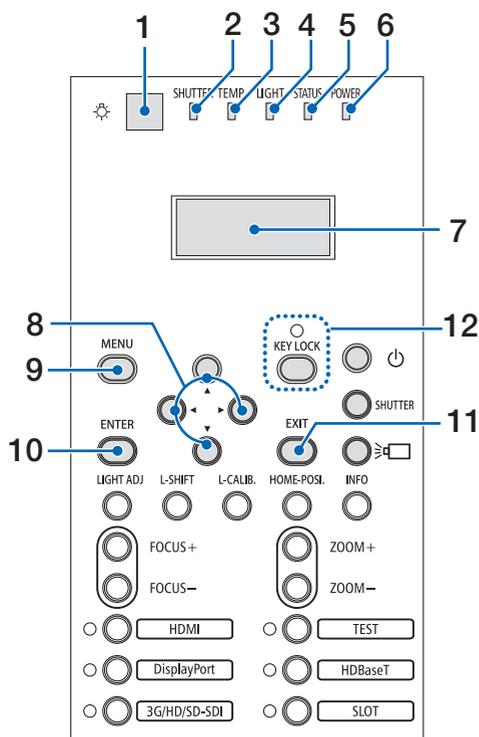
9 HDBaseT ポート [Ethernet HDBaseT] (RJ-45)

本機を市販のHDBaseT対応の伝送機器に接続します。（☞152ページ）

10 SDI1/SDI2/SDI3/SDI4 入力端子 [3G/HD/SD-SDI IN1/IN2/IN3/IN4] (BNC)

SDI出力機器と接続します。（☞152ページ）

本体操作部／表示部



1 (照明) スイッチ

本体操作部の照明と液晶表示パネルのバックライトのスイッチです。押すごとに「入」「切」します。

2 SHUTTER インジケーター

投写光の遮断中やレンズキャリブレーション中を表示します。(▶54, 184 ページ)

3 TEMP. インジケーター

本体内部の温度の状態を表示します。本体内部の温度が使用温度の限界に近付いたり、使用温度を超過したりすると、点滅または点灯します。(▶184 ページ)

4 LIGHT インジケーター

光源の状態を表示します。光源が点灯しているときは点灯、消灯しているときは消灯します。(▶54, 184 ページ)

5 STATUS インジケーター

本機の状態を表示します。正常に動作しているときは緑色またはオレンジ色で点灯／点滅します。異常がある場合は赤色で点灯／点滅します。(▶183 ページ)

異常の場合は、液晶表示画面の表示内容を確認してください

6 POWER インジケーター

電源が入っているときは緑色で点灯します。電源がスタンバイ状態のときはオレンジ色で点灯します。(▶42, 183 ページ)

7 液晶表示パネル

電源が入っているときにプロジェクターの状態、入力信号情報、エラー情報を表示します。

表示内容

プロジェクターの状態	電源オン／オフ、光源、温度、AC 入力電圧
入力信号情報	入力端子、信号リストの番号、信号名、水平周波数、垂直周波数
エラー情報	エラーコード、エラー内容

8 (◀▶▶▶) ボタン

- ・ オンスクリーンメニューを表示しているときに(◀▶▶▶)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(▶85 ページ)
- ・ レンズシフト画面表示中はレンズシフトの調整ができます。(▶48 ページ)

9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶85 ページ)

10 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

11 (EXIT) ボタン

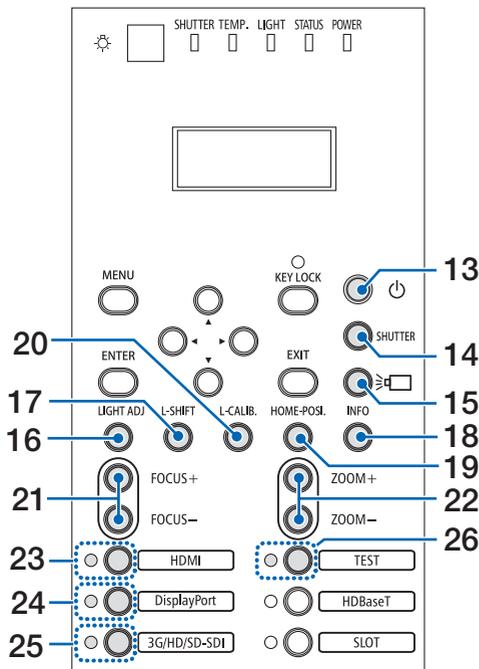
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

12 (KEY LOCK) ボタン

本体操作ボタンを動作しないようにします。(▶55 ページ)

KEY LOCK インジケーター

キーロック中は KEY LOCK インジケーターがオレンジ色で点灯します。(▶184 ページ)



17 (L-SHIFT) ボタン
 レンズシフト調整画面を表示します。
 (◀▶▶▶) ボタンで調整します。(48 ページ)

18 (INFO) ボタン
 ・短く押すと液晶表示パネルの表示内容を切り替えます。(28 ページ)
 ・長く(2秒以上)押すと、情報画面を表示します。(151 ページ)

19 (HOME-POS.) ボタン
 レンズシフト調整がホームポジションに戻ります。(48 ページ)

20 (L-CALIB.) ボタン
 取り付けたレンズユニットの調整範囲を校正します(キャリブレーション)。
 (適応レンズユニット: L4K-11ZM/L4K-15ZM/L4K-20ZM) (43 ページ)

21 (FOCUS +/-) ボタン
 投写画面のピントを合わせます。
 (50 ページ)

22 (ZOOM +/-) ボタン
 投写画面の大きさの微調整を行います。
 (51 ページ)

23 (HDMI) ボタン
 HDMI 入力端子を選択します。押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。

HDMI インジケーター

信号が入力されているときは白色で点灯します。入力が選択されているときは緑色で点灯します。

24 (DisplayPort) ボタン
 DisplayPort 入力端子を選択します。押すごとに DisplayPort 1 と DisplayPort 2 を切り替えます。

DisplayPort インジケーター

信号が入力されているときは白色で点灯します。入力が選択されているときは緑色で点灯します。

25 (3G/HD/SD-SDI) ボタン
 SDI 入力端子を選択します。押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。

3G/HD/SD-SDI インジケーター

信号が入力されているときは白色で点灯します。入力が選択されているときは緑色で点灯します。

13 (POWER) ボタン
 本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。3秒以上押してください。

電源を入れるときは、プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチをオンにして、スタンバイ状態にしてください。
 (42, 52 ページ)

14 (SHUTTER) ボタン
 押すごとにレンズシャッターを「開」「閉」します。(54 ページ)

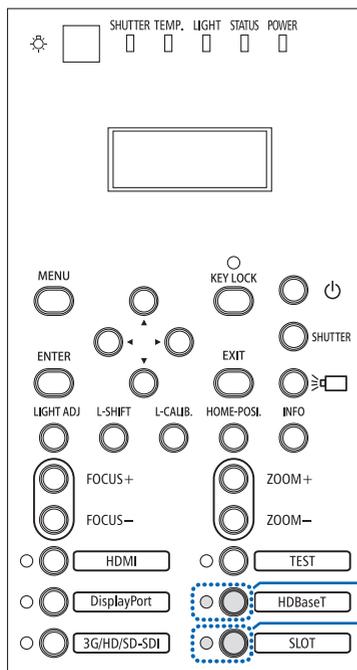
15 (LIGHT) ボタン
 投写中に押すと、光源をすぐに消灯します。もう一度押すと、光源を点灯します。
 (54 ページ)

16 (LIGHT ADJ.) ボタン
 オンスクリーンメニューのライトモード画面を表示します。(59 ページ)

注意 [調整] → [映像] → [モード] の設定により、表示される画面が異なります。(99 ページ)

26 (TEST) ボタン
 テストパターンを表示します。
 (50, 95 ページ)

TEST インジケーター
 常に白色で点灯します。



27 (HDBaseT)ボタン
HDBaseT を選択します。

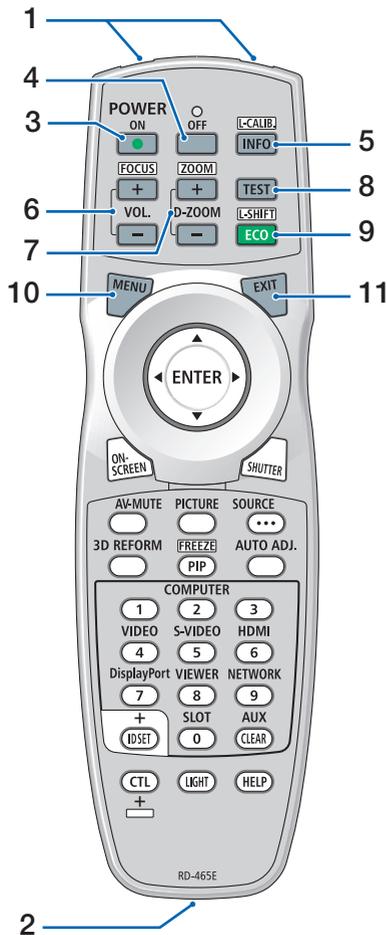
HDBaseT インジケータ
信号が入力されているときは白色で点灯します。入力が選択されているときは緑色で点灯します。

28 (SLOT)ボタン
(本機では使用できません。)

27
28

1-4. リモコン各部の名称

添付品や名称を確認する



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するときに、市販のφ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を接続します。（☞35ページ）

3 POWER (ON)ボタン

スタンバイ時(POWERインジケータがオレンジ色に点灯)に本機の電源を入れます。

4 POWER (OFF)ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(OFF) (または(ENTER)) ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

5 (INFO/L-CALIB.) ボタン

オンスクリーンメニューの情報の「信号(1)」を表示します。（☞151ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズキャリブレーションを行います。
(適応レンズユニット：L4K-11ZM/L4K-15ZM/L4K-20ZM)（☞43ページ）

6 (VOL./FOCUS +/-) ボタン

(CTL)ボタンと同時に押して、レンズのフォーカスを調整します。（☞50ページ）
(VOL. ボタンの機能は、本機では使用できません。)

7 (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をデジタルで行います。（☞58ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズのズームを調整します。（☞51ページ）

8 (TEST) ボタン

テストパターンを表示します。
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

9 (ECO/L-SHIFT) ボタン

オンスクリーンメニューのライトモード画面を表示します。（☞59ページ）

注意 [調整] → [映像] → [モード] の設定により、表示される画面が異なります。（☞99ページ）

(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズシフト調整画面を表示します。

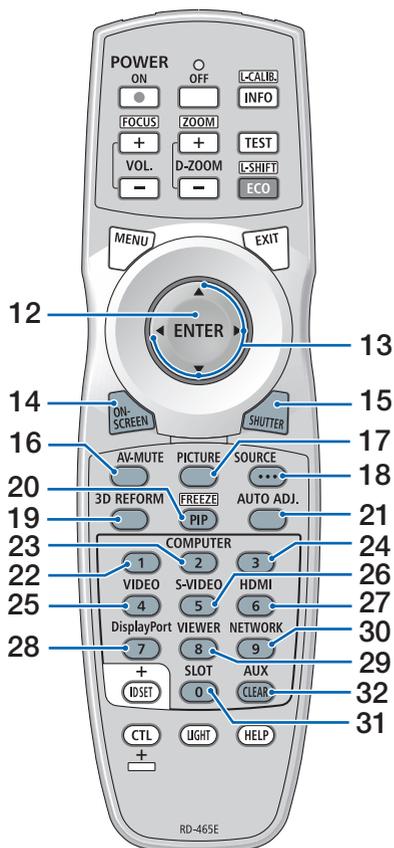
(**VA**◀▶)ボタンでレンズ位置を調整します。（☞49ページ）

10 (MENU)ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

11 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



12 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

13 (方向キー) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン、(ECO/L-SHIFT) ボタンと組み合わせて使用します。
(▶ 85, 58, 49 ページ)

14 (ON-SCREEN) ボタン

オンスクリーン表示を消します。
(▶ 56 ページ)
もう一度押すと戻ります。

15 (SHUTTER) ボタン

押すごとにシャッターを「開」「閉」します。
(▶ 54, 129 ページ)

16 (AV-MUTE) ボタン

映像を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。
(▶ 55 ページ)

17 (PICTURE) ボタン

オンスクリーンメニューの調整メニューを表示します。
(▶ 99 ページ)

18 (SOURCE) ボタン

短く押すと入力選択画面を表示します。
1 秒以上押すと HDMI1 → HDMI2 → DisplayPort1 → DisplayPort2 → HDBaseT → SDI1 → SDI2 → SDI3 → SDI4 …… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

19 (3D REFORM) ボタン

投写画面の歪みを調整します。
(▶ 60, 116 ページ)

20 (PIP/FREEZE) ボタン

(CTL) ボタンと同時に押すと、表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。
(▶ 58 ページ)

21 (AUTO ADJ.) ボタン

HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SDI の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。

22 (COMPUTER 1) ボタン

(本機では使用できません。)

23 (COMPUTER 2) ボタン

(本機では使用できません。)

24 (COMPUTER 3) ボタン

(本機では使用できません。)

25 (VIDEO) ボタン

(本機では使用できません。)

26 (S-VIDEO) ボタン

(本機では使用できません。)

27 (HDMI) ボタン

HDMI 入力端子を選択します。押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。

28 (DisplayPort) ボタン

DisplayPort 入力端子を選択します。押すごとに DisplayPort 1 と DisplayPort 2 を切り替えます。

29 (VIEWER) ボタン

(本機では使用できません。)

30 (NETWORK) ボタン

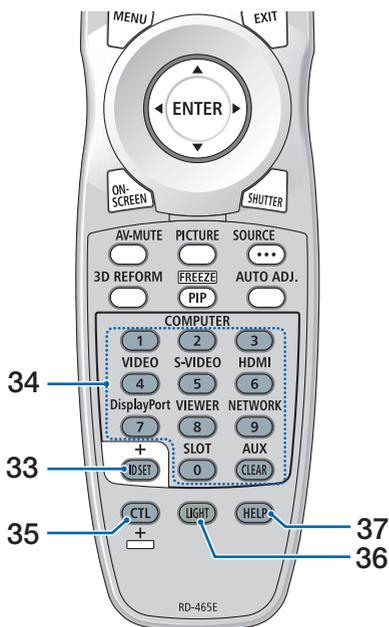
HDBaseT ポートを選択します。

31 (SLOT) ボタン

(本機では使用できません。)

32 (AUX) ボタン

SDI 入力端子を選択します。押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。



33 (ID SET) ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロールID設定に使用します。(▶ 136 ページ)

34 数字 (0~9) 入力ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合のID入力に使用します(コントロールID設定)。

(CLEAR)ボタンは、コントロールID設定を解除する場合に使用します。(▶ 137 ページ)

35 (CTL) ボタン

他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

36 (LIGHT) ボタン

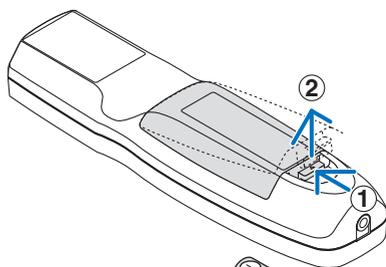
ボタンのバックライトが点灯します。10秒間ボタン操作をしないと消灯します。

37 (HELP) ボタン

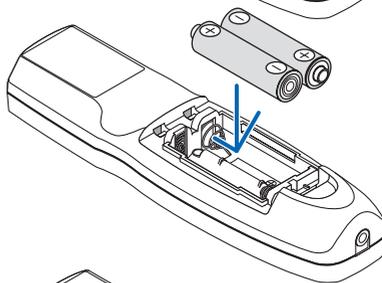
情報画面を表示します。(▶ 151 ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

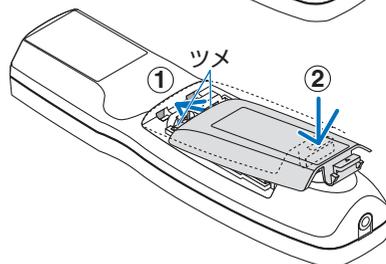


2 ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単3アルカリ乾電池をセットする。



3 もとどおりにふたをする。

ふたのツメをケースのミゾに入れてからふたをしめます。



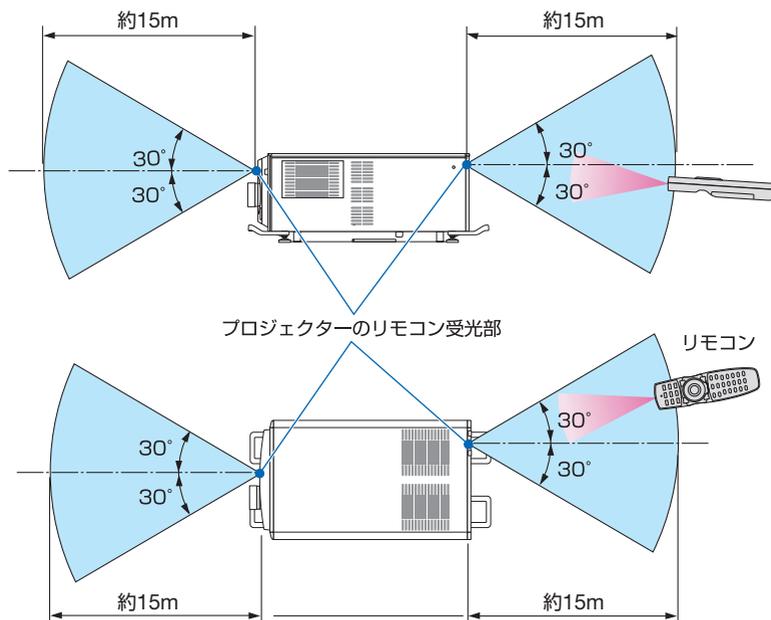
注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3アルカリ乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】



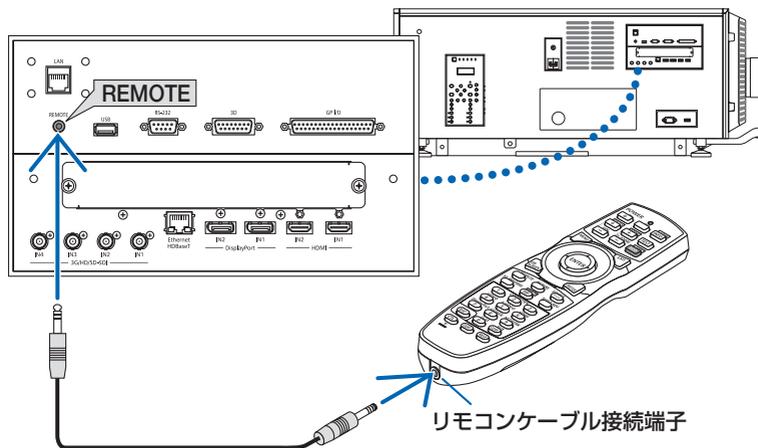
(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 上記の範囲内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



- ・ リモコンケーブルは、市販の $\Phi 3.5$ ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- ・ REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

注意

- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作が行えません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作が行えます。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

電源コードを接続する (▶ 次ページ)



ステップ 2

コンピューターと接続する (▶ 40 ページ)



ステップ 3

本機の電源を入れる (▶ 41 ページ)



ステップ 4

入力信号を選択する (▶ 44 ページ)



ステップ 5

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 46 ページ)



ステップ 6

映像を調整する



ステップ 7

本機の電源を切る (▶ 52 ページ)

2-2. 電源コードを接続する

電源コードの接続工事は、販売店にご依頼ください。

プロジェクター電源と光源電源へ AC 電源を 1 本の電源コードで供給する場合（C1 接続の場合）、プロジェクター電源への電源コードの接続は不要です。

本機には電源コードは添付していません。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用してください。電源コードの選定および手配は、販売店にご依頼ください。

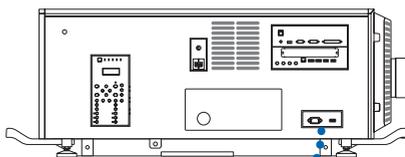


警告

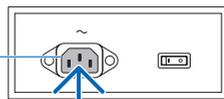
- 電源コードの接続工事は、販売店にご依頼ください。お客様による取り付けは絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを接続するときは、本機のプロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチが OFF になっていることを確認し、AC 電源を遮断した状態で行ってください。
- 機器の安全確保のため、使用する国の規格および電源電圧に適合する電源コードを使用して、機器のアースを必ず接続してください。アースが接続されていないと感電の原因となります。
- 電源コードを AC IN 端子およびコンセントに接続するときは、コネクタやプラグを奥までしっかり差し込んでください。C2 接続の場合、電源コードストッパーを必ず取り付けてください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱し、やけどや事故の原因となることがあります。

1 電源コードをプロジェクターの AC IN 端子に接続する。

しっかりと奥まで差し込んでください。



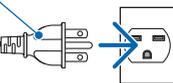
AC IN 端子



しっかりと差し込んでください。

2 電源プラグをコンセントに接続する。

これで、電源コードの接続は完了です。



AC200V -240V (単相) へ

●電源コードストッパーの取り付け

本体の AC IN 端子に接続した電源コードのコネクターが抜け落ちないように、添付の電源コードストッパーを使って固定します。

⚠️ 注意

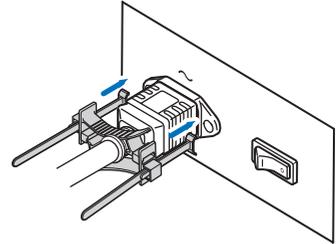
- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際はコネクターを奥までしっかり押し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを束ねて (丸めて) 固定しないでください。コードが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

注意

- 他の信号ケーブルと一緒にクランプしないでください。信号ケーブルにノイズの影響を与えるおそれがあります。
- 電源コードストッパーを本体に取り付けると、取り外しできません。

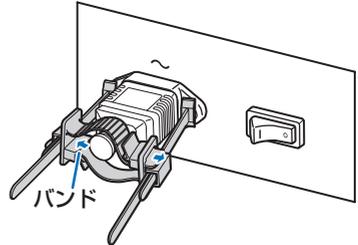
1 クランパー部のバンドを電源コード側の向きにして、電源コードストッパーの先端をプロジェクター本体の取り付け穴に合わせて、押し込む。

反対側も同様に、電源コードストッパーを取り付けます。



2 電源コードストッパーのスリットに互いのバンドを通す。

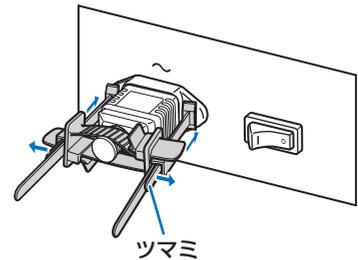
電源コードを上下に挟むようにバンドを通してください。



3 電源コードの根元までクランパー部をスライドさせる。

矢印の方向にツマミを引くと、クランパーの位置を調整できます。

クランパー部の位置を調整したら、ツマミを離してクランパー部を固定します。

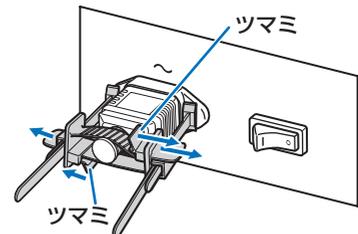


4 バンドを引き、電源コードを固定する。

矢印の方向にツマミを引くと、バンドの位置を調整できます。

上下のバンドはバランスよく引いてください。

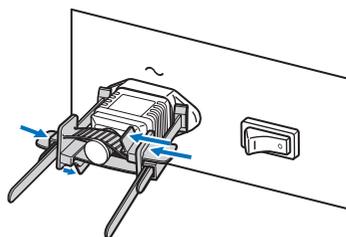
バンドの位置を調整したら、ツマミを離して固定します。



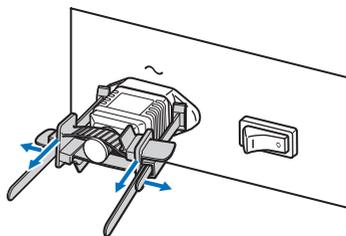
これで、電源コードストッパーの取り付けは完了です。

●電源コードの取り外し

- 1 クランパー部のツマミを引き、バンドをゆるめる。



- 2 ツマミを引き、電源プラグから離れたところにクランパー部をスライドさせる。



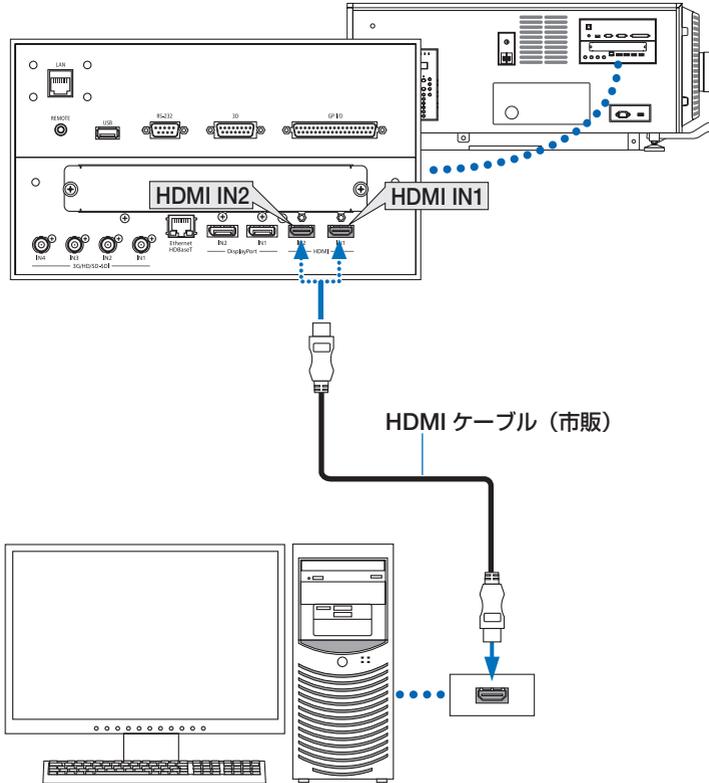
注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」152ページをご覧ください。

コンピューターのHDMI出力端子と本機のHDMI1入力端子またはHDMI2入力端子を接続します。



2-4. 本機の電源を入れる

電源コードの接続は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 準備：**
- 電源コードをプロジェクターに接続します。(▶ 37 ページ)
 - プロジェクター本体に AC 電源を供給します。



- ・プロジェクターに AC 電源を供給または遮断する場合は、プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチが OFF の状態で行ってください。プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチが ON の状態で電源の供給/遮断を行うと、故障の原因となります。
- ・プロジェクターの電源の入/切は、「プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチ」と「 (POWER) ボタン」(リモコンは POWER (ON) / (OFF) ボタン) の 2 段階の操作で行います。

●電源を入れる (▶ 42 ページ)

- [1] プロジェクター本体の「プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチ」を ON にする。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- [2]  (POWER) ボタン (リモコンは POWER (ON) ボタン) を押す。
プロジェクターの電源が入ります。

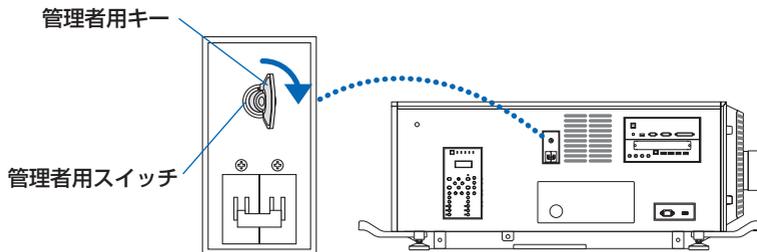
●電源を切る (▶ 52 ページ)

- [1]  (POWER) ボタン (リモコンは POWER (OFF) ボタン) を押す。
画面に確認メッセージが表示されます。
- [2] もう一度  (POWER) ボタン (リモコンは POWER (OFF) ボタン) を押す。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- [3] プロジェクター本体の「プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチ」を OFF にする。
プロジェクターの電源が切れます。

1 レンズキャップを外す。

2 管理者用スイッチに管理者用キーを垂直の向きに差し込んで、右側へ回す。

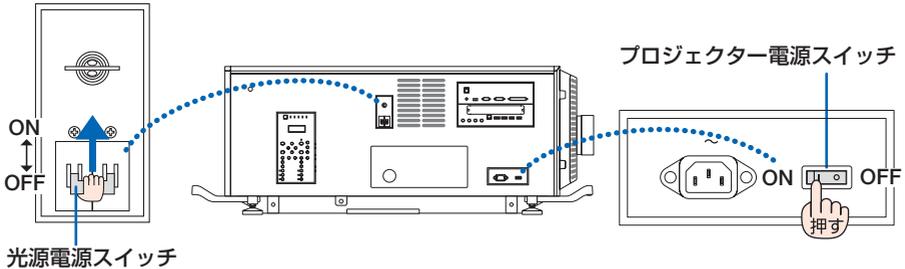
管理者用キーは抜けなくなります。管理者用キーを取り付けていない状態では起動しません。



3 プロジェクター本体側面にある電源スイッチを、光源電源スイッチ ([1])、プロジェクター電源スイッチ ([2]) の順に ON にする。

POWER インジケーターがオレンジ色で点灯し、本機がスタンバイ状態になります。

通知設定のブザーを「オン」に設定している場合は、ブザー音が鳴ります。(▶ 136 ページ)

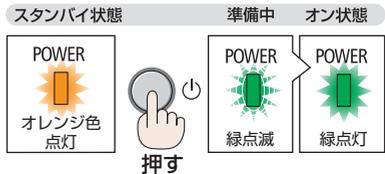
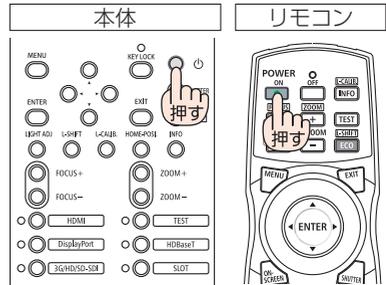


 警告	<p>プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、レンズのほうを向いている人がレーザーの射出光路上にいないことを確認してください。</p>
---	--

4 (POWER) ボタンを押す。

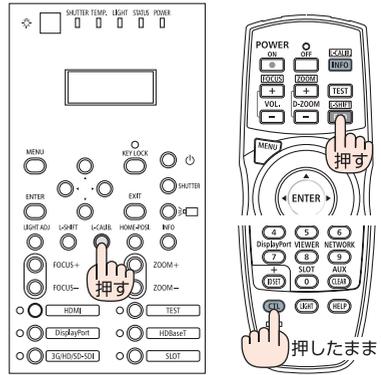
POWER インジケーターがオレンジ色の点灯から緑色の点灯に変わり、スクリーンに映像が投写されます。

- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。
- ・ 信号が入力されていないときは、青い画面 (ブルーバック) が表示されます (工場出荷時のメニュー設定時)。
- ・ 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。(▶ 50 ページ)
- ・ 手元が暗いときは、本体の☼(照明) スイッチを押すと、液晶パネルのバックライトと右辺にある LED ランプが点灯します。(▶ 28 ページ)



- 参考**
- 電源を入れても光源が消灯したままになるパワーオンシャッター機能があります。(▶ 129 ページ)
 - KEY LOCK インジケーターがオレンジ色に点灯しているときはボタンを押しても動作しません。(▶ 55 ページ)
 - 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。(▶ 64 ページ)

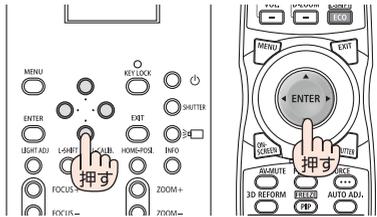
- 別売のレンズユニット L4K-11ZM、L4K-15ZM または L4K-20ZM を取り付けたときは、本体の (L-CALIB.) ボタンを押すか、リモコンの (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押して、「レンズキャリブレーション」を実行してください。
 レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズメモリーのズーム調整範囲を校正します。
 なお、レンズユニットの取り付けおよび交換については、販売店にご依頼ください。



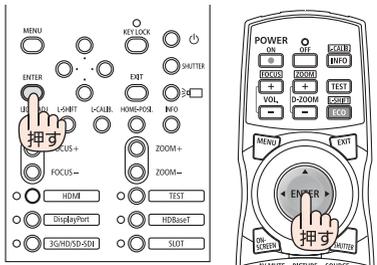
- ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
- 誤って「日本語」以外を選択した場合は、オンスクリーンメニューを表示して「言語」を変更することができます。(123 ページ)



1 (方向キー) ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。



2 (ENTER) ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



- 「日付と時刻を設定してください。」のメッセージが表示されたときは、必ずタイムゾーンの設定および日付と時刻の設定を行ってください。(135 ページ)
 また、メッセージが表示されない場合でも、上記の設定を行うことをおすすめします。

注意

- KEY LOCK インジケータが点灯しているときは、本体キーロックが設定されているため、(POWER) ボタンを押しても電源が入りません。本体キーロックを解除してください。(55 ページ)
- POWER インジケータが緑色で短い点滅をしているときは (POWER) ボタンを押しても電源は切れません (緑色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます)。

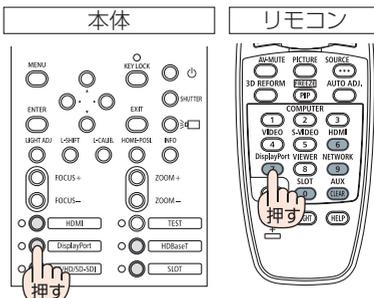
2-5. 入力信号を選択する

ダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続している機器の電源を入れる。

ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するとき、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 本体またはリモコンのダイレクトボタンを押す。



接続端子	本体操作部のボタン	リモコンのボタン	備考
HDMI 1/2 入力端子	(HDMI)	(HDMI)	押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。
DisplayPort 1/2 入力端子	(DisplayPort)	(DisplayPort)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとに DisplayPort1 と DisplayPort2 を切り替えます。 ・ デュアルリンクの場合は DisplayPort1 を選択します。
SDI 1/2/3/4 入力端子	(3G/HD/SD-SDI)	(AUX)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。 ・ クアッドリンクまたはデュアルリンクの場合は SDI1 を選択します。
HDBaseT ポート	(HDBaseT)	(NETWORK)	—

参考

- 本体操作部の各ボタンの横のインジケータは、以下のように動作します。
 白色で点灯：信号が入力されています。
 緑色で点灯：入力を選択されています。

投写する信号を自動検出する

- 1 本機に接続している機器の電源を入れる。
ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。
- 2 リモコンの (SOURCE) ボタンを 1 秒以上押す。

HDMI1 → HDMI2 → DisplayPort1 → DisplayPort2 → HDBaseT → SDI1 → SDI2 → SDI3 → SDI4 の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。



- 短く押すと、入力端子画面が表示されます。
 (▼▲)ボタンを押して目的の入力端子に合わせて、(ENTER)ボタンを押すと入力が切り替わります。
 入力端子画面のメニュー表示を消すには(MENU)ボタンまたは(EXIT)ボタンを押します。



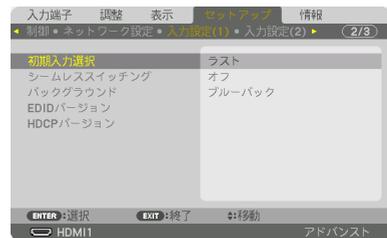
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「入力設定 (1)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。(▶ 85 ページ)



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(ENTER)ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3 (EXIT) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

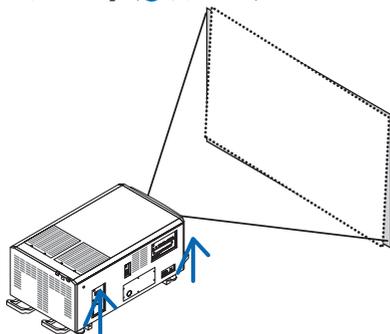
参考

- 本機とコンピューターを接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピューターから出されたコンピューターの同期信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピューター画面を投写することができます (オートパワーオン選択)。(▶ 147 ページ)
- 信号が入力されていないときは、青い画面 (ブルーバック) が表示されます (工場出荷時のメニュー設定時)。
 ブルーレイプレーヤーなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
 - コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、181 ページをご覧ください。
 - それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。(▶ 44 ページ)

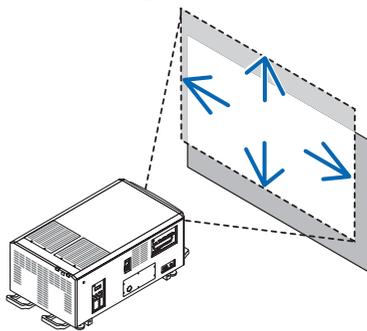
2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやアジャスター、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

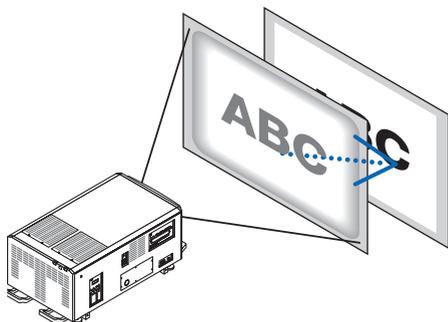
プロジェクターの傾き調整
【アジャスター】 (▶ 次ページ)



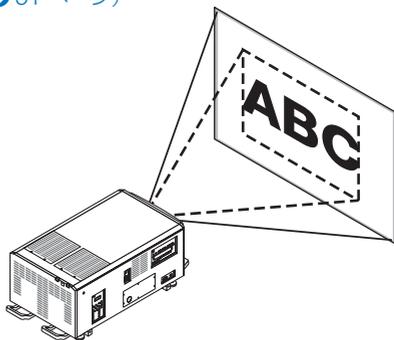
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】 (▶ 48 ページ)



投写画面のフォーカス調整【フォーカス】
(▶ 50 ページ)



投写画面の大きさの調整【ズーム】
(▶ 51 ページ)



※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

参考

- テストパターンを表示させて調整をすると合わせやすくなります。
(TEST)ボタンを押すと、テストパターンを表示します。
(◀▶)ボタンでテストパターンを切り替えます。
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

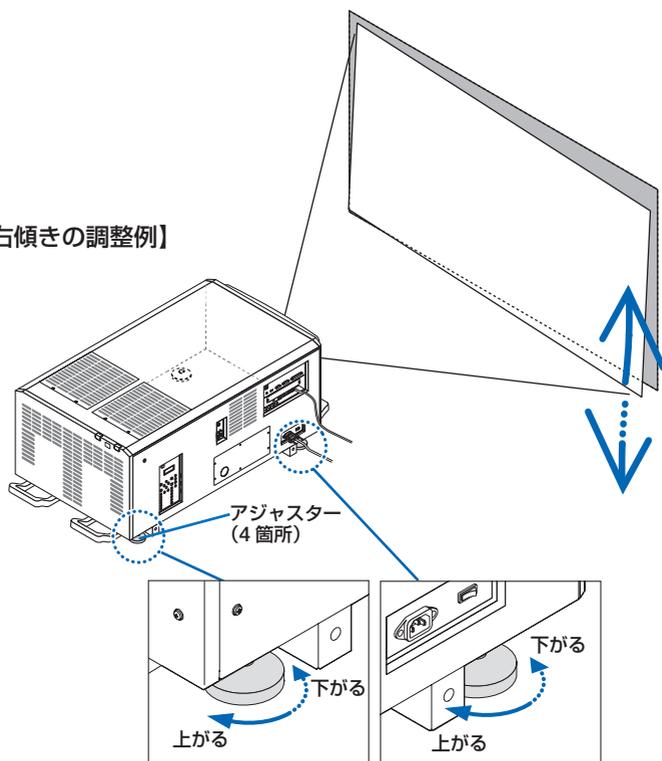
⚠ 注意

- 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面から調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となることがあります。
- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。レンズのカバーとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

プロジェクターの傾き調整 (アジャスター)

スクリーン面に対してプロジェクターが傾いていると台形状の歪みができます。本機の左右方向の傾きを補正したり、打ち下ろし角度を調整したりするには、4箇所にあるアジャスターで調整します。アジャスターは最大で10mmまで伸ばすことができます。

【左右傾きの調整例】



⚠ 注意

- アジャスターは10mm以上は伸ばさないでください。無理に回した場合、外れて破損の原因となることがあります。
- アジャスターを調整する場合、前後2箇所のアジャスターを同時に伸ばし、荷重が均等にかかるようにしてください。いずれか1箇所のみを調整すると、荷重が均等にかからず、アジャスターが故障する原因となります。

投写画面の位置の調整 (レンズシフト)

注意

- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

● 本体で調整する

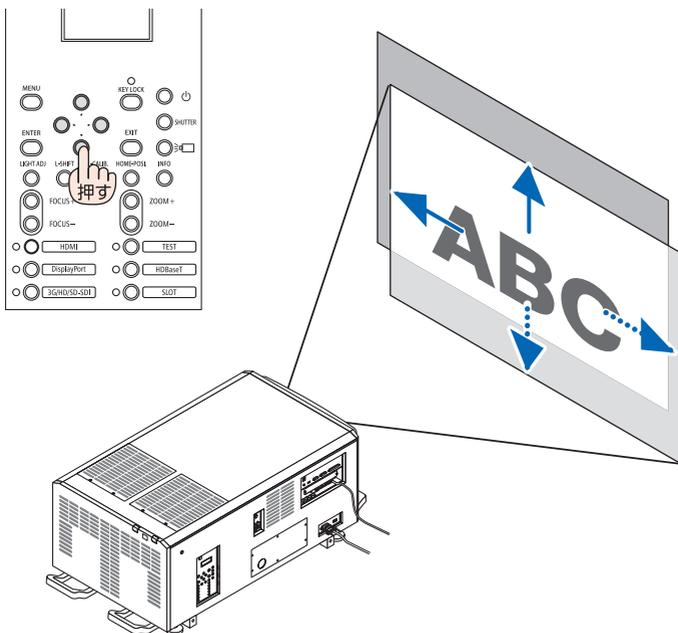
1 (L-SHIFT) ボタンを押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



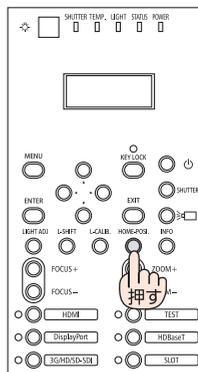
2 (方向キー) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



レンズシフトをホームポジションに戻す場合

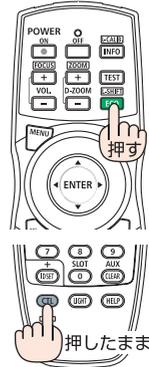
(HOME-POS.) ボタンを押すと本機のレンズ位置がホームポジション (ほぼ中心位置) に戻ります。



● リモコンで調整する

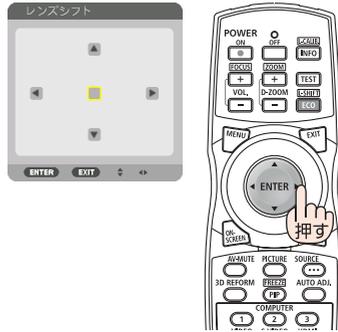
1 CTL ボタンを押したまま (ECO/L-SHIFT) を押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



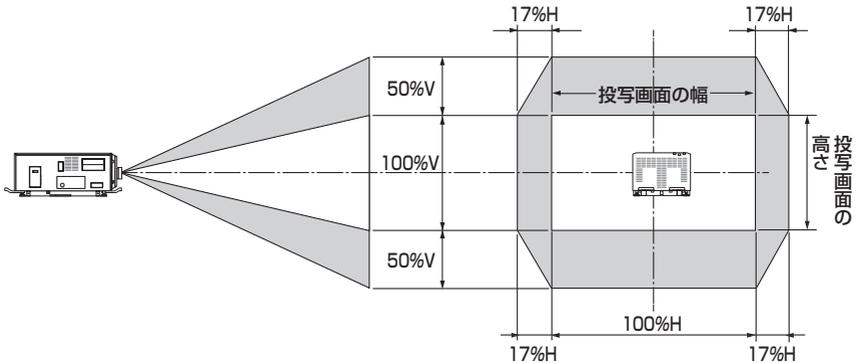
2 ▼▲◀▶ ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



参考

- 下図は 3840×2160 (アスペクト比 16:9) の場合のレンズユニット L4K-11ZM、L4K-15ZM、L4K-20ZM のレンズシフト調整範囲 (投写方式: デスク/フロント) を示しています。その他については [164 ページ](#) をご覧ください。



記号の意味: V は垂直 (投写画面の高さ)、H は水平 (投写画面の幅) を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス）

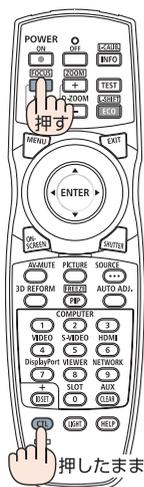
1 FOCUS +/- ボタンを押す。

フォーカス調整バーが表示され、フォーカス（画面のピント）が調整されます。

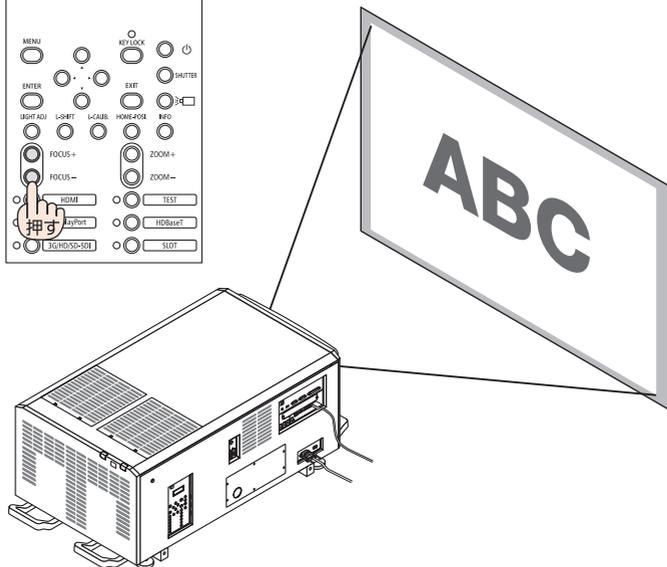
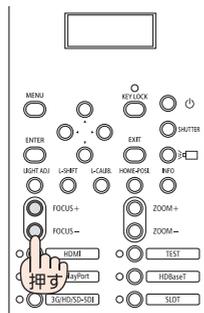
- ・ リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。
- ・ フォーカス調整バーを表示中に、本体またはリモコンの(◀▶)ボタンを押しても調整できません。



リモコン



本体



参考

- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常設する場合）。
準備：投写状態にして約1時間ウォームアップします。
- ① (FOCUS +/-) ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
- ② (TEST) ボタンを押して、テストパターンを表示させます。
- ③ テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、(FOCUS -) ボタンを押す。
- ④ 最適なフォーカスになるまで、(FOCUS +) ボタンを押す。
・ 最適なフォーカスになる点を過ぎてしまった場合は、手順③④を繰り返します。

投写画面の大きさの調整 (ズーム)

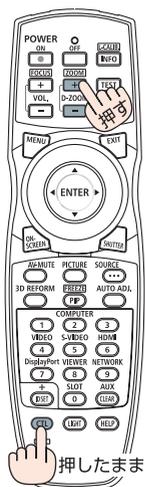
1 ZOOM +/- ボタンを押す。

ズーム調整バーが表示され、ズームが調整されます。

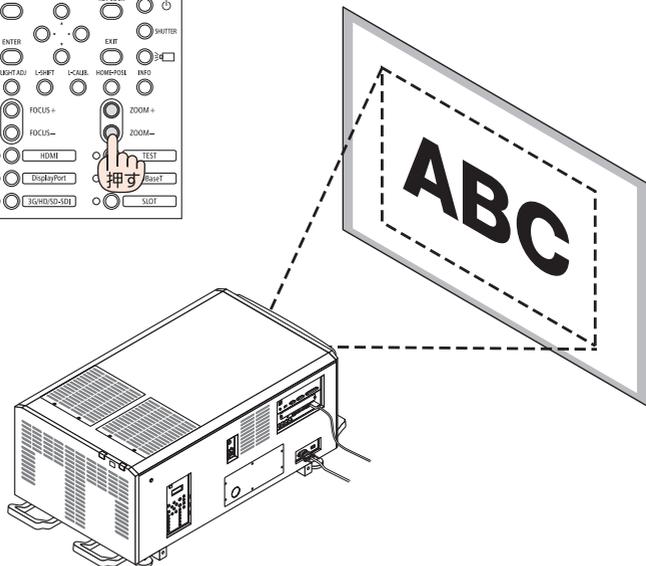
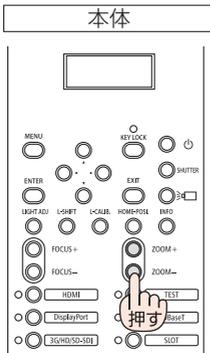
- ・ リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタンを押します。
- ・ ズーム調整バーを表示中に、本体またはリモコンの(◀▶)ボタンを押しても調整できます。
- ・ レンズユニット L2K-10F1 はズームの調整ができません。



リモコン



本体

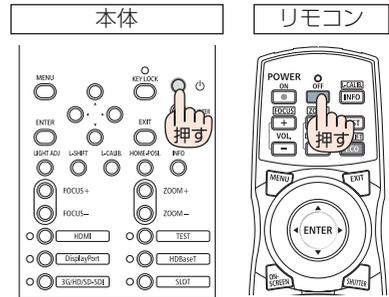


2-7. 本機の電源を切る

1 (POWER) ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



2 もう一度 (POWER) ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。

通知設定のブザーを「オン」に設定している場合は、ブザー音が鳴ります。(136 ページ)

スタンバイ状態になると、POWER インジケータがオレンジ色で点灯します。

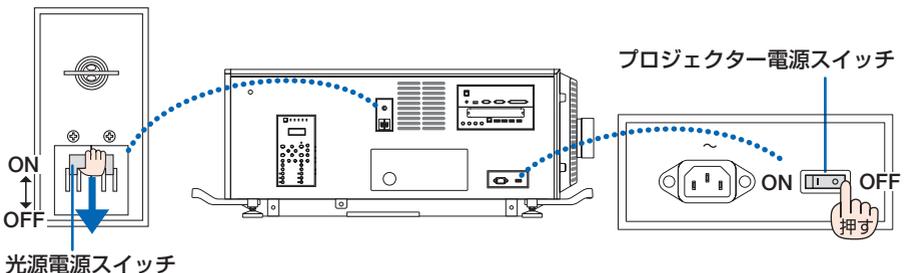
- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。
- ・ (POWER) ボタンまたは POWER (OFF) ボタンの代わりに、(ENTER) ボタンを押しても電源が切れます。
- ・ 電源を切らない場合は、(戻る) ボタンで「いいえ」を選んで (ENTER) ボタンを押します。



3 スタンバイ状態になってから、プロジェクター本体の電源スイッチを、プロジェクター電源スイッチ、光源電源スイッチの順に OFF にする。

本機の POWER インジケータが消え、主電源が切れます。

- ・ POWER インジケータが緑色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。

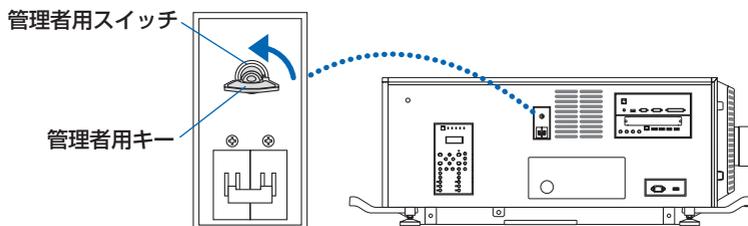


光源電源スイッチ

プロジェクター電源スイッチ

次ページに続く

4 管理者用キーを垂直方向に回し、管理者用キーを抜く。



5 本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断する

注意

- 次のような場合は、プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたり、AC 電源の供給を遮断しないでください。機器が故障するおそれがあります。
 - ・ 投写中
 - ・ Power On 中
 - ・ Power Off したあとのクーリング中
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたり、AC 電源の供給を遮断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

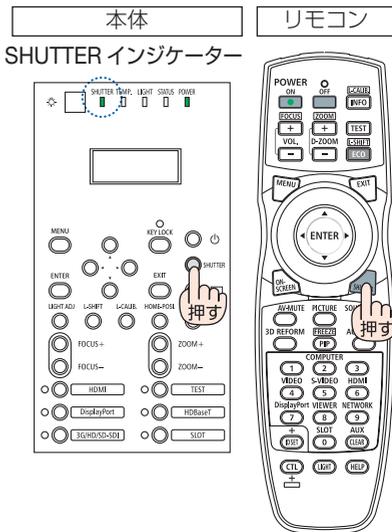
3. 便利な機能

3-1. 投写光を遮断する

- 1** 本体またはリモコンの (SHUTTER) ボタンを押す。

レンズシャッターが閉じて、投写光が一時的に消えます。SHUTTER インジケータは緑色に点灯します。

- もう一度押すとレンズシャッターが開いて映像が投写されます。SHUTTER インジケータは消灯します。
- 設定により、投写光を徐々に明るくしていく (フェードイン)、徐々に暗くしていく (フェードアウト) ことができます。(▶ 129 ページ)



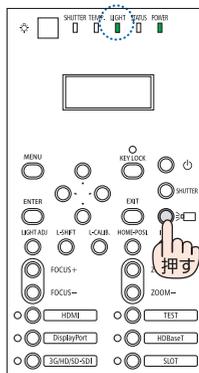
3-2. 光源を消灯する

- 1** 本体の (LIGHT) ボタンを押す。

光源をダイレクトに消灯し、LIGHT インジケータが消灯します。

- もう一度 (LIGHT) ボタンを押すと、光源が点灯し LIGHT インジケータが緑色に点灯します。

LIGHT インジケータ

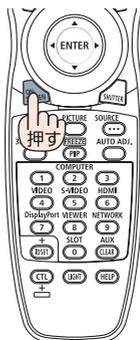


3-5. オンスクリーン表示を消去する (オンスクリーンミュート)

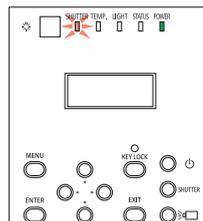
1 リモコンの (ON-SCREEN) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出なくなります。SHUTTER インジケーターがオレンジ色で点灯します。

- もう一度 (ON-SCREEN) ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。SHUTTER インジケーターは消灯します。



SHUTTER インジケーター



参考

- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、(MENU) ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。
- 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。
- 本体でオンスクリーンミュートを無効にするには、(MENU) ボタンを 10 秒以上押し続けます。無効になると、入力端子のメニューが表示されます。

3-6. オンスクリーンメニューの表示位置を変更する

- 1 **MENU** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押す。
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3 **▶** ボタンを押して「メニュー設定 (2)」にカーソルを合わせる。



- 4 **▼** ボタンを押して「メニュー位置」にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押す。
メニュー位置選択画面に変わります。
- 5 **▼▲** ボタンを押してメニュー位置を選択し、**ENTER** ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示位置が変わります。



参考

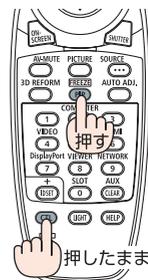
- 本機の電源を切っても、メニューの表示位置は保存されます。
- メニュー角度を変更すると、メニューの表示位置は工場出荷状態に戻ります。
- 入力端子やメッセージの表示位置は変わりません。

3-7. 動画を静止画にする (静止)

- 1** リモコンの **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押す。

ブルーレイプレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押すと、動画に戻ります。



参考

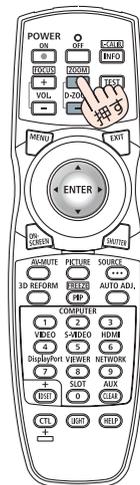
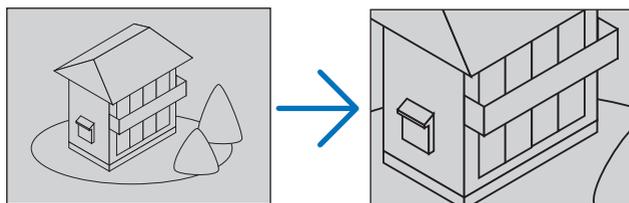
- (CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、ブルーレイプレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-8. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

- 1** リモコンの **(D-ZOOM/ZOOM +)** ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- 最大 4 倍まで拡大できます。



- 2** **(VOLUME/LEFT/RIGHT)** ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

- 3** **(D-ZOOM/ZOOM -)** ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

注意

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合や動作を制限する場合があります。

参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-9. 輝度(明るさ)を調整する

ライトモードを設定すると、本機の出力を 30* ~ 100% の範囲 (1%刻み) で調整し、調整後の明るさを一定に保つように制御することができます。

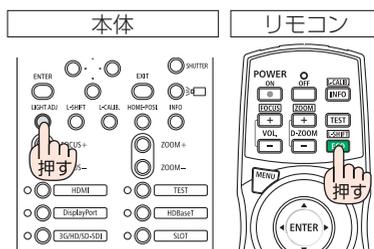
* LX-4K2600Z は 40%からです。

ライトモードは 2 つの設定方法があります。

機能	説明	参照ページ
基準ライトモード	輝度を調整して、全ての入力信号共通の値として保存します。 映像のモード (▶99 ページ) が「スタンダード」のとき有効になります。	128
ライトモード	輝度を調整して、入力信号ごとに保存します。 映像のモード (▶99 ページ) が「プロフェッショナル」のとき調整が有効になります。	101

1 LIGHT ADJ. ボタンを押す

- リモコンで操作する場合は (ECO/L-SHIFT) ボタンを押します。



【映像のモードが「スタンダード」のとき】
基準ライトモード画面が表示されます。

【映像のモードが「プロフェッショナル」のとき】
ライトモード画面が表示されます。



2 ◀▶ ボタンを押して調整する。

調整後の明るさを一定に保つには、輝度一定モードを「オン」に設定します。

(MENU) ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

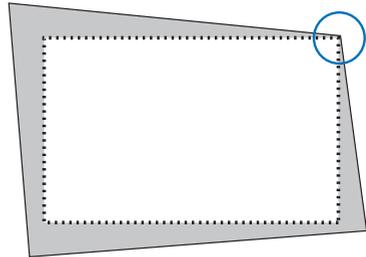
参考

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを「オン」設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

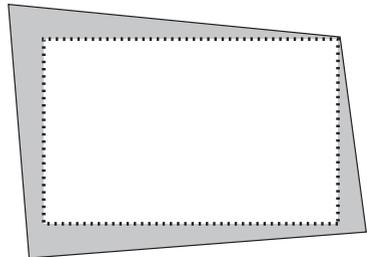
3-10. 台形歪みを調整する（4点補正）

4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

- 1 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。



- 2 スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。



- 3 リモコンの (3D REFORM) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューの幾何学補正画面を表示します。

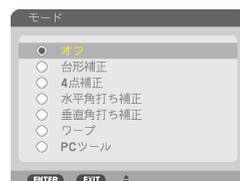
- 4 ▼ ボタンを押して「モード」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

モード選択画面に切り替わります。



- 5 ▼ ボタンを押して「4点補正」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

幾何学補正画面に戻ります。



- 6** ▼ ボタンを押して「4点補正」に合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

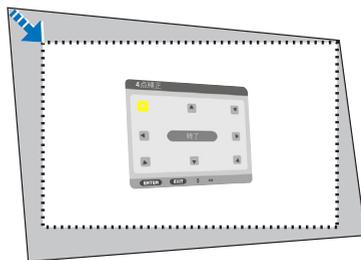
4点補正画面に切り替わります。



- 7** ▲▼◀▶ ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ (図は左上の▼)。

- 8** (ENTER) ボタンを押す。

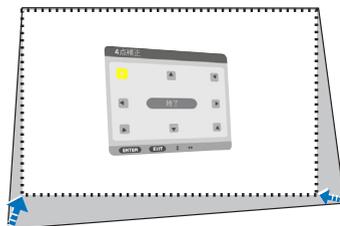
- 9** ▲▼◀▶ ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。



- 10** (ENTER) ボタンを押す。

- 11** ▲▼◀▶ ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

- 12** 手順**8**～**11**を繰り返し、台形歪みを調整する。



- 13** 台形歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、(ENTER) ボタンを押す。

調整終了画面が表示されます。



14 ◀▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・「取消」を選択して(ENTER)ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の4点補正の調整値を保持しています。
- 4点補正の調整値をクリアする場合は、次のいずれかを行います。
 - ・ 手順14で「リセット」を選び、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・ オンスクリーンメニューの表示→幾何学補正→モードが「4点補正」に設定されている状態でリモコンの(3D REFORM)ボタンを2秒以上押します。
 - ・ オンスクリーンメニューの表示→幾何学補正→モードが「4点補正」に設定されている状態で表示→幾何学補正→リセットを実行します。
- 4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

3-11.セキュリティを設定して無断使用を防止する

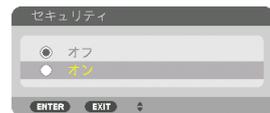
セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

注意 ● セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。
 オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **(▼)** ボタンで「オン」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。
 セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **(▼▲▶)** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。
 入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
 セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。





- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



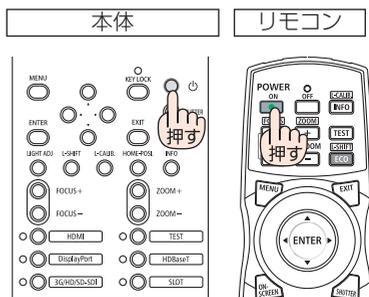
- 7** **6** で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。
確認画面が表示されます。



- 8** **(LEFT)** ボタンで「はい」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **(POWER)** ボタンを押す。
・リモコンで操作する場合は、POWER **(ON)** ボタンを押します。
本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **(MENU)** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 3** セキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティロックの解除状態は、AC電源を切断するまで保持されます。

セキュリティを無効にする

- 1 **(MENU)** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3 **(▶)** ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。
- 4 **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5 **(▲)** ボタンで「オフ」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6 **セキュリティキーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。**
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、販売店にご連絡ください。

3-12. 3D 映像を投写する

本機は、3D 映像システムを接続して、3D 映像を投写することができます。
3D 映像に対応しているのは、DisplayPort1/DisplayPort2 入力端子と HDBaseT ポートです。

⚠ 注意

●健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイプレーヤー、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

本機で 3D 映像を視聴する手順

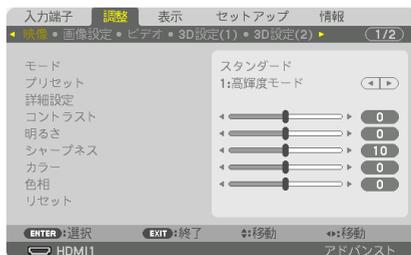
1 本機に 3D 映像システムを接続する。

2 本機と 3D 映像システムの電源を入れる。

3 3D の詳細設定を行う。

使用する 3D 映像システムに合わせて各項目を設定してください。設定に誤りがあると、3D 映像が正常に投写されません。

- ① **(MENU)** ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。
- ② **(▶)** ボタンを押して「調整」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
「映像」にカーソルが移動します。
- ③ **(▶)** ボタンを押して「3D 設定 (1)」にカーソルを合わせる。
3D 設定 (1) 画面が表示されます。



- ④ ▼ ボタンを押してメニューを選択し、各項目を設定する。(110 ページ)
- ⑤ ③④と同じ手順で「3D 設定 (2)」の各項目を設定する。(111 ページ)
- (MENU) ボタンを押すとオンスクリーンメニューが消えます。



3D 映像に切り替えると、3D 視聴注意メッセージ画面を表示します（工場出荷状態）。前ページの「健康に関するご注意」をお読みいただき正しく視聴してください。60 秒の経過、または(ENTER)ボタンを押すと画面は消えます。(124 ページ)

4 3D 映像を再生し、3D メガネを装着して視聴する。

2D 映像が入力されると通常の映像になります。

3D 映像を強制的に 2D 映像にするにはフォーマット画面で「オフ (2D)」を選択します。

注意

- 3D 映像を投写中に、早送り、早戻しおよび静止などの特殊再生を行うと、3D 映像が正常に視聴できない場合があります。3D 映像の特殊再生は行わないでください。特殊再生を行って 3D 映像を正常に視聴できなくなった場合は、もう一度 L/R アウトプットリファレンスの設定を行ってください。
- 3D 映像に切り替えると、次の機能が解除され使用できなくなります。プランキング、PICTURE BY PICTURE、幾何学補正、エッジブレンディング（幾何学補正、エッジブレンディングの調整値は保持しています。）
- 3D 入力信号によっては自動で 3D 映像に切り替わらない場合があります。
- ブルーレイプレーヤーの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D メガネは、3D エミッターから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなる場合があります。

3-13. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

コンピューターのウェブブラウザを使って本機の HTTP サーバー画面を表示して、本機を操作することができます。

● HTTP サーバー画面でできること

- 本機をネットワーク(有線 LAN)に接続するための設定を行います (NETWORK SETTINGS)。
- メール通知の設定を行います (ALERT MAIL)。
本機をネットワーク (有線 LAN) に接続しているときに、各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- 本機の操作を行います。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、映像調整、レンズ制御などが行えます。
- PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。
設定や調整の内容については、オンスクリーンメニューの説明をご覧ください。

● HTTP サーバー画面を表示するには

- 1** 本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続する。
LAN ケーブルは、LAN ポートまたは HDBaseT ポートに接続します。
(▶ 27 ページ)
- 2** オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」を選択し、ネットワークの設定を行う。(▶ 140 ページ)
- 3** コンピューターのウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ「http:// <本機の IP アドレス> /index.html」と指定する。
基本の HTTP サーバー画面が表示されます。



-
- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。
-



- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(📍 27 ページ)

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pjxxxx」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://pjxxxx/index.html` と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

3-14. レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する（レンズメモリー）

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）を本機のメモリーに保存することができます（レンズメモリー機能）。保存したレンズメモリーを呼び出すと自動的に調整します。レンズメモリー機能には2つの保存方法があります。

機能	説明	参照ページ
基準レンズメモリー	すべての入力信号共通の調整値です。本機を設置するときに使い、2種類の調整値を記録することができます。 レンズメモリーに調整値が保存されていない場合は、選択されているプロファイルの調整値（基準レンズメモリー）でレンズを調整します。	130
レンズメモリー	入力信号ごとの調整値として保存されます。 アスペクト比や解像度などが異なる入力信号のときに使います。 入力信号を切り替えたときレンズメモリーに保存している調整値でレンズを調整することもできます。	112

- 注意**
- レンズユニットL4K-11ZM、L4K-15ZMまたはL4K-20ZMを取り付けたあとは、必ずレンズキャリブレーションを行ってください。（▶ 43, 130 ページ）
なお、レンズユニットの取り付けは、販売店にご依頼ください。

レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する

準備：投写画面の位置と大きさを調整してください。（▶ 46 ページ）

ここでは、基準レンズメモリーで説明します。

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。



- 4** **▼** ボタンを押して「基準レンズメモリー」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

基準レンズメモリー設定画面が表示されます。



- 5** 「プロファイル」にカーソルがあることを確認して、**(ENTER)** ボタンを押す。

プロファイル選択画面が表示されます。



- 6** **▲/▼** ボタンを押して登録するプロファイル番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

基準レンズメモリー設定画面に戻ります。



- 7** **▼** ボタンを押して「登録」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

確認画面を表示します。



- 8** **◀** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値が選択したプロファイル番号に上書き保存されます。



- 9** **(MENU)** ボタンを押す。

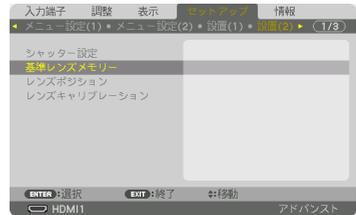
オンスクリーンメニュー画面が消えます。

参考

- レンズメモリーに保存する場合は、オンスクリーンメニューの調整→レンズメモリーの「登録」で行ってください。(112 ページ)

基準レンズメモリーを呼び出す

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。
 オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「基準レンズメモリー」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 基準レンズメモリー画面が表示されます。
- 5** 「プロファイル」にカーソルがあることを確認して、**(ENTER)** ボタンを押す。
 プロファイル選択画面が表示されます。
- 6** **(▲/▼)** ボタンを押して呼び出したプロファイル番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 基準レンズメモリー設定画面に戻ります。
- 7** **(▼)** ボタンを押して「移動」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 確認画面を表示します。
- 8** **(◀)** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 選択したプロファイルに登録されている調整値にレンズが移動します。
- 9** **(MENU)** ボタンを押す。
 オンスクリーンメニュー画面が消えます。



参考

● **レンズメモリーを直接呼び出すには**

- ① オンスクリーンメニューの調整→レンズメモリーの「移動」を選択し、(ENTER)ボタンを押してください。
確認画面を表示します。
- ② ◀ボタンで「はい」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。
投写中の入力信号の調整値が保存されている場合は、レンズが移動します。保存されていない場合は、基準レンズメモリーの選択されているプロファイル番号の調整値に移動します。



● **レンズメモリーの調整値を自動で呼び出すには**

- ① 前ページ「基準レンズメモリーを呼び出す」の手順7のときに「信号別読み出し」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。
信号別読み出し画面を表示します。
- ② ▼ボタンを押して「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。
これで、保存済みの入力信号に切り替えると自動でレンズが移動します。



注意

- レンズメモリー機能は、保存された各調整状態を完全に再現するものではありません。レンズメモリーの呼び出し操作後、状態に合わせ、レンズシフト、ズーム、およびフォーカス位置の微調整を実施してください。

4. マルチスクリーン投写

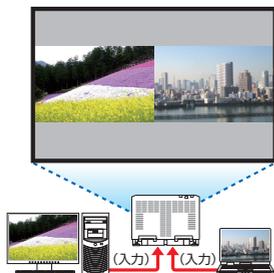
本機は、単体または複数台を並べてマルチスクリーン投写が行えます。

4-1. マルチスクリーン投写でできること

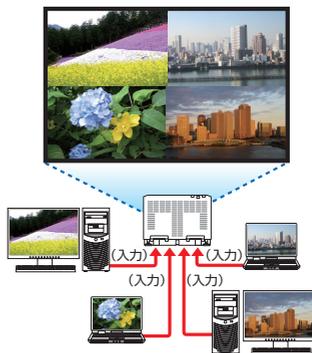
ケース1：1台のプロジェクトャーを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する【PICTURE BY PICTURE】

●接続例と投写イメージ

2種類の映像を投写する場合

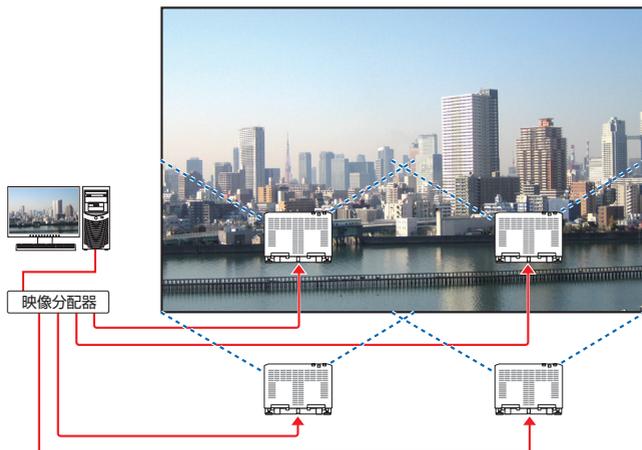


4種類の映像を投写する場合



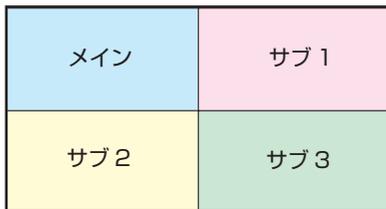
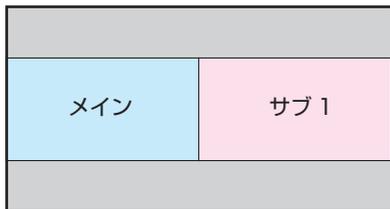
ケース2：複数のプロジェクトャーを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写する【タイリング】

●接続例と投写イメージ



4-2. 1台のプロジェクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する【PICTURE BY PICTURE】

- 1画面表示の投写映像をメイン、あとから呼び出した投写映像をサブ1～3と呼びます。



- PICTURE BY PICTURE は、次の入力端子と入力信号に対応しています。

入力端子	2画面	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT
	4画面	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2
入力信号	2画面	4K 30Hz まで
	4画面	1920×1080 60Hz/50Hz まで

4画面を投写する

ここでは、4種類の映像を同時に投写する場合の手順を説明します。

準備：4種類の映像を出力する機器を本機に接続して、各機器の電源を入れます。

- 1 (MENU) ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し、「表示」→「PICTURE BY PICTURE」を選択する。



- 2 (▼/▲) ボタンで「モード」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。
モード選択画面を表示します。



- 3 (▼/▲) ボタンで「クアッド」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。
PICTURE BY PICTURE 画面に戻ります。



4 (▼/▲) ボタンで「サブ入力1」を選択し、

(ENTER) ボタンを押す。

サブ入力1 選択画面を表示します。

**5** (▼/▲) ボタンでサブ1に設定する入力信号を選択し、(ENTER)ボタンを押す。

PICTURE BY PICTURE 画面に戻ります。

6 手順4 5と同様に、サブ2とサブ3の入力信号を選択する。**7** (MENU)ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

- 1画面表示に戻すには、手順3のモード選択画面で「オフ」を選択します。

**参考**

- 2画面を投写する場合は、手順3で「デュアル」を選択して、手順4 5でサブ1の入力信号を選択します。
- 2画面のときは、画面の向きをポートレート設置に合わせてたり、表示位置を調整したりすることができます。(▶ 115 ページ)

制限事項

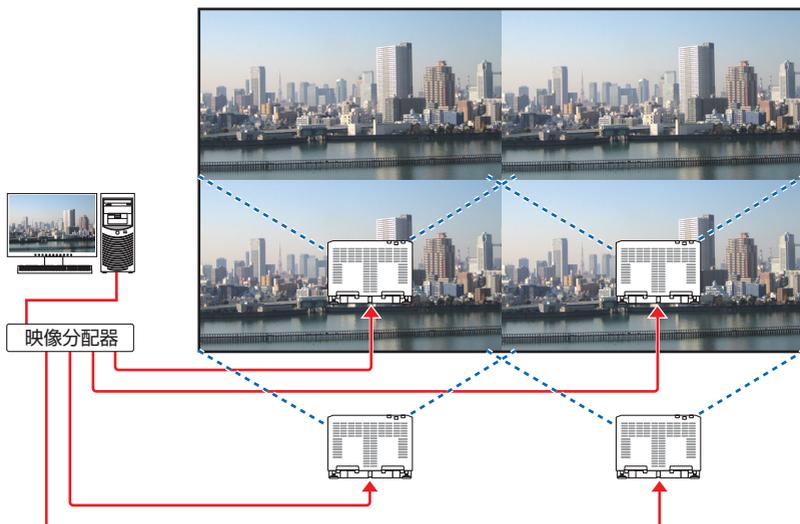
- 次の操作は、メインのみ有効です。
 - 映像の各種調整
 - テストパターン
- 次の操作は、メインとサブ1～3のすべてで有効です。個別に適用することはできません。
 - 画像の一時的な消去 (AV ミュート)
 - 動画の一時停止 (静止)
- 3D 映像が表示されているときは、PICTURE BY PICTURE は使用できません。
- PICTURE BY PICTURE 機能使用中は、次の操作はできません。
 - D-ZOOM/ZOOM +/- ボタンによる映像の拡大／縮小
 - ダイナミックコントラスト

4-3. 複数のプロジェクターを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写する【タイリング】

ここでは、4 台のプロジェクターを使って、解像度 4096×2160（4K）の映像を投写する場合の手順を説明します。

準備：

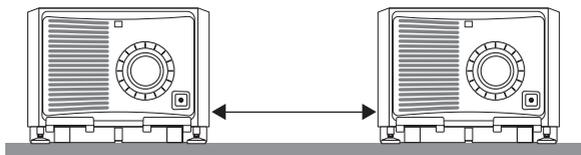
- プロジェクター 4 台を、縦横に 2 台ずつ並べて設置します。
映像分配器を経由して、映像出力機器とプロジェクターを接続します。
すべての機器の電源を入れて、4 つの同じ映像を投写します。



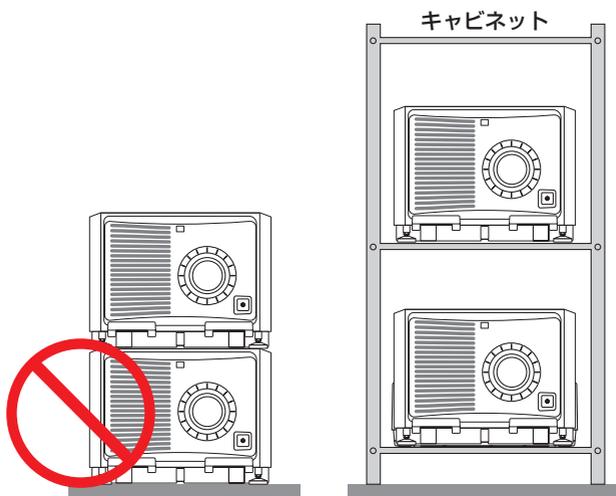
- 1 個のリモコンで設定・調整を行う場合は、コントロール ID を有効にします。
(🔗 [136 ページ](#))
それぞれのプロジェクターに ID を割り振って、リモコンで ID を切り替えながら、1 台ずつ設定・調整を行います。

プロジェクターの設置に関するお願い

- プロジェクターの吸気と排気に障害が生じないように、本体の左右に十分な空間をあけてください。吸気と排気に障害が生じると、プロジェクターの内部温度が上昇し、故障の原因となります。



- プロジェクターを直接積み重ねて設置しないでください。積み重ねて使用した場合、落下してプロジェクターの破損・故障の原因となることがあります。プロジェクターを2台組み合わせて設置する場合は、キャビネットなどを使用して、本体の左右に十分な空間をあけて設置してください。



警告

天吊りやアイボルトを使用して吊り下げるなどの特殊な設置は販売店にご依頼ください。お客様による設置は絶対に行わないでください。プロジェクターが落下して、けがの原因となります。設置には、プロジェクターの質量に耐える丈夫なキャビネットを使用してください。プロジェクターをじかに積み重ねないでください。

注意

- 投写距離の範囲については、8. 付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。
(▶ 160 ページ)

タイリングを設定する

- 1 (MENU) ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し、「表示」→「映像設定」→「モード」を選択する。

モード選択画面を表示します。



- 2 (▼/▲) ボタンで「タイリング」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

映像設定画面に戻ります。



- 3 (▼/▲) ボタンで「タイリング」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

タイリング設定画面を表示します。



- 4 横台数、縦台数、横順番、縦順番を設定する。

1. 横台数設定画面で「2 台」を選択する。(横方向の台数)
 2. 縦台数設定画面で「2 台」を選択する。(縦方向の台数)
 3. 横順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。(スクリーンを見て、左側が「1 台目」、右側が「2 台目」)
 4. 縦順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。(スクリーンを見て、上側が「1 台目」、下側が「2 台目」)
- 1～4 の設定が終わると、1 つの映像が画面いっぱい
- いに投写されます。



- 5 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

- 6 各プロジェクターのレンズシフトを調整して画面の境界を微調整する。

投写画面の境界を目立たなくさせるには、エッジブレンディングで調整してください。(▶次ページ)

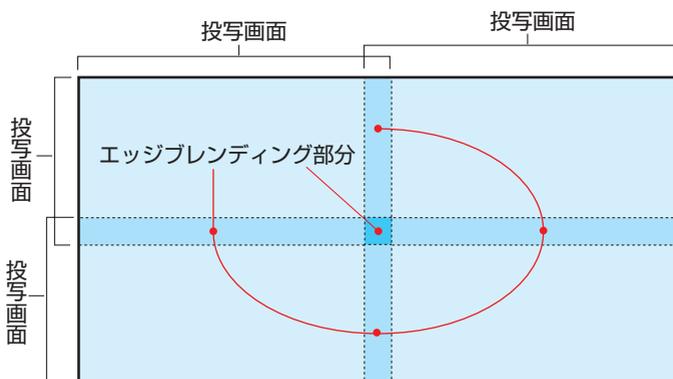
4-4. 投写画面の境界を調整する 【エッジブレンディング】

本機には、投写画面の端（境界）を目立たなくさせる「エッジブレンディング機能」を搭載しています。



- エッジブレンディングを調整する前に、台形歪みや画面サイズが適切になるような位置に本機を設置して、レンズシフト、フォーカス、ズームの調整を行ってください。
- 各プロジェクターの明るさをライトモードの「基準ライト調整」で合わせてください。
また、「基準ホワイトバランス」でコントラスト、明るさ、ユニフォミティを合わせてください。

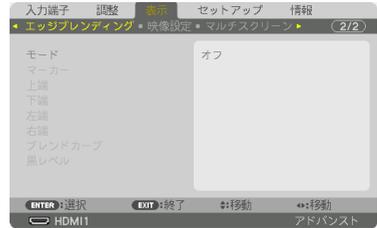
ここでは、プロジェクター 4 台を縦横に 2 台ずつ並べた場合で説明します



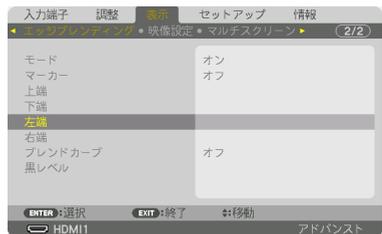
投写画面の重なりを設定する

1 メニューで「エッジブレンディング」を有効にする。

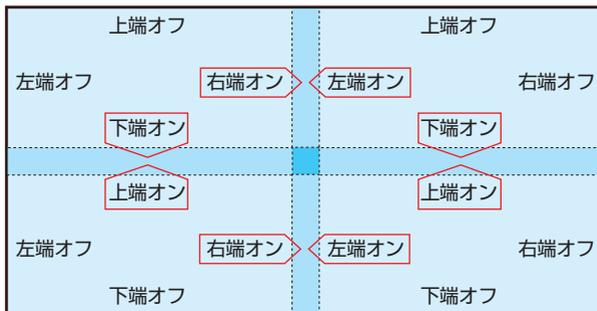
- 1 (MENU)ボタンを押します。
オンスクリーンメニューを表示します。
- 2 「表示」の「エッジブレンディング」を選択します。
「エッジブレンディング」画面が表示されます。
「モード」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
モード画面が表示されます。
- 3 「モード」を「オン」にしてエッジブレンディングの機能を有効にします。



・「マーカー」「上端」「下端」「左端」「右端」「ブレンドカーブ」「黒レベル」の項目が調整可能になります。

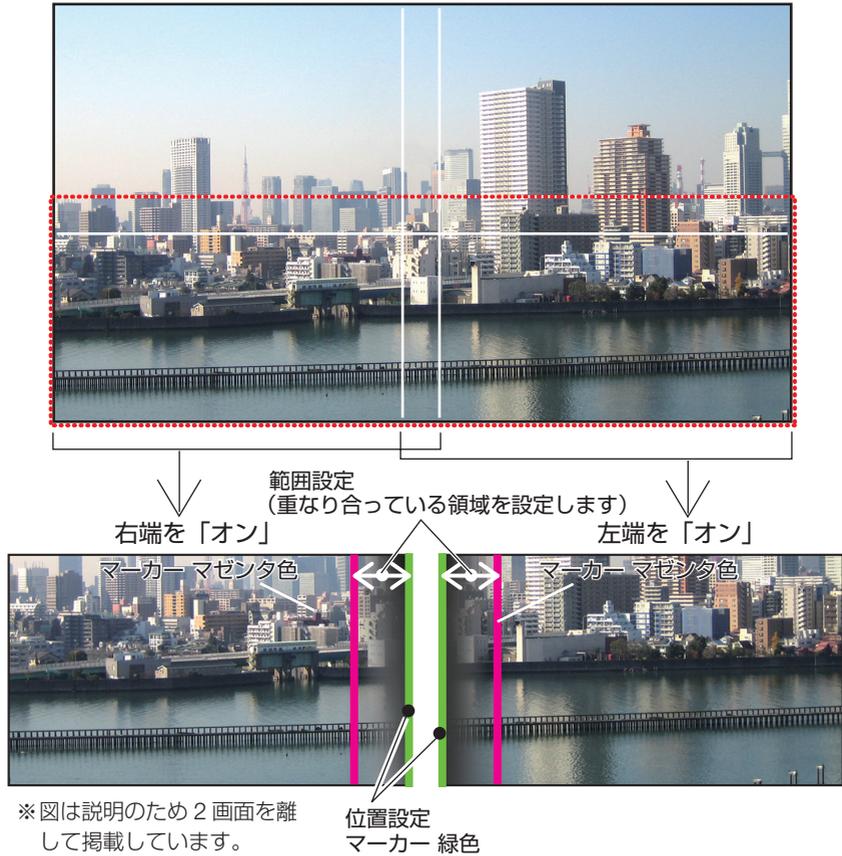


- 4 映像が重なっている部分を「上端」「下端」「右端」「左端」から選択して、「制御」をオンに設定します。

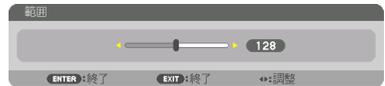


2 「範囲」と「位置」を調整して、重なりあっている領域を設定する。

マーカーをオンにするとマゼンタと緑色の線（マーカー）が表示されます。
マゼンタは範囲調整用、緑色は位置調整用です。



- 「範囲」を調整します。
重なる領域（幅）を調整します。マーカーを表示してもう一方のプロジェクターの表示位置のマーカーに重なるように調整すると簡単にできます。
- 「位置」を調整します。
重なる領域の端（映像の端）に合わせます。
調整が終わったら、マーカーをオフにして、マーカーを消します。



参考

- 解像度の違う信号を投写したときは、再度、エッジブレンディングの調整が必要になります。
- マーカーの設定は、保存されません。電源を切ると、マーカーの設定はオフに戻ります。
- マーカーを非表示にしたいときは、必ず、メニューでマーカーをオフにしてください。

投写画面が重なっている部分を調整する

必要に応じて、「ブレンドカーブ」や「黒レベル」で、映像が重なっている部分の明るさを調整します。

- ブレンドカーブと黒レベルは、モードがオンになっていないと選択できません。

●ブレンドカーブの選択

映像が重なっている部分の階調変化を調整して、投写画面の境界を目立たなくします。9種類のカーブ設定の中から、最適なものを選択します。

- 1 「表示」→「エッジブレンディング」の「ブレンドカーブ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
ブレンドカーブ選択画面に切り替わります。



- 2 **(▲/▼)** ボタンで1～9のいずれかを選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。
他のプロジェクターを調整する際も、上記で選択したものと同一項目を選択してください。



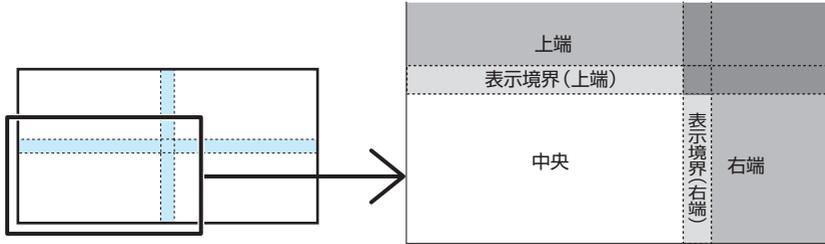
●黒レベルの調整

マルチ画面の重なっていない映像と重なっている部分（エッジブレンディング）の黒レベル調整です。

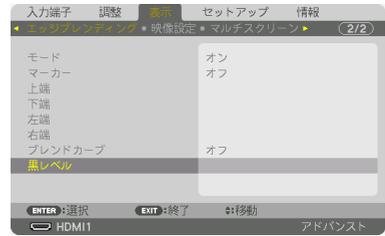
明るさの濃淡が気になる場合に調整します。

- エッジブレンディングの「上端」「下端」「左端」「右端」の制御をオンにした組み合わせで調整する箇所が変わります。([▶次ページ](#))

左下プロジェクターの黒レベル調整は図のようになります。



- 1** 「表示」 → 「エッジブレンディング」の「黒レベル」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
黒レベル調整画面に切り替わります。

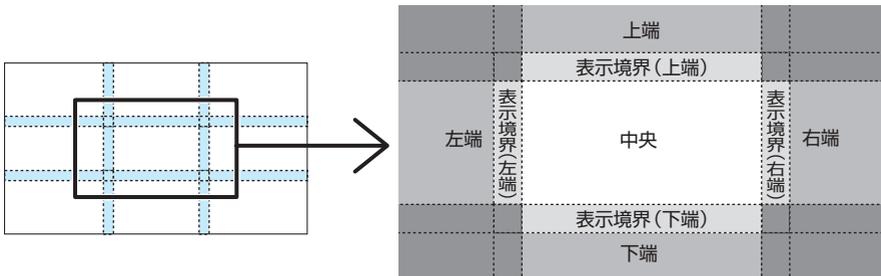


- 2** **(◀▶)** ボタンで調整する箇所を選択し、**(◀▶)** ボタンで黒レベルを調整する。
他のプロジェクターの調整が必要な場合は同じ要領で行ってください。



参考：9面マルチ時の黒レベル調整分割画面

センタープロジェクターの黒レベル調整は図のようになります。



- 参考**
- 黒レベル分割画面数は、エッジブレンディング位置（上端、下端、左端、右端）の選択数によって変わります。また、上/下端と左/右端を選択するとコーナーの分割画面が出現します。
 - エッジブレンディング幅は範囲で設定されている幅、コーナーは上/下端または左/右端の交差する面積になります。
 - 黒レベルは、明るくする方向のみ調整できます。

5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

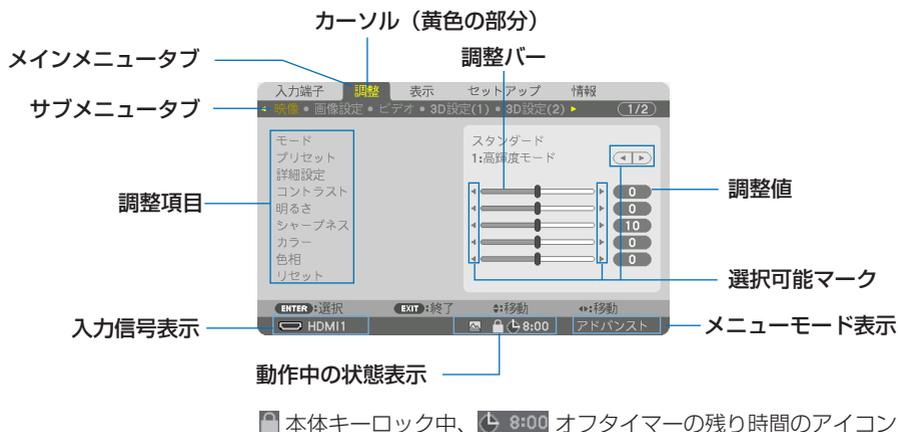
オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(MENU)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

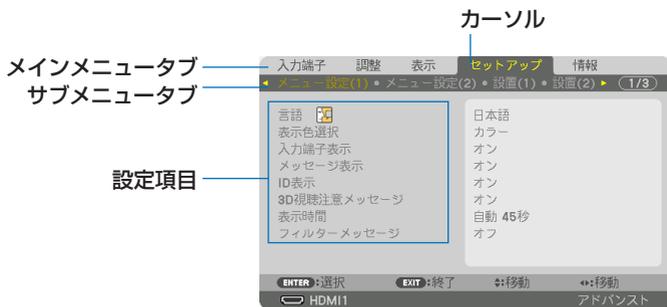
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

- 1 (MENU)ボタンを押す。
ご購入後、はじめて操作したときは調整メニューが表示されます。

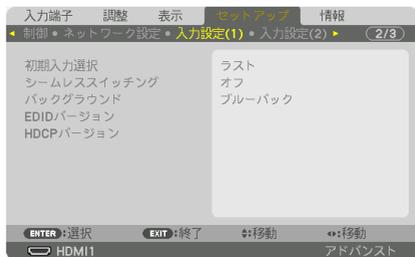


- 2 (▲/▼) ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。
- 3 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。
 - ・「 (選択可能マーク)」が付いている項目は(◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。
 - ・「 (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。
 - ・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

- 4** (EXIT) ボタンを 2 回押す。
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。
- 5** (▶) ボタンを 2 回押す。
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



- 6** (ENTER) ボタンを押す。
メニュー設定にカーソルが移動します。
・ セットアップにはメニュー設定 (1)、メニュー設定 (2)、設置 (1)、設置 (2)、制御、ネットワーク設定、入力設定 (1)、入力設定 (2)、電源設定、リセットという 10 のサブメニュータブがあります。(◀▶) ボタンで選択します。
- 7** (▶) ボタンを 6 回押して「入力設定 (1)」にカーソルを合わせる。
入力設定 (1) のメニューに切り替わります。



- 8** (▼) ボタンを 3 回押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
バックグラウンド選択画面が表示されます。
・ バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 9** (▲▼) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。
- 10** 選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
バックグラウンドが設定されます。
・ 選択を取り消す場合は、(EXIT) ボタンを押します。

- 11 (MENU)ボタンを1回押す。
メニューが消えます。

注意 ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

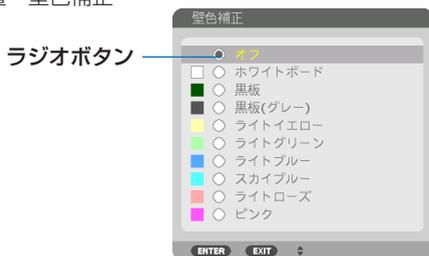
調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから1つ「」を選びます。

【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→設置→壁色補正



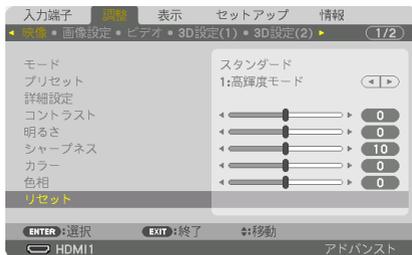
- 1  ボタンを押す。
選択されているマーク  が移動します。
- 2 選択する項目に  を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で(EXIT)ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例2】調整のリセット



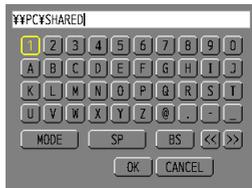
- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、 ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

文字入力画面の使いかた

入力する項目によって、入力画面が異なります。



【IP アドレスのとき】



【ユーザー名、プロジェクター名、パスワード、信号リストの信号名など入力するとき】

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
文字入力画面を表示します。

文字以外の項目は、次のような働きをします。

- [MODE]英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- [SP]スペースを入力します。
- [BS]カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- [<<>>]英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- [OK]入力した文字を確認して、文字入力画面を閉じます。
- [CANCEL] ...入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

- 2 **(▲▼◀▶)** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
文字が入力されます。

- 3 入力が終わったら**(▲▼◀▶)** ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
入力した文字を確認して、文字入力画面が閉じます。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの選択はセットアップ→制御→ツール→管理者モード→メニューモードで選択します。([▶ 131 ページ](#))

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
入力端子	—	HDMI1 B	95		
		HDMI2 B			
		DisplayPort 1 B			
		DisplayPort 2 B			
		HDBaseT B			
		SDI1 B			
		SDI2 B			
		SDI3 B			
		SDI4 B			
		SLOT B			
信号リスト					
テストパターン					
調整	映像	モード	スタンダード、プロフェッショナル	99	
		プリセット	自動、1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：REC709、4：シネマ、5：REC2020、6：sRGB、7：DICOM SIM.		
	詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、REC709、シネマ、REC2020、sRGB、DICOM SIM.	100
			ガンマ設定 ^{※1}		
		スクリーンサイズ ^{※2}	大、中、小		
		色温度 ^{※3}			
		ダイナミックコントラスト	オフ、動画、静止画		
		ライトモード	ライト調整 輝度一定モード (オフ/オン)	101	
		ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、 コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青		
		色補正	赤 (色相/彩度)、緑 (色相/彩度)、 青 (色相/彩度)、イエロー (色相/彩度)、マゼンタ (色相/彩度)、 シアン (色相/彩度)	102	

※1：ガンマ設定は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。

※2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。

※3：色温度は、参照で「高輝度モード」または「プレゼンテーション」を選択しているときには表示されません。

メニュー			選択項目	参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
調整	映像	詳細設定	設定 (オン/オフ)、MCGD (参照/赤/緑/青/白/確定/取消)、TCGD (参照/赤/緑/青/シアン/マゼンタ/イエロー/白/保存/確定/取消)	103	
		コントラスト B		104	
		明るさ B			
		シャープネス B			
		カラー B			
		色相 B			
		リセット B			
	画像設定	水平			105
		垂直			
		プランキング	上端、下端、左端、右端		
オーバースキャン		自動、0%、5%、10%			
アスペクト B			(コンピューター信号時) 自動、ノーマル、4:3、5:4、16:9、15:9、16:10、フル、リアル	106	
			(HDTV/SDTV 信号時) 自動、ノーマル、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、ズーム、フル		
ビデオ	ノイズリダクション		オフ、弱、中、強	108	
	デインターレース		ノーマル、動画、静止画		
	コントラストエ	モード	オフ、自動、ノーマル		
	ンハンズメント	ゲイン			
	信号形式		自動、RGB、REC601、REC709、REC2020	109	
	ビデオレベル		自動、ノーマル、拡張、スーパーホワイト		
HDR モード		自動、オフ、オン			
3D 設定 (1)	ステレオビューワー		シングル、左側、右側	110	
	フォーマット		自動、オフ (2D)、フレームパッキング、サイドバイサイド (ハーフ)、サイドバイサイド (フル)、トップアンドボトム		
3D 設定 (2)	3D 詳細設定		オフ、オン	111	
	L/R ディスプレイリファレンス		未使用、GPI 使用 (正転)、GPI 使用 (反転)		
	ディレイ	時間			
		位相			
	フレームレート比		1:1、4:1、6:1、2:2、4:2、6:2		
	インプットフレームドミナンス		左 (L1R1 L2R2)、右 (R1L1 R2L2)		
	L/R アウトプットリファレンス		正転、反転		
	ダークタイム				
L/R インプットリファレンス		無し、GPI (正転)、GPI (反転)、ポート (正転)、ポート (反転)			

メニュー			選択項目	参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
調整	レンズメモリー	登録		112	
		移動			
		リセット			
		信号別読み出し	オフ、オン		
		映像ミュート	オフ、オン		
表示	PICTURE BY PICTURE	モード	オフ、デュアル、クアッド	114	
		サブ入力 1	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SLOT		
		サブ入力 2	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2		
		サブ入力 3	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2		
		ポートレート設置角度	0°、90°、270°		
		メイン画面ポジション			115
	サブ画面ポジション				
	幾何学補正	モード		オフ、台形補正、4点補正、水平角打ち補正、垂直角打ち補正、ワープ、PC ツール	116
		台形補正	水平		116
			垂直		
打上げ度					
投写比					
4点補正		上端 - 左端、上端、上端 - 右端、左端、右端、下端 - 左端、下端、下端 - 右端		117	
水平角打ち補正				119	
垂直角打ち補正					
ワープ					
PC ツール		オフ、1、2、3		120	
リセット					
エッジレンディング	モード		オフ、オン	120	
	マーカー		オフ、オン		
	上端、下端、左端、右端	制御	オフ、オン		
		範囲			
		位置			
	ブレンドカーブ		オフ、1、2、3、4、5、6、7、8、9		
黒レベル	中央、上端、下端、左端、右端、表示境界(上端)、表示境界(下端)、表示境界(左端)、表示境界(右端)	基準/赤/緑/青/リセット	121		
映像設定	モード		オフ、ズーム	121	
	ズーム		水平拡大、垂直拡大、水平位置、垂直位置		
	タイリング		横台数、縦台数、横順番、縦順番		
マルチスクリーン	ホワイトバランス	モード	オフ、オン	122	
		コントラスト 白、コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 白、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青			

メニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	メニュー設定 (1)	言語 [ⓑ]	ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दी、INDONESIA、بھارتی、繁體中文、TIẾNG VIỆT	123	
		表示色選択	カラー、モノクロ		
		入力端子表示	オフ、オン		
		メッセージ表示	オフ、オン		
		ID表示	オフ、オン		
		3D視聴注意メッセージ	表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒	124
			フィルターメッセージ	オフ、100[H]、500[H]、1000[H]、2000[H]、5000[H]、10000[H]、20000[H]	
			メニュー角度	0°、90°、270°	
		メニュー設定 (2)	メニュー位置	上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	125
			設置 (1)	投写方法	デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント
設置 (1)	スクリーンタイプ	フリー、4:3スクリーン、16:9スクリーン、16:10スクリーン	127		
	壁色補正 [ⓑ]	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板(グレー)、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク			
	ファンモード	モード		自動、高速、低速	
	基準ライトモード [ⓑ]	基準ライト調整		128	
		輝度一定モード	オフ、オン		
	基準ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青、ユニフォミティ 赤、ユニフォミティ 青			
コンバージェンス	水平 赤、水平 緑、水平 青、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青		129		
設置 (2)	シャッター設定	パワーオンシャッター	開、閉	129	
		映像ミュートシャッター	開、閉		
		フェードイン時間	0～10秒		
		フェードアウト時間	0～10秒		
	基準レンズメモリー	プロファイル	1、2	130	
		登録			
		移動			
		リセット			
		信号別読出し	オフ、オン		
		映像ミュート	オフ、オン		

メニュー		選択項目		参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	設置 (2)	レンズポジション	ホーム	130	
		レンズキャリブレーション			
制御	ツール ^B	管理者モード	メニューモード	アドバンスド、ベーシック	131
			設定値を保存しない	オフ、オン	
			新規パスワード		
		プログラムタイマー	有効	オフ、オン	132
			設定	編集 (動作、曜日、時刻、機能、詳細設定、繰り返し)、削除、上、下、戻る	
	日付と時刻設定	タイムゾーン設定		135	
		日付と時刻設定			
		夏時間設定			
	本体キーロック		オフ、オン		
	通知設定	後方 LED	オフ、オン		
		ブザー	オフ、オン		
	セキュリティ		オフ、オン		
	通信速度		4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、115200bps		136
	コントロールID	コントロールID番号	1- 254		
		コントロールID	オフ、オン		
リモコン受光部設定		前側 / 後側、前側、後側、HDBaseT		138	
ネットワーク設定	有線 LAN	(インターフェース、プロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS 設定、再接続)		140	
		プロジェクト名	PJ-*****		
	ドメイン	ホスト名	pj-*****	141	
		ドメイン名			
	アラートメール	メール通知、ホスト名、ドメイン名、差出人アドレス、SMTP サーバー名、宛先アドレス 1、宛先アドレス 2、宛先アドレス 3、送信テスト		142	
	ネットワークサービス	HTTP サーバー	新規パスワード、パスワード再確認		143
		PJLink	新規パスワード、パスワード再確認、クラス、デスティネーション		
AMX BEACON		オフ、オン		144	
入力設定 (1)	初期入力選択		ラスト、自動、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、SLOT	145	
	シームレススイッチング		オフ、オン		
	バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ		
	EDID バージョン	HDMI1	モード 1、モード 2		146
HDMI2			モード 1、モード 2		
HDCP バージョン		HDMI1	HDCP2.2、HDCP1.4		
		HDMI2	HDCP2.2、HDCP1.4		
		HDBaseT	HDCP2.2、HDCP1.4		

メニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	入力設定 (2)	SDI リンク	シングル、クアッド、クアッド (インターリーブ)、デュアル	146	
		DP リンク	シングル、デュアル	147	
	電源設定	ダイレクトパワーオン	オフ、オン	147	
		オートパワーオン選択	オフ、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、SLOT		
		オートパワーオフ	オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、0:30、1:00	148	
		オフタイマー B	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00		
	SLOT 電源	プロジェクターオン	オフ、オン		
			プロジェクタースタンバイ	無効、有効	
	リセット	表示中の信号		149	
		全データ			
全データ (信号リストを含む)		150			
	フィルター時間クリア				
情報	使用時間 B	ライト使用時間、フィルター使用時間、低速ファンモード使用時間	151		
	信号 (1) B	入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期極性、走査方式、信号名、登録番号			
	信号 (2) B	信号形式、色深度、ビデオレベル、3Dフォーマット			
	有線 LAN (1)	ネットワークインターフェース、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、DNS			
	有線 LAN (2)	ネットワークインターフェース、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、DNS			
	VERSION (1) B	FIRMWARE、DATA、FIRMWARE2、			
	その他 B	日付と時刻、プロジェクター名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、CONTROL ID ^{*4} 、レンズ ID			
	状態	吸気温度 1、吸気温度 2、吸気温度 3、吸気温度 4、大気圧、AC 入力電圧			
	HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス			

*4 : CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力端子



入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

HDMI1	HDMI 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort 1	DisplayPort 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 また、DisplayPort をデュアルリンクで接続している場合に選択します。
DisplayPort 2	DisplayPort 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDBaseT	HDBaseT の信号を投写します。
SDI1	SDI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 また、SDI をクアドリンクまたはデュアルリンクで接続している場合に選択します。
SDI2	SDI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SDI3	SDI3 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SDI4	SDI4 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SLOT	本機では使用できません。
信号リスト	信号リストから信号を呼び出してして投写します。(96 ページ)
テストパターン	メニューを閉じてテストパターン画面に切り替わります。 (◀▶) ボタンでテストパターンを切り替えます。 テストパターンを消すときは、(EXIT) ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none">● テストパターンは、プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認するときや、フォーカスを調整するときに表示します。 フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

信号リストを利用する

画像設定やレンズメモリー登録などを行うと、信号の調整値が本機の信号リストに自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

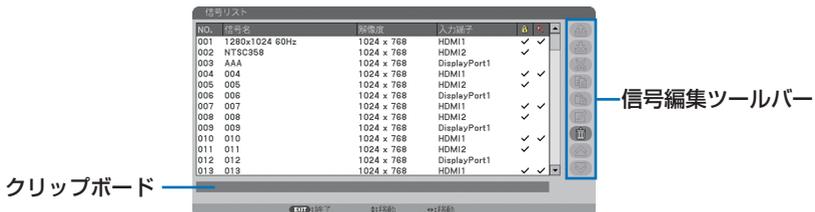
信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

- 1 (MENU) ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 (◀▶) ボタンを押して「入力端子」にカーソルを合わせる。
入力端子選択画面が表示されます。



- 3 (▼) ボタンを押して、カーソルを信号欄に移動する。
- 4 (▲▼◀▶) ボタンを押して「信号リスト」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストが表示されます。
 - メニューに信号リストが表示されていない場合は、アドバンストメニューに変更してください。アドバンストメニューとベーシックメニューの選択はオンスクリーンメニュー→セットアップ→制御→ツール→管理者モード→メニューモードで行います。
(131 ページ)



●投写している信号を登録する [登録]

- 1 信号リストで(▲▼)ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶) ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し(▲▼)で (登録) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(✎) (編集)にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。



信号名	英数字、記号 最大 18 文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、[全削除] を行ったときに残しておくことができます。また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🚫)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

●信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(✂) (カット)にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストの下のクリップボードに、削除した信号が表示されます。



- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面でロックした信号を選択した場合は、カットは文字が薄く表示され選択できません。



- クリップボードの内容は、信号編集ツールバーの(📄) (貼付け)で信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じても消えません。

●信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(📄) (コピー) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストの下のクリップボードに、コピーする信号が表示されます。
- 3 (◀/▶)ボタンを押して信号リストに移動する。
- 4 (▲/▼)ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせる。
- 5 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(📄) (貼付け) にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

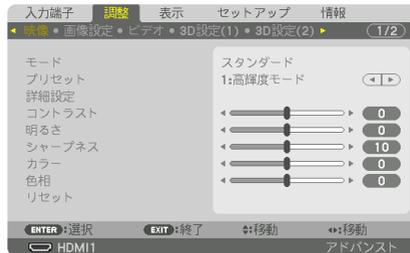
- 1 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(🗑) (全削除) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 信号編集画面でロックした信号は削除されません。

5-4. 調整

映像



●モード

プリセットの詳細設定の設定値を、入力信号ごとに保存するかどうかを設定します。

スタンダード	プリセットの詳細設定の設定値を、プリセットの項目ごと（1～7）に保存します。
プロフェッショナル	映像ページ内のすべての設定値が入力信号ごとに保存されません。

注意

- テストパターンを表示しているとき、モードは選択できません。

●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～7に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～7に登録できます。

自動	入力信号の周波数・解像度・色情報をもとに信号種類（PC系 / VIDEO系）に適したモードを自動で切り替えます。
1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：REC709	ITU-R BT.709規格に準拠した表示色です。
4：シネマ	DCI-P3に準拠した表示色です。
5：REC2020	ITU-R BT.2020規格に近い表示色です。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。

注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナー、プリンターなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押します。

ガンマ設定、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、ライトモード、ホワイトバランス、色補正、色設定の項目について、細かな設定ができます。

注意

- プリセットで「自動」を選択した場合は、詳細設定は選択できません。



全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ設定

映像の階調を調整します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ設定は調整できません。

全般 — スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	300 型前後のサイズのときに選択します。
中	200 型前後のサイズのときに選択します。
小	100 型前後のサイズのときに選択します。

注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。
 高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。3200K から 10500K の間で設定できます。

注意

- 詳細設定で「高輝度モード」または「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 — ダイナミックコントラスト

設定すると映像に応じて最適なコントラスト比に調整します。

オフ	ダイナミックコントラストは働きません。
動画	動画に最適な設定です。
静止画	静止画に最適な設定です。映像の変化に対して素早く追従します。

注意

- プロジェクターの設定、状態によってはダイナミックコントラストが選択できない場合があります。

全般 — ライトモード

プロジェクターの輝度を調整して、入力信号ごとに保存します。(🔗 59 ページ)
 映像のモードが「プロフェッショナル」のとき調整が有効になります。

ライト調整		出力を 30* ~ 100% の範囲 (1% 刻み) で調整できます。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 ・再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。

注意

- 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。
- 輝度一定モードの設定は、入力信号ごとに保存されません。

* LX-4K2600Z は 40% からです。

● ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●色補正

各信号共通の色補正を行います。

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ（紫）、シアン（明るい青緑）の各色の色味を調整します。

赤	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
緑	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
青	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンダよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
イエロー	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
マゼンタ	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
シアン	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。

●色設定

色度座標が測定できる色度計を使用して、投写光の赤 / 緑 / 青 / 白の色度座標を入力することで、投写映像の色域（色再現範囲）を調整することができます。

ネイティブカラー（色補正を行わないカラー）の値を測定して MCGD に登録することで、指定するカラー（ターゲットカラー：TCGD）を再現します。

色設定を行う前に、輝度を安定させるため、15 分以上光源を点灯させてください。はじめに色度計を使用して MCGD の色座標を設定し、次に表示させたい色座標を TCGD として設定します。

色度域の測定には、測定できる波長幅が狭い分光放射輝度計を使用することをおすすめします。



- 詳細設定で「高輝度モード」を選択した場合、色設定を行うことはできません。

設定

色設定の有効・無効を設定します。

有効（オン）にすると、MCGD と TCGD を設定できます。

MCGD

投写している映像の色座標を入力します。

参照	赤 / 緑 / 青 / 白の色座標の設定値を読み出します。 スタンダード……………工場設定値を読み出します。赤 / 緑 / 青 / 白の色座標の入力はできません。 ユーザー 1 / ユーザー 2……ユーザー設定値を 2 通り登録できます。
赤 / 緑 / 青 / 白	色座標を設定します。 【設定方法】 ① 赤を選択して(ENTER)ボタンを押すと、赤色のテストパターン表示に切り替わります。 ② テストパターン画面の中央を色度計で測定します。 ③ もう一度(ENTER)ボタンを押すと、色座標入力画面に切り替わります。 ④ 測定した値を入力します。 (◀▶)ボタンでカーソルを移動して、(▼▲)ボタンで値を変更します。 ⑤ (ENTER)ボタンを押すと MCGD 設定画面に戻ります。 続けて、同じ手順で緑、青、白の入力を行い、4 色すべての色座標を設定します。
確定	確認画面で「はい」を選択すると、設定を確定して投写映像に反映します。設定した値は、「参照」で選択したユーザー 1 またはユーザー 2 に上書き保存されます。
取消	確認画面で「はい」を選択すると、入力した値を取り消します。

TCGD

ターゲットカラーを設定します。

参照	ターゲット値入力の参考として、工場でのプリセット値（6種類）や、以前に設定した設定値（ユーザー1～10）の赤／緑／青／シアン／マゼンタ／イエロー／白の色座標を表示します。
赤／緑／青／シアン／マゼンタ／イエロー／白	<p>ゲインと色座標を設定します。</p> <p>① 赤を選択して(ENTER)ボタンを押すと、ゲインと色座標の入力画面を表示します。</p> <p>◀▶ボタンでカーソルを移動して、▼▲ボタンで値を変更します。</p> <p>② (ENTER)ボタンを押すとTCGD設定画面に戻ります。</p> <p>続けて、同じ手順で緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー、白の入力を行い、7色すべてのゲインと色座標を設定します。</p> <p>シアン、マゼンタ、イエローは、すべて「0」を入力すると、赤、緑、青の色座標から自動で値を算出して設定します。</p>
保存	赤／緑／青／シアン／マゼンタ／イエロー／白のゲインと色座標の設定の保存先を選択します。10通りの設定が保存できます。
確定	<p>確認画面で「はい」を選択すると、設定を確定します。設定した値は、「保存」で選択した保存先に上書き保存されます。</p> <p>注意 「保存」で保存先が選択されていない（「---」と表示されている）場合は、一時的に設定した値が反映されませんが、後から読み出すことはできません。必ずユーザー1～10の中から保存先を選択してください。</p>
取消	確認画面で「はい」を選択すると、入力した値を取り消します。

注意

- MCGDの値は投写環境で変化しますので、設置場所や照明条件が変わる場合は、測定しなおしてください。
- TCGDが本機の表示できる色域外の場合、正しい色が表示できません。
- 使用される色度計および測定環境によって、TCGDの色度座標と色度計の測定値にずれが発生する場合があります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

注意

- テストパターンを表示しているときは、コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相は調整できません。

●リセット

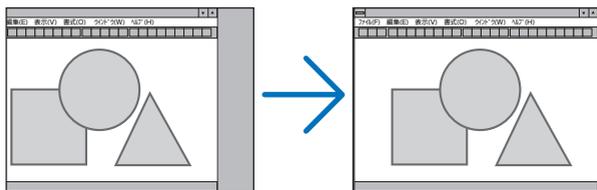
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



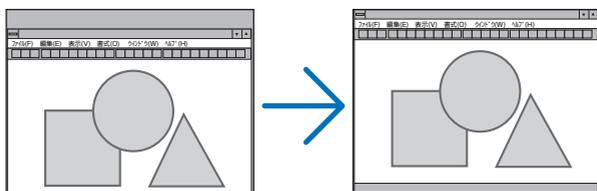
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。

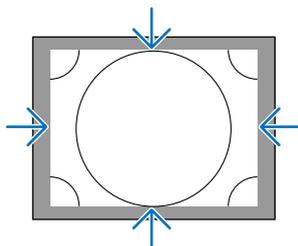


注意

- 水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→リセット→「表示中の信号」を行ってください。

●プランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲(プランキング)を調整します。



●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

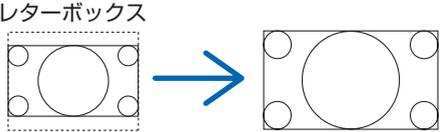
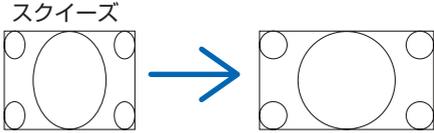
【コンピューター信号時】



【HDTV/SDTV 信号時】



自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
ノーマル	入力信号のアスペクト比のとおり投写します。
4 : 3	4 : 3 のサイズで投写します。
5 : 4	5 : 4 のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9 のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
リアル	コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度 (20 ページ) よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度そのまま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コンピューター入力信号の解像度そのまま画面の中心を投写します。 <div style="text-align: center;"> <p>4 : 3</p> </div>

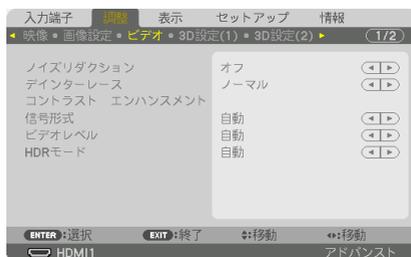
レターボックス	16 : 9 のレターボックス信号を投写します。 
ワイドスクリーン	16 : 9 のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して 16 : 9 のサイズで投写します。 
ズーム	16 : 9 のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして 4 : 3 のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。 
フル	画面サイズ全体に投写します。

参考

- コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA) 1366 × 768	約 16 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
WXGA++ 1600 × 900	16 : 9
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
WSXGA+ 1680 × 1050	16 : 10
FHD(1080P) 1920 × 1080	16 : 9
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10
WQXGA 2560 × 1600	16 : 10
Quad HD 3840 × 2160	16 : 9
4096 × 2160	17 : 9

ビデオ



●ノイズリダクション

ビデオ映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ（ざらつきや乱れ）を軽減することができます。ノイズの度合いに応じて、「オフ」「弱」「中」「強」の4段階から、ノイズリダクション効果を選択できます。

ノイズリダクションは、SDTV 信号または HDTV 信号入力時に選択できます。

●デインターレース

インターレース信号が入力された場合のプログレッシブ変換処理を選択します。

ノーマル	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「動画」を選択してください。
動画	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。
静止画	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。

●コントラストエンハンスメント

人間の目の特性を利用してコントラスト感、解像度感のある画質を実現します。

オフ	コントラストエンハンスメントは動きません。
自動	コントラストエンハンスメント機能によって、自動的にコントラストや画質を改善します。
ノーマル	手動でゲインを調整できます。

●信号形式

RGBとコンポーネント入力信号の選択です。通常は「自動」に設定します。それでも画像の色彩が不自然な場合には設定を切り替えてください。

自動	RGBとコンポーネント入力信号を自動判別します。
RGB	RGB入りに切り替えます。
REC601	ITU-R BT.601規格に準拠したコンポーネント入力信号に切り替えます。SDTV映像に適した設定にします。
REC709	ITU-R BT.709規格に準拠したコンポーネント入力信号に切り替えます。HDTV映像に適した設定にします。
REC2020	ITU-R BT.2020規格に準拠したコンポーネント入力信号に切り替えます。4K映像に適した設定にします。

●ビデオレベル

本機のHDMI1入力端子、HDMI2入力端子、DisplayPort 1入力端子、DisplayPort 2入力端子およびHDBaseTポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
ノーマル	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
スーパーホワイト	映像のコントラストが向上し、暗部がよりダイナミックに表現されます。

●HDRモード

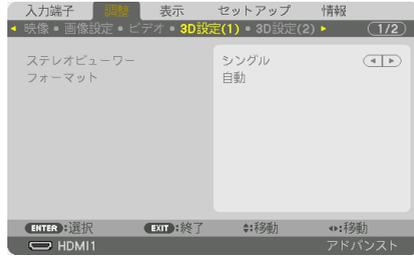
HDR対応機器から映像信号を入力したときの設定を選択します。

自動	信号を自動判別します。
オフ	入力信号の映像を投写します。
オン	HDR信号に適した映像を投写します。



- 4K以外の信号のときは選択できません。

3D 設定 (1)



●ステレオビューワー

プロジェクターを1台または複数台使用して、3D映像を投写するときの設定を行います。3Dメガネの左目/右目の設定をステレオビューワーで選択します。

シングル	1台のプロジェクターで3D映像を投写します。
左側	左映像表示専用のプロジェクターになります。
右側	右映像表示専用のプロジェクターになります。

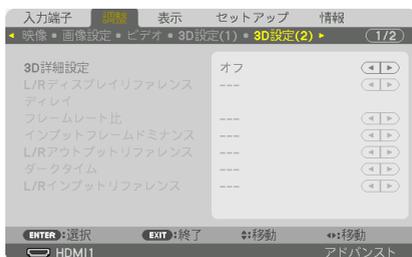
●フォーマット

3D映像のフォーマット（記録／伝送方式）を選択します。

3D放送や3D媒体に合わせた選択をします。

通常は「自動」を選択します。フォーマットの3D検出信号が判別できないときは、3D入力信号のフォーマットを選択してください。

3D 設定 (2)



● 3D 詳細設定

オンにすると、3D の詳細設定が有効になり、各項目の設定を行うことができます。使用する 3D 映像システムに合わせて設定してください。設定に誤りがあると、3D 映像が正常に投写されません。

● L/R ディスプレイリファレンス

ディスプレイリファレンス端子から入力される 3D 信号の L/R タイミング (左目 / 右目) を使って 3D 映像を表示する場合に選択します。

● デイレイ

アウトプットリファレンスの遅延量 (時間または位相) を調整します。

時間	- 32768 ~ 32767 μ s の範囲で調整します。
位相	- 180 ~ 180deg の範囲で調整します。

● フレームレート比

3D の出力画像形式を選択します。

● インプットフレームドミナンス

入力画像の L/R (左目 / 右目) 順を選択します。

● L/R アウトプットリファレンス

3D の出力画像情報 (左目 / 右目) の極性を選択します。

● ダークタイム

ダークタイムを 0 ~ 65535 μ s の範囲で設定します。

● L/R インプットリファレンス

インプットリファレンス端子から入力される 3D 信号の L/R タイミング (左目 / 右目) を使って 3D 映像を表示する場合に選択します。

レンズメモリー



スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）を入力信号ごとに保存することができます。

レンズメモリーを利用すると、入力信号を切り替えたときに、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整をやりなおす必要がありません。

登録	投写している入力信号のレンズシフト、ズーム、フォーカスの位置を保存します。
移動	入力信号に応じて、登録されたレンズの調整位置にレンズが移動します。
リセット	投写中の入力信号に登録されたレンズの調整位置を削除します。
信号別読み出し	信号を切り替えたときに、登録されたレンズの調整位置にレンズを移動します。
映像ミュート	レンズ移動中に、映像をミュート（消去）するかしないかを選択します。

参考

- レンズメモリー機能はレンズの位置を保存すると信号リストに登録します。このため登録されたレンズの位置は映像調整や画像調整登録と同様に信号リストから呼び出すこともできます。(▶ 96 ページ)
なお、信号リストの [カット] および [全削除] を行うとレンズの位置登録も同時に削除されますが、レンズの位置などは他の調整値が呼び出されるまで維持します。
- レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を、すべての入力信号共通のものとして保存する場合は、基準レンズメモリー (▶ 130 ページ) で保存してください。

使いかた

調整値の保存

- 1 調整する接続機器の信号を投写します。
- 2 (L-SHIFT)、(ZOOM +/-)、(FOCUS +/-) ボタンを使って画面の投写位置、大きさ、フォーカスを調整します。
 - リモコンで調整することもできます。
操作について詳しくは、「2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する」(▶ 46 ページ) をご覧ください。
 - プロジェクター本体の移動、チルトフットによる調整は除外されます。

- 3 レンズメモリーのメニュー画面で(▲/▼)ボタンを押して「登録」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。
確認画面を表示します。
- 4 (◀)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。
これで、保存ができました。



調整値を直接呼び出す

- 1 レンズメモリーで保存した映像を投写します。
- 2 レンズメモリーのメニュー画面で(▲/▼)ボタンを押して「移動」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。
確認画面を表示します。
- 3 (◀)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。
保存している信号の調整値にレンズが移動します。



信号を切り替えたときに自動でレンズ移動をさせるには

- 1 レンズメモリーのメニュー画面で(▲/▼)ボタンを押して「信号別読出し」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。
信号別読出し画面を表示します。
- 2 (▼)ボタンを押して「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。
これで、保存している入力信号に切り替えると自動でレンズが移動します。



注意

- 信号リストの編集で投写中の入力信号をロック（チェックマークを付けている）している場合は、レンズメモリーの調整値は保存（書き換え）されません。ロックを解除してから行ってください。

5-5. 表示

PICTURE BY PICTURE



操作については、「4-2. 1台のプロジェクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する【PICTURE BY PICTURE】」(75 ページ)をご覧ください。

●モード

1画面表示、2画面表示、4画面表示を切り替えます。

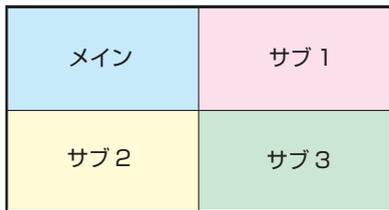
●サブ入力1 / サブ入力2 / サブ入力3

サブ画面に表示する入力信号を選択します。

2画面表示



4画面表示



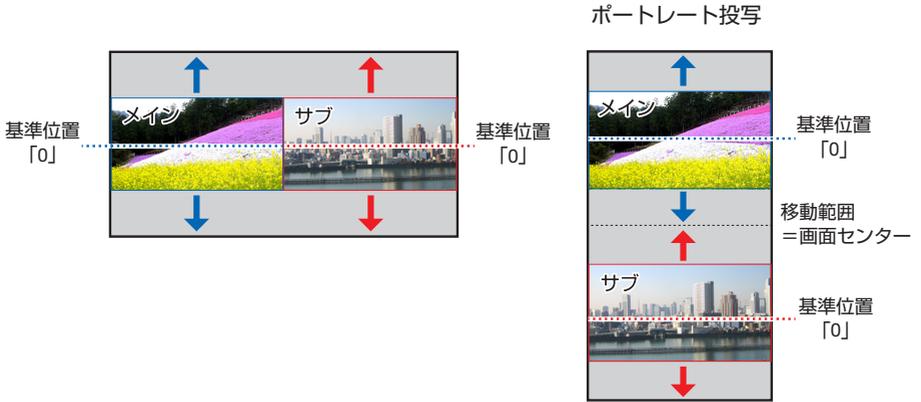
サブ入力1	2画面表示または4画面表示のときに、サブ1の画面に表示する入力信号を選択します。 注意 ●HDBaseTは、モードが「デュアル」の場合のみ選択できます。
サブ入力2	4画面表示のときに、サブ2の画面に表示する入力信号を選択します。
サブ入力3	4画面表示のときに、サブ3の画面に表示する入力信号を選択します。

●ポートレート設置角度

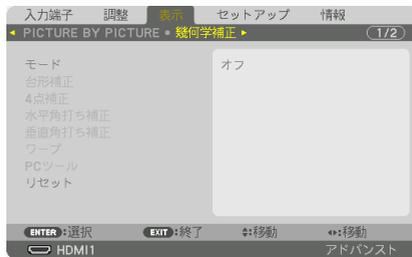
ポートレート投写で2画面を表示する場合に、画面の向きを選択します。

●メイン画面ポジション／サブ画面ポジション

2画面表示のときに、垂直方向の画面位置を調整します。



幾何学補正



●モード

投写画面の歪みを補正する方法を選択します。
オフを選択すると、幾何学補正が無効になります。

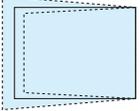
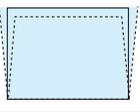
注意

- メニュー角度を変更する場合は、幾何学補正の前に行ってください。
幾何学補正の後にメニュー角度の変更を行うと、幾何学補正の調整値がリセットされます。

● 台形補正



投写画面の水平方向と垂直方向の台形歪みを調整します。

水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。																	
垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。																	
打ち上げ度	レンズシフトで垂直方向に画面を移動した状態で台形補正を行うときの歪を調整します。																	
投写比	使用しているオプションレンズの投写比に応じて調整します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レンズユニットの型名</th> <th>調整範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L2K-10F1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>L4K-11ZM</td> <td>12 ~ 17</td> </tr> <tr> <td>L4K-15ZM</td> <td>15 ~ 21</td> </tr> <tr> <td>L4K-20ZM</td> <td>20 ~ 33</td> </tr> <tr> <td>L2K-30ZM</td> <td>27 ~ 39</td> </tr> <tr> <td>L2K-43ZM1</td> <td>39 ~ 55</td> </tr> <tr> <td>L2K-55ZM1</td> <td>50 ~ 78</td> </tr> </tbody> </table>	レンズユニットの型名	調整範囲	L2K-10F1	9	L4K-11ZM	12 ~ 17	L4K-15ZM	15 ~ 21	L4K-20ZM	20 ~ 33	L2K-30ZM	27 ~ 39	L2K-43ZM1	39 ~ 55	L2K-55ZM1	50 ~ 78
レンズユニットの型名	調整範囲																	
L2K-10F1	9																	
L4K-11ZM	12 ~ 17																	
L4K-15ZM	15 ~ 21																	
L4K-20ZM	20 ~ 33																	
L2K-30ZM	27 ~ 39																	
L2K-43ZM1	39 ~ 55																	
L2K-55ZM1	50 ~ 78																	

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が見られる場合があります。

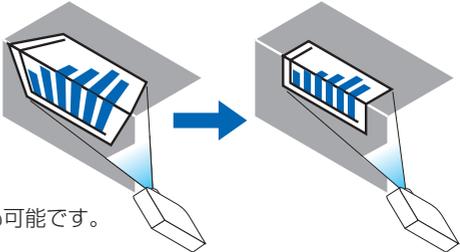
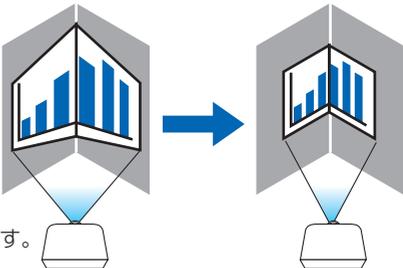
● 4点補正

4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「3-10. 台形歪みを調整する（4点補正）」(📖 60 ページ) をご覧ください。

●水平角打ち補正／垂直角打ち補正

壁面などのコーナー投写時の歪み補正です。

<p>水平角打ち補正</p>	<p>水平方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。</p>  <p>※ 逆角の補正も可能です。</p>
<p>垂直角打ち補正</p>	<p>垂直方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。</p>  <p>※ 逆角の補正も可能です。</p>

注意

- 最大調整範囲を超えると歪み調整はできなくなります。また歪み調整量が多くなると画質劣化が増大しますのでプロジェクターは最適な角度で設置してください。
- 角打ち投写は上下または左右の辺と画面中心との距離の違いによりフォーカスがあまくなりますのでご承知ください。また短焦点レンズでの角打ち投写はフォーカスが合わなくなりますのでおすすめできません。

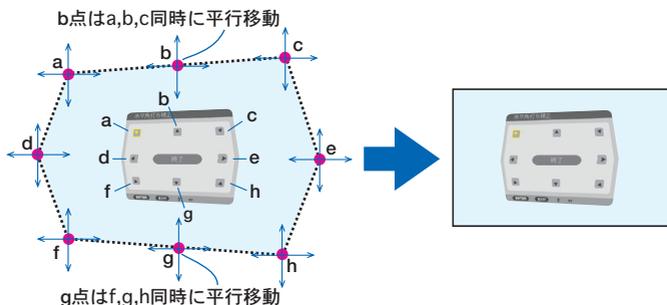
調整方法

- 1** 幾何学補正メニューの「水平角打ち補正」または「垂直角打ち補正」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・調整画面が表示されます。
- 2** (▲▼◀▶)ボタンを押して、カーソル（黄色の枠）を目的の調整ポイントに合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・カーソルが調整ポイント（黄色）に変わります。
- 3** (▲▼◀▶)ボタンを押して画面の角または辺を調整し、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・カーソル（黄色の枠）に戻ります。

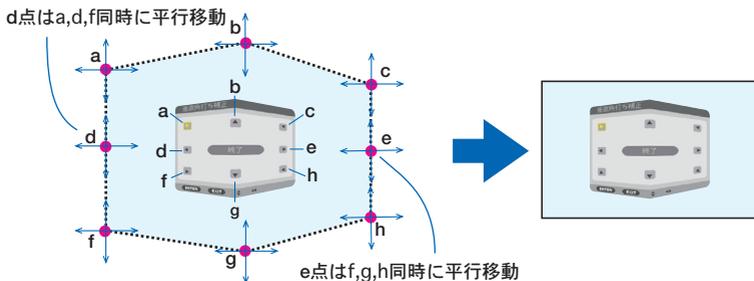
画面移動の説明

- ・ 4 隅の調整ポイント（図の a,c,f,h）は単独で移動します。
- ・ 次の調整ポイントは水平角打ち補正と垂直角打ち補正では異なります。
 水平角打ち：図の b 点を移動すると上辺、g 点を移動すると下辺が平行移動します。
 垂直角打ち：図の d 点を移動すると左辺、e 点を移動すると右辺が平行移動します。

【水平角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】



【垂直角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】



- 4** 他のポイントを調整するときは**2**から行います。
- 5** 調整が終わりましたら、(▲▼◀▶)ボタンを押して調整画面の「終了」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
調整終了画面が表示されます。
- 6** (◀▶)ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
水平角打ち補正または垂直角打ち補正の調整が確定され、幾何学補正画面に戻ります。

●ワーブ

円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪み補正です。

注意

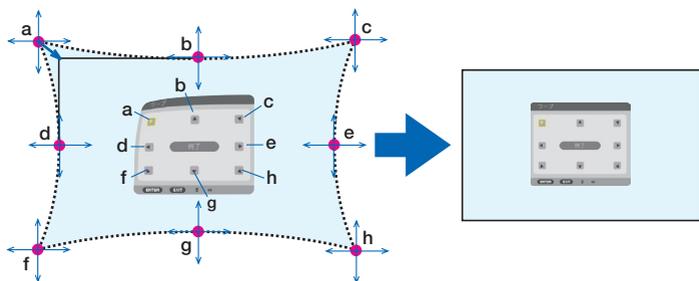
- 最大調整範囲を超えると歪み調整はできなくなります。また歪み調整量が多くなると画質劣化が増大しますのでプロジェクターは最適な角度で設置してください。
- 円柱面や球面等への投写は、画面中心と周辺との距離の違いによりフォーカスがあまくなりますのでご承知ください。また短焦点レンズでの投写はフォーカスが合わなくなりますのでおすすめできません。

調整方法

- 1** 幾何学補正メニューの「ワーブ」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・調整画面が表示されます。
- 2** (▲▼◀▶)ボタンを押して、カーソル（黄色の枠）を目的の調整ポイントに合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・カーソルが調整ポイント（黄色）に変わります。
- 3** (▲▼◀▶)ボタンを押して画面の角または辺のわん曲歪みを調整し、(ENTER)ボタンを押します。
 - ・カーソル（黄色の枠）に戻ります。

画面移動の説明

- ・ 8 点の調整ポイントは単独で移動します。
- ・ 左右辺は(◀▶)ボタンで歪みの大きさ、(▲▼)ボタンで歪みの中心位置を調整します。
- ・ 上下辺は(▲▼)ボタンで歪みの大きさ、(◀▶)ボタンで歪みの中心位置を調整します。
- ・ コーナーは(▲▼◀▶)ボタンで位置を移動します。



※図は球面に投写されている画面の補正イメージです。

- 4** 他のポイントを調整するときは**2**から行います。
- 5** 調整が終わりましたら、(▲▼◀▶)ボタンを押して調整画面の「終了」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。調整終了画面が表示されます。
- 6** (◀▶)ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。ワーブの調整が確定され、幾何学補正画面に戻ります。

● PC ツール

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。
登録データは3つあります。



注意

- 幾何学補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

●リセット

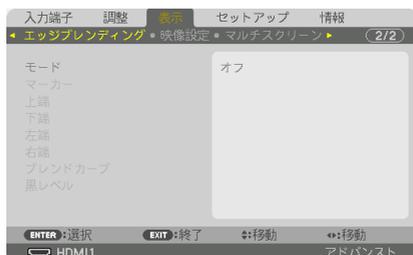
幾何学補正のモードで選択されている項目の調整値をリセット（初期値に戻す）します。

モードがオフのときは無効です。

- ・リモコンの(3D REFORM) ボタンを2秒以上押しでもリセットできます。

エッジブレンディング

本機を左右上下に複数台組み合わせ、解像度の高い映像を投写する際に、投写画面の端（境界）を調整します。



●モード

エッジブレンディング機能の有効・無効を設定します。

モードをオンに設定するとマーカー、上端、下端、左端、右端、黒レベル、ブレンドカーブを設定・調整できます。

●マーカー

範囲と表示位置調整時にマーカーを表示するかしないかを設定します。オンにすると、範囲調整用はマゼンタ、表示位置調整用は緑のマーカーが表示されます。

●上端、下端、左端、右端

画面の上下左右のエッジブレンディング箇所を選択します。項目を選択すると以下の設定・調整ができます。(81 ページ)

制御	上端、下端、左端、右端の有効・無効を設定します。
範囲	エッジブレンディングの範囲（幅）を調整します。
位置	エッジブレンディングの設定位置を調整します。

●ブレンドカーブ

エッジブレンディング部分の明るさを設定します。(👉 83 ページ)

●黒レベル

エッジブレンディング部分の黒レベルを調整します。(👉 83 ページ)

映像設定

映像エリアを縮小拡大して任意の位置に表示したり、複数台のプロジェクターを組み合わせて投写する場合の分割条件を設定します。

詳しくは、「4. マルチスクリーン投写」(👉 74 ページ) をご覧ください。



モード	オフ	プロジェクターを単体で使用します。
	ズーム	分割したい映像エリアの位置、映像幅を調整します。その幅でエッジブレンディングの幅も自動設定します。
ズーム	水平拡大	映像エリアを横方向に拡大します。
	垂直拡大	映像エリアを縦方向に拡大します。
	水平位置	映像エリアを横方向に移動します。
	垂直位置	映像エリアを縦方向に移動します。
タイリング	横台数	プロジェクターを横に並べた台数を選択します。
	縦台数	プロジェクターを縦に並べた台数を選択します。
	横順番	横に並べた台数中、左から何番目のプロジェクターかを選択します。
	縦順番	縦に並べた台数中、上から何番目のプロジェクターかを選択します。

タイリングの使用条件

- すべてのプロジェクターは下記の条件を満たしている必要があります。

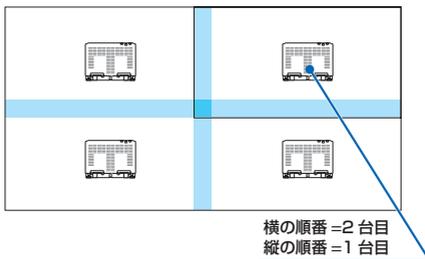
- ・ パネルサイズが同じ
- ・ 投写画面サイズが同じ
- ・ 投写画面の左右端または上下端が一致していること
- ・ エッジブレンディングの左端と右端の設定が同じ
- ・ エッジブレンディングの上端と下端の設定が同じ

タイリング条件を満たしていれば、各設置位置のプロジェクターの映像画面を自動で抽出して投写します。

タイリング条件を満たしていない場合は、ズームで各設置位置ごとのプロジェクターの映像画面を調整してください。

- 各プロジェクターに対して異なるコントロールIDを設定してください。
- ブルーレイプレーヤー（またはコンピューター）のカラー設定、DeepColor設定は、自動に設定してください。詳しくはブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

タイリング設定例) 横台数 = 2 台、縦台数 = 2 台



マルチスクリーン



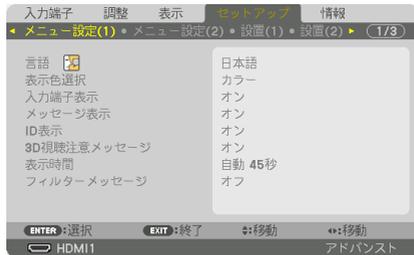
● ホワイトバランス

複数台のプロジェクターを組み合わせる場合、プロジェクターごとのホワイトバランスを調整します。

モード	「オン」のとき調整ができます。
コントラスト 白 コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。
明るさ 白 明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。

5-6. セットアップ

メニュー設定 (1)



●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考 ● 言語は、リセットを行っても変更されません。

●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

投写画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・入力信号を切り替えたときに、画面右上に「HDMI1」などの入力端子名を表示します。

●メッセージ表示

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID ( 136 ページ) をご覧ください。

● 3D 視聴注意メッセージ

3D 映像に切り替えたとき視聴注意メッセージを表示するか、しないかを選択します。
(工場出荷状態はオンです。)

オフ	3D 視聴注意メッセージ画面は表示されません。
オン	3D 映像に切り替えたときは 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。 (ENTER) ボタンを押すとメッセージは消えます。 ・ 約 60 秒経過したときや他のボタン操作をした場合は、自動で消えます。 自動で消えたときは、再度 3D 映像に切り替えると 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。

● 表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

● フィルターメッセージ

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルターメッセージで設定した時間（工場出荷時は「オフ」）を超えると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルターの清掃時期ですので、フィルターを清掃してください。清掃のしかたは「7-3. エアフィルターの清掃」(▶ 156 ページ) をご覧ください。

フィルターの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定「オフ」を変更してください。たとえば、フィルターの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルター清掃のメッセージは表示されません。
100[H] / 500[H] / 1000[H] / 2000[H] / 5000[H] / 10000[H] / 20000[H]	設定した時間(100 時間 / 500 時間 / 1000 時間 / 2000 時間 / 5000 時間 / 10000 時間 / 20000 時間) を超えると、画面上にフィルター清掃のメッセージが表示されます。

参考

- フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の (POWER) ボタンまたはリモコンの POWER(OFF) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルター清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルターメッセージは、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定 (2)



● メニュー角度

オンスクリーン表示（メニュー、入力端子、メッセージ）の向きを選択します。

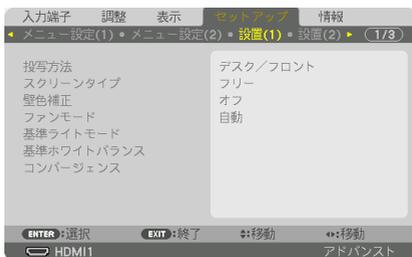
● メニュー位置

メニューを表示する位置を変更します。9箇所から選択できます。

▲ 参考

- 本機の電源を切っても、メニューの表示位置は保存されます。
- メニュー角度を変更すると、メニューの表示位置は工場出荷状態に戻ります。
- 入力端子やメッセージの表示位置は変わりません。

設置(1)



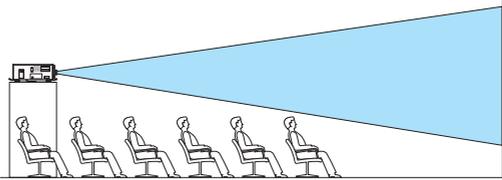
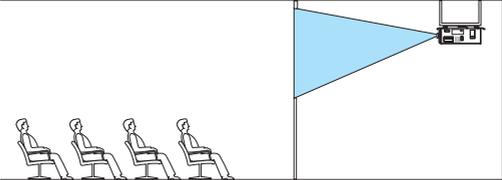
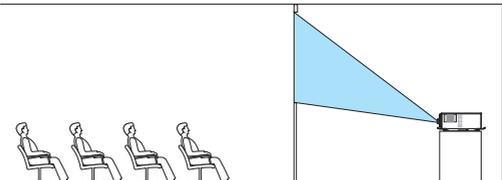
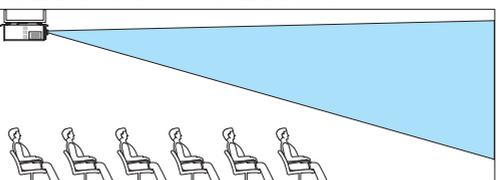
● 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

- 天吊りやアイボルトを使用して吊り下げるなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

●スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。

フリー	パネルの比率になります。17：9画面（4K）を投写するときを選択します。
4：3 スクリーン	縦横比が 4：3 のスクリーンの場合
16：9 スクリーン	縦横比が 16：9 のスクリーンの場合
16：10 スクリーン	縦横比が 16：10 のスクリーンの場合



注意

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。
(106 ページ)

●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。



注意

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

モード	自動	本機内部の温度センサーと気圧センサーにより、適切な速度で回転します。
	高速	常に高速で回転します。
	低速	回転数が下がり、音が小さくなります。



注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「自動」に設定してください。「自動」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 以下のような場合は、内部部品の交換時期が早まる場合があります。
 - ・本機を高地で使用した場合
 - ・本機を高温環境下で使用した場合
 - ・ファンモードを「低速」に設定して使用した場合
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。
- ファンモードを「低速」に設定して使用し続けると、光源の寿命が短くなります。

●基準ライトモード

輝度を下げたいときや、省エネで使いたいときに調整します。また、複数台のプロジェクターを組み合わせるときの、各プロジェクター間の輝度合わせが行えます。

基準ライト調整		出力を 30*~ 100%の範囲 (1%刻み) で調整できます。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 ・再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。 注意 ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。

* LX-4K2600Z は 40%からです。



- 複数台を組み合わせるときの輝度設定は輝度を少し抑えた輝度に調整し、その後輝度設定モードを「オン」にしておくことをおすすめします。

●基準ホワイトバランス

各信号共通のホワイトバランスを調整します。

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

また、画面水平（左右）方向で白色の赤み、青みが不均一な場合はユニフォミティ赤および青を調整します。

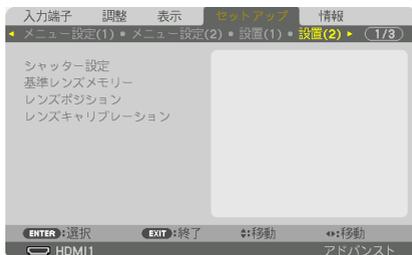
コントラスト 赤	画面の白色を調整します。
コントラスト 緑	
コントラスト 青	
明るさ 赤	画面の黒色を調整します。
明るさ 緑	
明るさ 青	
ユニフォミティ 赤	+側にするほど画面左側の赤みが（左端に行くほど）強まり、逆に画面右側の赤みが（右端に行くほど）弱まります。 一側は逆の状態になります。
ユニフォミティ 青	+側にするほど画面左側の青みが（左端に行くほど）強まり、逆に画面右側の青みが（右端に行くほど）弱まります。 一側は逆の状態になります。

●コンバージェンス

画面の色ずれを調整します。

水平 赤、水平 緑、水平 青は水平方向、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青は垂直方向に
- 3 ~ 0 画素の調整ができます。

設置 (2)



●シャッター設定

投写光を遮断する機能を設定します。また、(SHUTTER) ボタンを押したときに徐々に明るくしていく (フェードイン)、徐々に暗くしていく (フェードアウト) 時間を設定します。

パワーオンシャッター	開	電源を入れたときにレンズシャッターが開き、映像が投写されます。
	閉	電源を入れてもレンズシャッターが閉じています。(SHUTTER) ボタンを押すとシャッターが開き、映像が投写されます。
映像ミュートシャッター	開	入力端子の切り替えなどの操作で映像が消えたときに、レンズシャッターが開いたままになります。
	閉	入力端子の切り替えなどの操作で映像が消えたときに、レンズシャッターが閉じます。
フェードイン時間	(SHUTTER) ボタンを押したときに、光源を点灯して徐々に明るくしていく時間の設定です。 0 ~ 10 秒まで 1 秒刻みの設定ができます。	
フェードアウト時間	(SHUTTER) ボタンを押したときに、光源を消灯して徐々に暗くしていく時間の設定です。 0 ~ 10 秒まで 1 秒刻みの設定ができます。	

●基準レンズメモリー

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）をすべての入力信号共通のものとして、本機の基準レンズメモリーに保存することができます。基準レンズメモリーを利用すると、レンズシフト、ズーム、フォーカスの調整を変更したときに、基準レンズメモリーに保存している調整値に簡単に戻すことができます。（🔗70 ページ）

プロファイル	登録するプロファイル番号を選択します。
登録	選択したプロファイル番号に、すべての入力信号共通のものとして、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存します。
移動	選択したプロファイル番号の基準レンズメモリーに保存されているレンズの調整値にレンズを移動します。
リセット	選択したプロファイル番号の基準レンズメモリーの内容を工場出荷状態に戻します。
信号別読出し	信号を切り替えたときに、選択したプロファイル番号のレンズの調整値にレンズを移動します。 レンズメモリーに調整値が保存されていない場合は、基準レンズメモリーの調整値にレンズを移動します。また、基準レンズメモリーに調整値が保存されていない場合は工場出荷状態に戻ります。
映像ミュート	レンズ移動中に、映像をミュート（消去）するかしらないかを選択します。



参考

- レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を、入力信号ごとに保存する場合は、レンズメモリーで保存してください。（🔗112 ページ）
- 基準レンズメモリーはデータリセットを行っても変更されません。

●レンズポジション

レンズの位置をホームポジション（ほぼ中心位置）に戻します。

●レンズキャリブレーション

レンズの調整範囲を校正します。

レンズキャリブレーション実行中は、SHUTTER インジケーターが緑色で点滅します。レンズユニット L4K-11ZM、L4K-15ZM または L4K-20ZM を取り付けたあとは、必ずレンズキャリブレーションを行ってください。

制御



● ツール



管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効/無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。



メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目は 89 ページ をご覧ください。	—
設定値を保存をしない	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
新規パスワード パスワード再確認	管理者モードにパスワードを設定します。	最大 10 文字

プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時1分にHDMI 1入力端子に接続しているコンピューターの画面に切り替わり、17時に電源がスタンバイ状態になります。



重要

- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください。(▶ 135 ページ)
また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約1ヶ月以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

プログラムを新しく設定する

- 1 プログラムタイマー画面で (▲/▼) ボタンを押して [設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
プログラムリスト画面が表示されます。



- 2 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。



動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン／オフ、「入力端子」を選択すると [詳細設定] で入力信号を選べるようになります。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン／オフまたは入力信号を選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

5 (戻る) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。



6 (EXIT) ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。



注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [動作] のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [動作] にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

プログラムタイマーを有効にする

- 1 プログラムタイマー画面で [プログラムタイマー] の [有効] にカーソルを合わせて、**(ENTER)** ボタンを押す。

選択画面が表示されます。

- 2 **(▼)** ボタンを押して [オン] にカーソルを合わせて、**(ENTER)** ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。

注意

- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていないときは、プログラムリストの [動作] の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

プログラムを編集する

- 1 プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

- 2 編集画面で設定を変更する。

- 3 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、**(▶)** ボタンを押す。

- 2 **(▼)** ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。

- 3 希望の位置まで移動するまで **(ENTER)** ボタンを数回押す。

これでプログラムの順番が変更されます。

プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、**(▶)** ボタンを押す。

- 2 **(▼)** ボタンを押して **(🗑)** (削除) にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

- 3 「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

削除されプログラムリスト画面に戻ります。

日付と時刻設定

本機に日付と時刻およびタイムゾーンを設定します。



タイムゾーン設定	<ul style="list-style-type: none"> 時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。 日本の時刻の場合は UTC「+09:00」を選択します。
日付と時刻設定	<ul style="list-style-type: none"> 日付 月／日／年を設定します。 時刻 時／分を設定します。 インターネット時刻サーバー チェックマークを付けると、本機の電源を入れたときに、インターネット時刻サーバーと同期します。インターネット時刻サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力してください。 更新 「インターネット時刻サーバー」にチェックマークを付けたときに有効になります。インターネット時刻サーバーと同期して、直ちに時刻を更新します。
夏時間設定	「有効」にチェックマークを付けると、夏時間を設定できます。

注意

- 時計機能を使用する場合は、本機を使用しないときでも電源コードを抜かずにスタンバイ状態にしておいてください。
本機の電源コードを外したあと、そのまま約 1ヶ月以上経過すると、日付と時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

● 本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

注意

- 本体キーロックの解除方法
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の (KEY LOCK) ボタンを 1 秒以上押し、本体キーロックの設定が解除されます。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●通知設定

後方 LED (LIGHT ステータスインジケーター / SYSTEM ステータスインジケーター) やブザーによる通知の有効 / 無効を設定します。

後方 LED	オフ	後方 LED が動作しません。
	オン	後方 LED が本機の状態を知らせます。
ブザー	オフ	ブザー音を鳴らします
	オン	ブザー音を切ります。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-11. セキュリティを設定して無断使用を防止する」

([👉 63 ページ](#)) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。



- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。



- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	プロジェクターに割り当てる番号を 1 ~ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の(ENTER)ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの(ID SET)ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順3でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。
たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または(CLEAR)ボタンを押します。

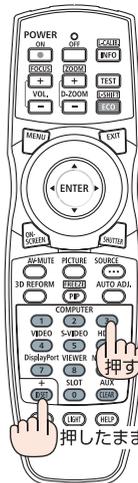
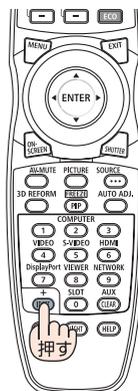
参考

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

- 4 (ID SET)ボタンを離す。
コントロール ID 画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコン操作する場合に選択します。



注意

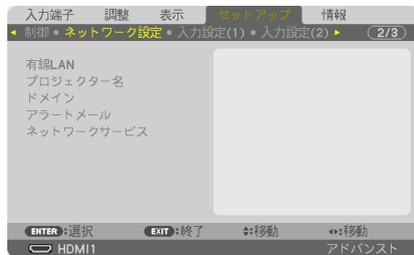
- 「HDBaseT」に設定しているとき、本機に接続している HDBaseT 対応の伝送機器の電源が入っていると、本機のリモコンは受信できません。



参考

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

ネットワーク設定



重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポートまたは HDBaseT ポートに Ethernet ケーブル（LAN ケーブル）を接続してください。（▶ 27 ページ）
LAN ケーブルは、市販のカテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。

参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

本機にLANの設定を行うヒント

● LAN の設定を行うには？（設定を本機のメモリーに記憶するには？）

有線 LAN の「プロファイル」から、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。本機では、2 通りメモリーに記憶することができます。

続いて、「DHCP」の有効／無効、「IP アドレス」、「サブネットマスク」などの設定後、「確定」にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。（▶ 140 ページ）

● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

有線 LAN の「プロファイル」から呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

（▶ 140 ページ）

● DHCP サーバーに接続するには？

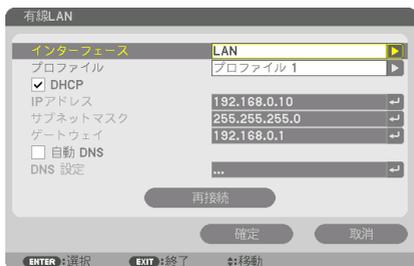
有線 LAN の「DHCP」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

チェックマークが付きます。「DHCP」にカーソルを合わせ、もう一度(ENTER)ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバーを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、「DHCP」のチェックマークを外してください。（▶ 140 ページ）

● プロジェクターの各種のエラーを E メールで受け取るには？

[アラートメール] メニューで [メール通知] にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTP サーバー名]、[宛先アドレス]などを設定し、[確定]にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。（▶ 142 ページ）

●有線 LAN



IP アドレスなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は [88 ページ](#) 「文字入力画面の使いかた」をご覧ください。

インターフェース	LAN ポートの設定を行う場合は「LAN」、HDBaseT ポートの設定を行う場合は「HDBaseT」を選択します。	—
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> 有線 LAN の設定を 2 通り、本機のメモリーに記憶することができます。 「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、「DHCP」以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の「確定」にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。設定内容が本機のメモリーに記憶されます。 本機のメモリーに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。 	—
DHCP	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。 	—
IP アドレス	<p>「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。</p> <p>注意 ● 192.168.254.XXX となる体系の IP アドレスは設定できません。</p>	12 文字
サブネットマスク	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	12 文字

ゲートウェイ	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	12文字
自動DNS	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCPサーバーによって、本機を接続するDNSサーバーのIPアドレスを自動的に設定します。 ・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……本機を接続するネットワークのDNSサーバーのIPアドレスを設定します。 <p>自動DNSはHDBaseTポートのみ設定可能です。</p>	12文字
DNS設定	「自動DNS」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのDNSサーバーのIPアドレスを設定します。	12文字
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

● プロジェクター名



プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	1～16文字
----------	--------------------	--------

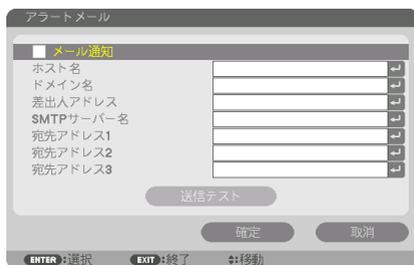
● ドメイン

本機のホスト名とドメイン名を設定します。



ホスト名	本機のホスト名を設定します。	最大16文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	最大60文字

●アラートメール



<p>メール通知</p>	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 • <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。 <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Subject: [Projector] Projector Information 冷却ファンの回転が停止しています。 [情報] プロジェクター名：PJ-XXXXXXXXX ライト使用時間：0000 [H]</p> </div>	<p>—</p>
<p>ホスト名</p>	<p>本機のホスト名を設定します。</p>	<p>最大 16 文字</p>
<p>ドメイン名</p>	<p>本機のドメイン名を設定します。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>差出人アドレス</p>	<p>本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>SMTPサーバー名</p>	<p>本機が接続をするネットワークの SMTP サーバーを設定します。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>宛先アドレス 1 宛先アドレス 2 宛先アドレス 3</p>	<p>本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>送信テスト</p>	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。 • 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。 </div>	<p>—</p>

●ネットワークサービス

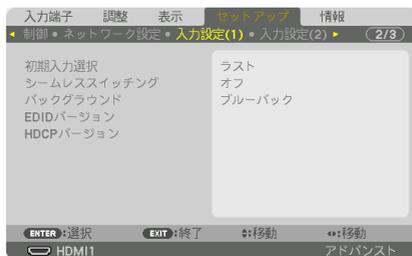


パスワードなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は [88 ページ](#) 「文字入力画面の使いかた」をご覧ください。

HTTPサーバー	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。	最大 10 文字
PJLink	<p>PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合の設定を行います。この機能を使用する場合は、LAN ケーブルを HDBaseT ポートに接続してください。</p> <p>パスワード：パスワードを設定します。 クラス・・・PJLink Class2 仕様の機能を使用する場合に「クラス 2」に設定します。 デスティネーション・・・クラスを「クラス 2」に設定した場合に、通知先となる IP アドレスを入力します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMA) が制定したネットワーク (通信) インターフェース規格です。 http://pjlink.jbma.or.jp/index.html 本機は、PJLink Class1 のすべてのコマンドに対応しています。 ● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、販売店にご連絡ください。 ● パスワードは、「リセット」を行っても解除されません。 	最大 32 文字

次ページに続く

入力設定 (1)



●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
DisplayPort 1	DisplayPort 1 入力端子の入力信号を投写します。
DisplayPort 2	DisplayPort 2 入力端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT の信号を投写します。
SDI1	SDI1 入力端子の入力信号を投写します。
SDI2	SDI2 入力端子の入力信号を投写します。
SDI3	SDI3 入力端子の入力信号を投写します。
SDI4	SDI4 入力端子の入力信号を投写します。
SLOT	本機では使用できません。

●シームレススイッチング

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持（フリーズ）することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

注意 ● 垂直走査周波数が 60/30Hz 以外の信号を入力している場合は、正しく動作しません。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

参考 ● バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

● EDID バージョン

HDMI1 入力端子と HDMI2 入力端子の対応信号モードを切り替えます。

モード 1	標準的な映像信号に対応します。
モード 2	4K の映像信号に対応します。 4K の映像に対応している機器を使用して、4K の映像を表示するときには設定します。



注意

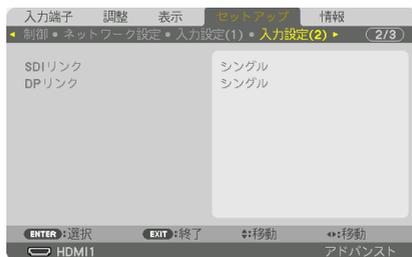
- 「モード 2」で映像や音声正常に出力されないときは、「モード 1」に設定してください。

● HDCP バージョン

HDMI1 入力端子、HDMI2 入力端子および HDBaseT ポートの HDCP バージョンを設定します。

HDCP2.2	HDCP2.2/HDCP1.4 を自動的に切り替えて動作します。
HDCP1.4	HDCP1.4 強制で動作します。

入力設定 (2)



● SDI リンク

SDI1/SDI2/SDI3/SDI4 入力端子に入力されている信号の表示方法を選択します。

4K 信号を 4 本の SDI 接続で表示する場合は、クアッドに設定してください。

シングル	SDI1 入力と SDI2 入力と SDI3 入力と SDI4 入力を、それぞれシングルリンク (1 つの入力信号を使って 1 つの画面を表示) に設定します。
クアッド	SDI1 入力と SDI2 入力と SDI3 入力と SDI4 入力をクアッドリンク (4 つの入力信号を使って 1 つの画面を表示) に設定します。伝送方式が Square Division の場合に選択します。
クアッド (インターリーブ)	SDI1 入力と SDI2 入力と SDI3 入力と SDI4 入力をクアッドリンク (4 つの入力信号を使って 1 つの画面を表示) に設定します。伝送方式が 2 Sample Interleave の場合に選択します。
デュアル	SDI1 入力と SDI2 入力デュアル表示します。



注意

- クアッド、クアッド (インターリーブ)、デュアルリンクで表示する場合は、SDI1 入力を選択してください。

● DP リンク

DisplayPort1/DisplayPort2 入力端子に入力されている信号の表示方法を選択します。

シングル	DisplayPort1 入力と DisplayPort2 入力を、それぞれシングルリンク（1つの入力信号を使って1つの画面を表示）に設定します。
デュアル	DisplayPort1 入力と DisplayPort2 入力デュアル表示します。



- デュアルリンクで表示する場合は、DisplayPort1 入力を選択してください。

電源設定



●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (145 ページ) で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン選択

本機がスタンバイ状態のとき、各端子から入力される同期信号を検出して自動的に投写する設定です。

オフ	オートパワーオン機能は動きません。
HDMI1	選択した入力端子のコンピューター信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピューター画面を投写します。 (SLOT は本機では使用できません。)
HDMI2	
DisplayPort 1	
DisplayPort 2	
HDBaseT	
SDI1	
SDI2	
SDI3	
SDI4	
SLOT	



注意

- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン選択を働かせたい場合は、入力端子の信号を遮断、またはケーブルを抜いて、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、設定した信号を入力してください。

● オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間（5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 1時間）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

● オフタイマー

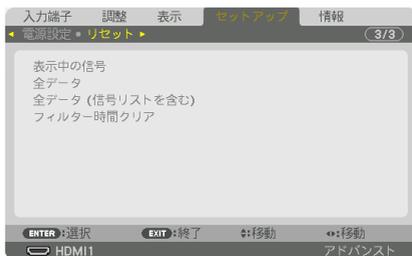
オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの緑色が長い点滅になります。

● SLOT 電源

本機では使用できません。

リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

信号リスト・幾何学補正・エッジブレンディング・映像設定・マルチスクリーン・言語・フィルターメッセージ・スクリーンタイプ・ファンモード・基準ホワイトバランス・コンバージェンス・基準レンズメモリー・管理者モード・日付と時刻設定・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・コントロールID・ネットワーク設定・バックグラウンド・EDIDバージョン・HDCPバージョン・SDIリンク・DPリンク・オフタイマー・ライト使用時間・フィルター使用時間・低速ファンモード使用時間

●全データ（信号リストを含む）

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

幾何学補正・エッジブレンディング・映像設定・マルチスクリーン・言語・フィルターメッセージ・スクリーンタイプ・ファンモード・基準ホワイトバランス・コンバージェンス・基準レンズメモリー・管理者モード・日付と時刻設定・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・コントロールID・ネットワーク設定・バックグラウンド・EDIDバージョン・HDCPバージョン・SDIリンク・DPリンク・オフタイマー・ライト使用時間・フィルター使用時間・低速ファンモード使用時間

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●フィルター時間クリア

フィルターの清掃を行ったときに「フィルター使用時間」をクリアします。

本機の工場出荷時、オンスクリーンメニューの「フィルターメッセージ」は「オフ」に設定されています。「オフ」の場合は「フィルター時間クリア」を行う必要はありません。



注意

- フィルター使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

5-7. 情報

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (1/2)

使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN(1)

ライト使用時間	00000 [H] / 00000 [H]
フィルター使用時間	00000 [H]
低速ファンモード使用時間	00000 [H] / 00000 [H]

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (1/2)

使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN(1)

入力端子	HDMI1
解像度	1024x768
水平同期周波数	48.58[kHz]
垂直同期周波数	62.13[Hz]
同期極性	H(-) V(-)
走査方式	ノンインターレース
信号名	1024x768
登録番号	1

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (1/2)

使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN(1)

信号形式	RGB
色深さ	6[bits]
ピデオレベル	フル
3Dフォーマット	フレームパッキング

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (1/2)

使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN(1)

ネットワークインターフェース	LAN
IPアドレス	---
サブネットマスク	---
ゲートウェイ	---
MACアドレス	01-02-03-04-05-06
DNS	192.168.0.1

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (2/2)

有線LAN(2) • VERSION • その他 • 状態 • HDBaseT

ネットワークインターフェース	HDBaseT
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.0.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
MACアドレス	10-20-30-40-50-60
DNS	192.168.1.1

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (2/2)

有線LAN(2) • VERSION • その他 • 状態 • HDBaseT

FIRMWARE	1.00
DATA	1.00
FIRMWARE2	1.00

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (2/2)

有線LAN(2) • VERSION • その他 • 状態 • HDBaseT

日付と時刻	01/01/2016 金 00:00
プロジェクト名	PJ-0123456789
MODEL NO.	
SERIAL NUMBER	
レンズ ID	

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (2/2)

有線LAN(2) • VERSION • その他 • 状態 • HDBaseT

吸気温度1	1.8°C / 10.2°F
吸気温度2	2.7°C / 20.2°F
吸気温度3	3.7°C / 30.2°F
吸気温度4	4.7°C / 40.2°F
大気圧	6[hPa]
AC入力電圧	5[V] / 3[V]

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報 (2/2)

有線LAN(2) • VERSION • その他 • 状態 • HDBaseT

信号品質	ノーマル
オペレーションモード	HDBaseT
リンクステータス	HDBaseT
HDMIステータス	NO HDMI

ENTER 終了 EXIT 終了 移動 移動 アドバンス

ライト使用時間、有線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(166 ページ) もあわせてご覧ください。

6. 機器と接続する

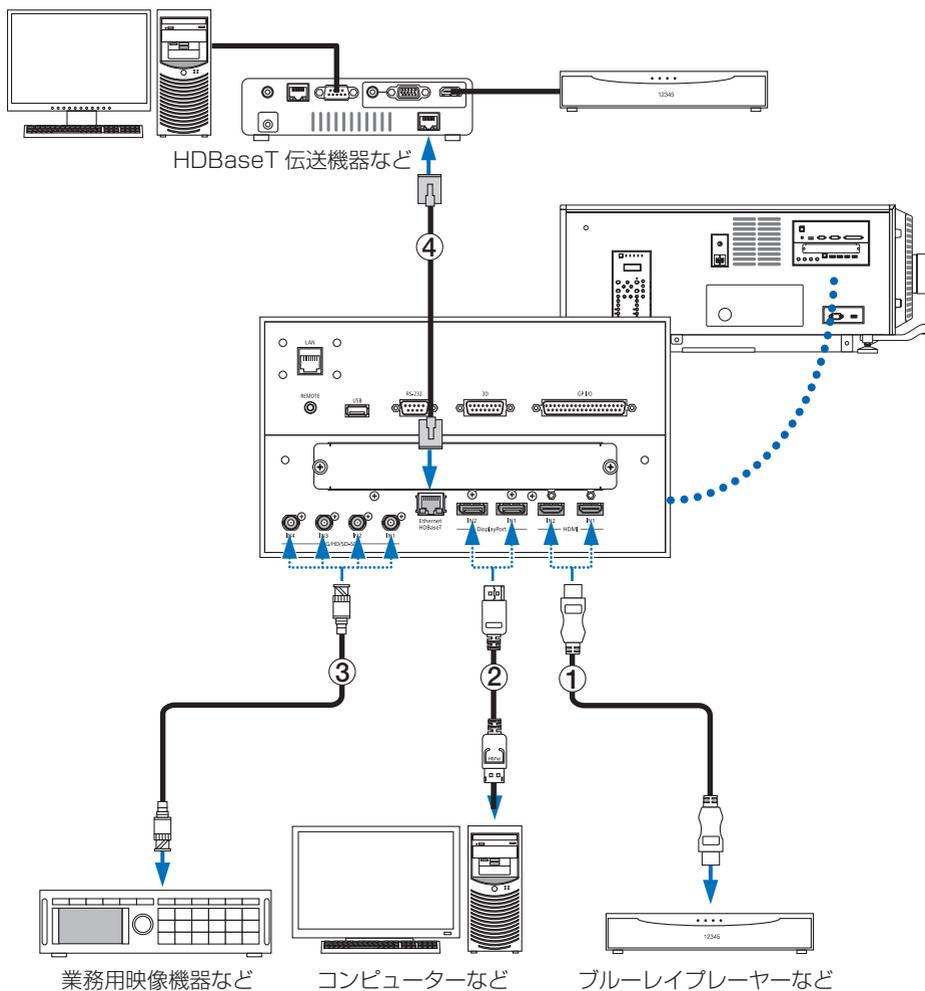
外部機器との接続例です。

接続ケーブルは添付していません。接続に合ったケーブルをご用意ください。



注意

HDMI、DisplayPort、BNC、LAN ケーブルは、シールドタイプを使用してください。
シールドなしのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



① HDMI ケーブル (市販)

- 認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGHSPEED ケーブルを使用してください。
- 本機の HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子にブルーレイプレーヤーを接続している場合に、ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→ビデオレベルで設定します。ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP (不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム) を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

② DisplayPort ケーブル (市販)

- 認証済み CERTIFIED ケーブルを使用してください。



③ BNC ケーブル (市販)

- 5C-FB 以上 (5C-FB、7C-FB など) または Belden 1694A 以上のケーブルを使用してください。また、ケーブルの長さは 100m 以下のものを使用してください。
- 信号によって使用できるケーブルの長さが変わる場合があります。

④ LAN ケーブル (市販)

- カテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。
- 本機の HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号 (HDCP 対応)、外部機器からの制御信号 (シリアル、LAN)、リモコン信号 (IR コマンド) に対応しています。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です (4K 信号の場合は最長 70m)。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

- 本機の電源を入れたあとに、接続端子に応じた入力を選択してください。

接続端子	本体操作部のボタン	リモコンのボタン	備考
HDMI 1/2 入力端子	(HDMI)	(HDMI)	押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。
DisplayPort 1/2 入力端子	(DisplayPort)	(DisplayPort)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとに DisplayPort1 と DisplayPort2 を切り替えます。 ・ デュアルリンクの場合は DisplayPort1 を選択します。
SDI 1/2/3/4 入力端子	(3G/HD/SD-SDI)	(AUX)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。 ・ クアッドリンクまたはデュアルリンクの場合は SDI1 を選択します。
HDBaseT ポート	(HDBaseT)	(NETWORK)	—

7. 本体のお手入れ



- プロジェクター内部の清掃は、販売店にご依頼ください。

7-1. キャビネットの清掃



キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

お手入れの前に必ずプロジェクター本体の電源を切り、AC電源が遮断されていること、電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。
- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、販売店にご相談ください。



- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

7-2. レンズの清掃

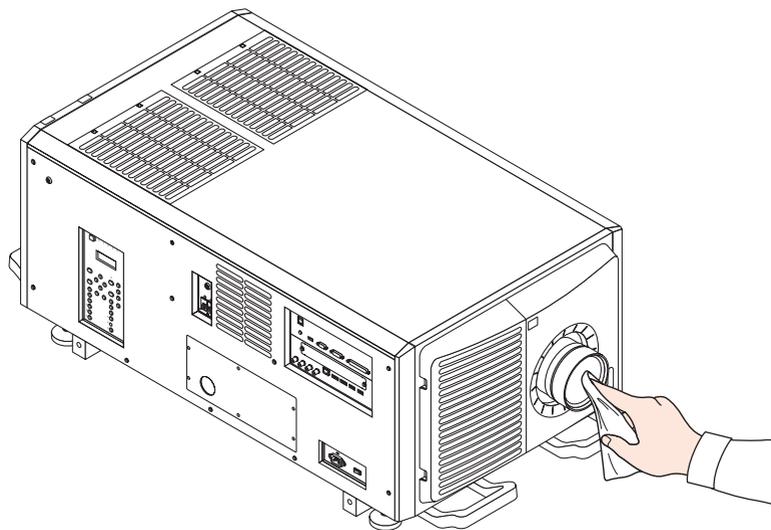
カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。

警告

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。
- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

注意

- レンズの清掃は、電源を切り冷却ファンの回転が完全に止まってからプロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチを切り、AC電源を遮断し、本体が十分に冷えたことを確かめてから行ってください。



7-3. エアフィルターの清掃

ほこりの侵入を防ぐため、本機の吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。本機の性能を保持するために、エアフィルターは定期的に清掃してください。



警告

- エアフィルターにほこりがたまると、プロジェクター本体への吸気が不十分となり、内部の温度が上昇して、火災や故障の原因となります。
- フィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



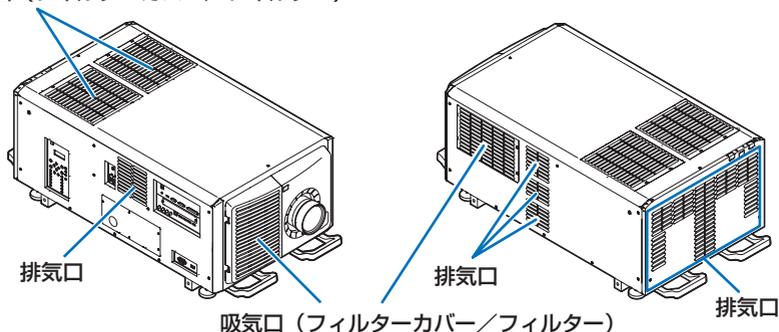
注意

- エアフィルターの清掃は、電源を切り冷却ファンの回転が完全に止まってからプロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチを切り、AC電源を遮断し、本体が十分に冷えたことを確かめてから行ってください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

本機ではフィルターカバー内に2層のメタルフィルターを使用しており、定期的な清掃を行うことで繰り返し使用することができます。

エアフィルターを清掃する際は、すべて同時に清掃を行ってください。

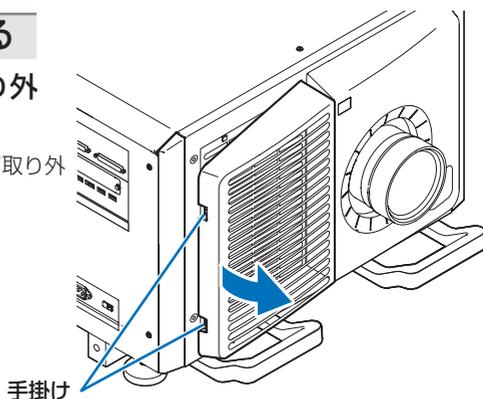
吸気口 (フィルターカバー/フィルター)



エアフィルターを清掃する

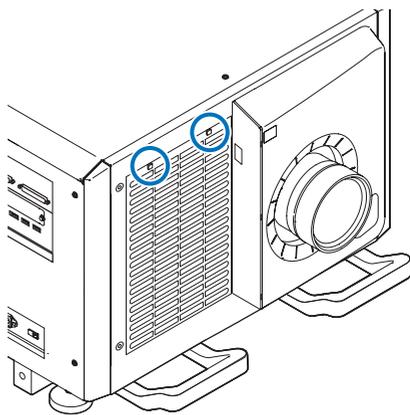
- 1 前面のフィルターカバーを取り外す。

フィルターカバーを矢印の方向に引いて取り外します。

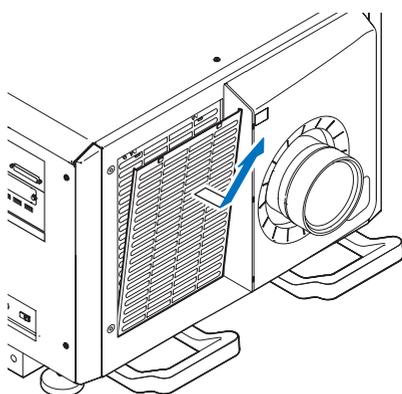


2 エアフィルターを取り外す。

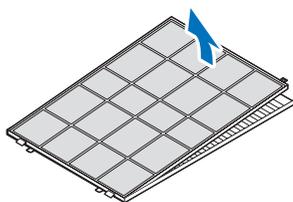
- 1 ストッパーのボタン（2箇所）を押します。



- 2 エアフィルターの上部を手前に引き、エアフィルターの上半分が外れたら、斜め上方向に引いて取り外します。

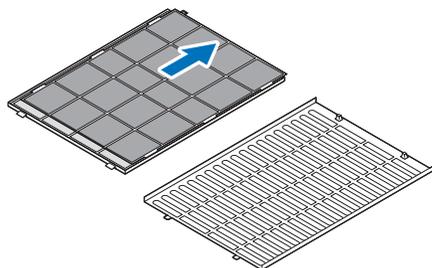


- 3 エアフィルターを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。



4 上面のエアフィルターを取り外す。

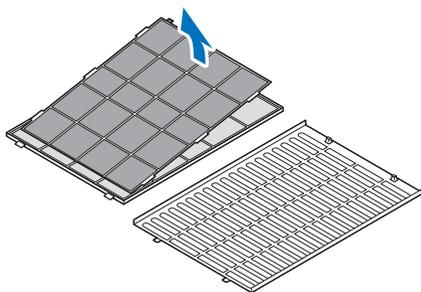
- 1 上面のエアフィルターを図の位置にスライドします。



- ② 上面のエアフィルターを矢印の方向に持ち上げ、取り外します。

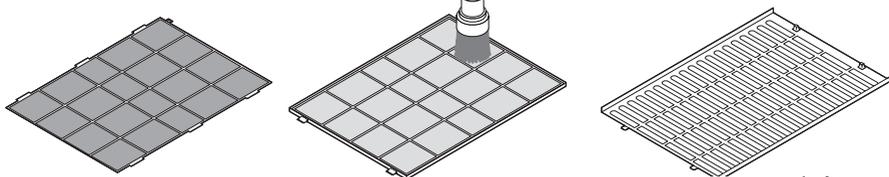
注意

- 取り外す際に強い力を与えないようにしてください。変形してフィルターカバーに取り付けできなくなる可能性があります。



5 掃除機を使用して、ほこりを吸い取る。

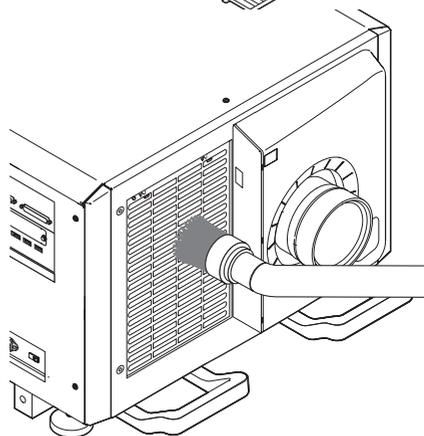
- ① すべてのエアフィルターの両面と、フィルターカバーのほこりを丁寧に取り除きます。



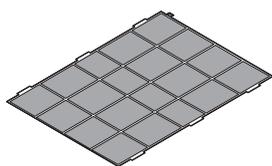
- ② プロジェクター本体の格子部も同様にほこりを取り除きます。見えない場所にたまったほこりも必ず掃除機で吸い取ります。

注意

- エアフィルターを清掃する際は、柔らかいブラシ付きのアダプターを掃除機に取り付けて使用してください。これはエアフィルターが破損することを避けるためです。
- エアフィルターは水で洗わないでください。エアフィルターの破損や目詰まりの原因となります。



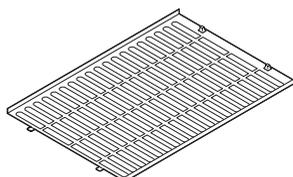
6 清掃が終わったら、取り外しの逆の手順で、エアフィルターを組み合わせ、フィルターカバーに取り付ける。



荒目フィルター



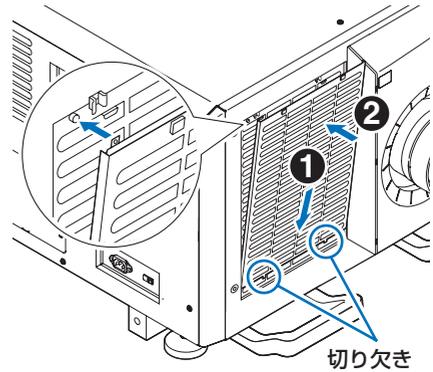
細目フィルター



フィルターカバー

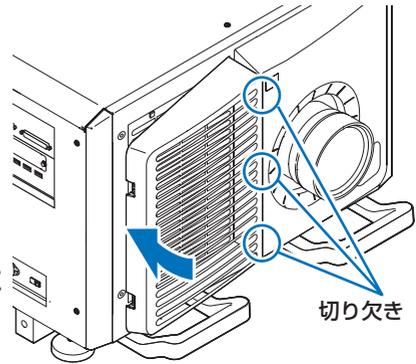
7 エアフィルターをプロジェクター本体に取り付ける。

- ① フィルターカバーのタブをプロジェクター本体の切り欠き確実にはめ込みます。
- ② エアフィルターを吸気口に合わせてはめ込みます。



8 前面のフィルターカバーを取り付ける。

フィルターカバーを矢印の方向に押し込んで取り付けます。



9 他の吸気口のエアフィルターも同様に清掃する。

手順 2 ～手順 7 と同様に清掃します。

注意

- 電源を入れる前にすべてのフィルターカバーが取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていない場合プロジェクター内部にほこりが入り、故障の原因となります。
- エアフィルターを清掃した後、エアフィルター使用時間をリセットしてください。

エアフィルター使用時間をリセットする

1 本機の電源を入れる。

2 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「リセット」→「フィルター時間クリア」を実行する。

これで、エアフィルター使用時間のリセットは完了です。

8. 付 録

投写距離とスクリーンサイズ

本機は7種類のレンズユニット（別売）が使用できます。このページの情報を参考にして、設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお使いください。またレンズユニットの取り付けおよび交換は販売店にご依頼ください。



- 記載している投写距離は、各レンズユニットの先端から投写画面までの距離を示します。

レンズユニットの種類と投写距離

● 4096×2160（アスペクト比 17：9）の場合

スクリーン サイズ	レンズユニットの型名				
	L2K-10F1	L4K-11ZM	L4K-15ZM	L4K-20ZM	L2K-30ZM
100型	2.0	2.7～3.8	3.3～4.6	4.7～7.7	5.9～8.6
120型	2.4	3.3～4.6	4.0～5.6	5.5～9.2	7.1～10.4
150型	3.1	4.1～5.7	5.1～7.0	6.9～11.4	9.0～13.0
200型	4.1	5.5～7.7	6.8～9.4	9.1～15.2	12.1～17.5
250型	5.2	6.9～9.6	8.5～11.7	11.3～18.9	15.1～21.9
300型	6.2	8.3～11.6	10.2～14.1	13.5～22.6	18.2～26.3
350型	7.3	9.7～12.5	12.0～16.5	15.7～26.4	21.3～30.8
400型	8.3	11.1～15.5	13.7～18.9	17.9～30.1	24.3～35.2
500型	10.4	13.9～19.4	17.1～23.6	22.3～37.5	30.5～44.1
600型	12.5	16.7～23.3	20.6～28.4	26.7～45.0	36.6～53.0
800型	16.7	22.4～31.1	27.5～37.9	35.5～59.9	48.9～70.7
1000型	20.9	28.0～38.9	34.4～47.4	44.3～74.8	61.2～88.5

スクリーン サイズ	レンズユニットの型名	
	L2K-43ZM1	L2K-55ZM1
100型	8.6～12.1	11.0～17.2
120型	10.3～14.6	13.2～20.8
150型	13.0～18.3	16.6～26.1
200型	17.4～24.6	22.2～34.9
250型	21.8～30.8	27.9～43.7
300型	26.2～37.0	33.5～52.6
350型	30.7～43.3	39.2～61.4
400型	35.1～49.5	44.8～70.2
500型	43.9～62.0	56.1～87.9
600型	52.8～74.4	67.4～105.5
800型	70.5～99.4	90.0～140.9
1000型	88.1～124.3	112.6～176.2



● 画面サイズからのレンズユニット投写距離計算法

- L2K-10F1の投写距離 (m) = $H \times 0.93$: 2.0m (最小) ~ 20.9m (最大)
- L4K-11ZMの投写距離 (m) = $H \times 1.24 \sim H \times 1.73$: 2.7m (最小) ~ 38.9m (最大)
- L4K-15ZMの投写距離 (m) = $H \times 1.52 \sim H \times 2.10$: 3.3m (最小) ~ 47.4m (最大)
- L4K-20ZMの投写距離 (m) = $H \times 1.98 \sim H \times 3.34$: 4.7m (最小) ~ 74.8m (最大)
- L2K-30ZMの投写距離 (m) = $H \times 2.71 \sim H \times 3.92$: 5.9m (最小) ~ 88.5m (最大)
- L2K-43ZM1の投写距離 (m) = $H \times 3.91 \sim H \times 5.52$: 8.6m (最小) ~ 124.3m (最大)
- L2K-55ZM1の投写距離 (m) = $H \times 4.99 \sim H \times 7.82$: 11.0m (最小) ~ 176.2m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。

(例) L4K-15ZM を使用して 300 型スクリーンに投写する場合の投写距離：
 「スクリーンサイズと寸法表」の 4096×2160 (アスペクト比 17:9) の場合 (163 ページ) より、H (スクリーン幅) = 674.0cm (=6.74m) となります。
 投写距離は、 $6.74m \times 1.52 \sim 6.74m \times 2.10 = 10.24m \sim 14.15m$ となります (ズームレンズのため)。

● 3840×2160 (アスペクト比 16 : 9) の場合

スクリーン サイズ	レンズユニットの型名				
	L2K-10F1	L4K-11ZM	L4K-15ZM	L4K-20ZM	L2K-30ZM
100 型	2.1	2.8 ~ 4.0	3.5 ~ 4.9	4.9 ~ 8.1	6.2 ~ 9.0
120 型	2.6	3.4 ~ 4.8	4.2 ~ 5.9	5.8 ~ 9.7	7.5 ~ 10.9
150 型	3.2	4.3 ~ 6.1	5.3 ~ 7.4	7.2 ~ 12.0	9.4 ~ 13.7
200 型	4.3	5.8 ~ 8.1	7.1 ~ 9.9	9.5 ~ 16.0	12.7 ~ 18.3
250 型	5.4	7.3 ~ 10.2	8.9 ~ 12.4	11.8 ~ 19.9	15.9 ~ 23.0
300 型	6.5	8.8 ~ 12.2	10.7 ~ 14.9	14.1 ~ 23.8	19.1 ~ 27.7
350 型	7.6	10.2 ~ 14.2	12.5 ~ 17.4	16.4 ~ 27.7	22.4 ~ 32.3
400 型	8.7	11.7 ~ 16.3	14.3 ~ 19.9	18.7 ~ 31.7	25.6 ~ 37.0
500 型	11.0	14.7 ~ 20.4	17.9 ~ 24.8	23.4 ~ 39.5	32.0 ~ 46.3
600 型	13.2	17.6 ~ 24.5	21.6 ~ 29.8	28.0 ~ 47.3	38.5 ~ 55.7
800 型	17.6	23.5 ~ 32.7	28.8 ~ 39.8	37.2 ~ 63.0	51.4 ~ 74.3
1000 型	22.0	29.5 ~ 40.9	36.0 ~ 49.8	46.5 ~ 78.7	64.3 ~ 93.0

スクリーン サイズ	レンズユニットの型名	
	L2K-43ZM1	L2K-55ZM1
100 型	9.0 ~ 12.7	11.5 ~ 18.1
120 型	10.9 ~ 15.3	13.9 ~ 21.8
150 型	13.6 ~ 19.3	17.5 ~ 27.4
200 型	18.3 ~ 25.8	23.4 ~ 36.7
250 型	22.9 ~ 32.4	29.3 ~ 46.0
300 型	27.6 ~ 38.9	35.2 ~ 55.2
350 型	32.2 ~ 45.5	41.2 ~ 64.5
400 型	36.9 ~ 52.0	47.1 ~ 73.8
500 型	46.2 ~ 65.1	59.0 ~ 92.4
600 型	55.5 ~ 78.2	70.8 ~ 110.9
800 型	74.1 ~ 104.4	94.6 ~ 148.1
1000 型	92.6 ~ 130.6	118.3 ~ 185.2

参考

● 画面サイズからのレンズユニット投写距離計算法

- L2K-10F1の投写距離 (m) = $H \times 0.99$: 2.1m (最小) ~ 22.0m (最大)
- L4K-11ZMの投写距離 (m) = $H \times 1.33 \sim H \times 1.84$: 2.8m (最小) ~ 40.9m (最大)
- L4K-15ZMの投写距離 (m) = $H \times 1.62 \sim H \times 2.24$: 3.5m (最小) ~ 49.8m (最大)
- L4K-20ZMの投写距離 (m) = $H \times 2.11 \sim H \times 3.57$: 4.9m (最小) ~ 78.7m (最大)
- L2K-30ZMの投写距離 (m) = $H \times 2.89 \sim H \times 4.19$: 6.2m (最小) ~ 93.0m (最大)
- L2K-43ZM1の投写距離 (m) = $H \times 4.17 \sim H \times 5.88$: 9.0m (最小) ~ 130.6m (最大)
- L2K-55ZM1の投写距離 (m) = $H \times 5.33 \sim H \times 8.34$: 11.5m (最小) ~ 185.2m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。

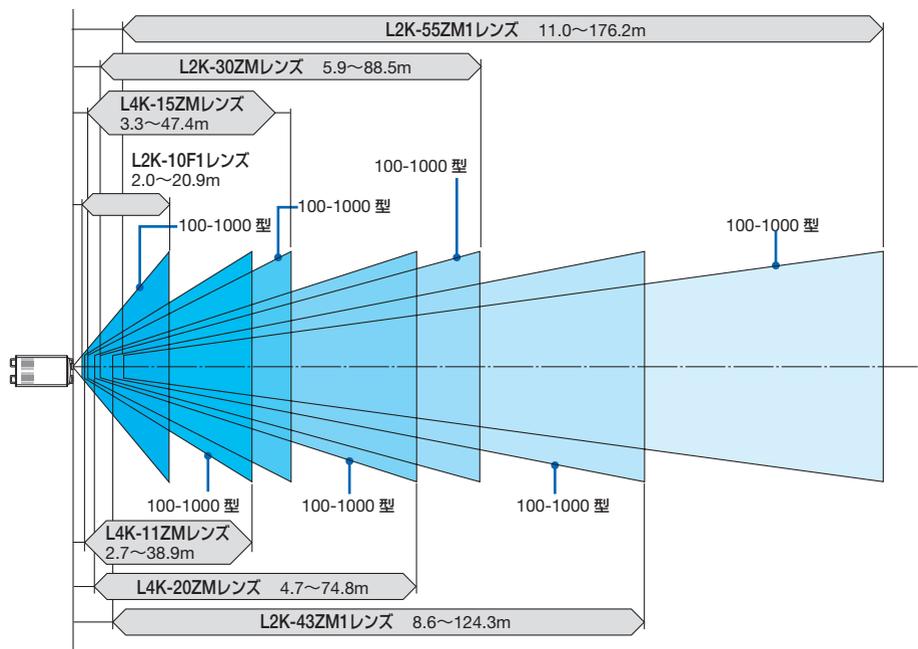
(例) L4K-15ZM を使用して 300 型スクリーンに投写する場合の投写距離 :

「スクリーンサイズと寸法表」の 3840×2160 (アスペクト比 16:9) の場合 ([164 ページ](#)) より、H (スクリーン幅) = 664.1cm (=6.64m) となります。

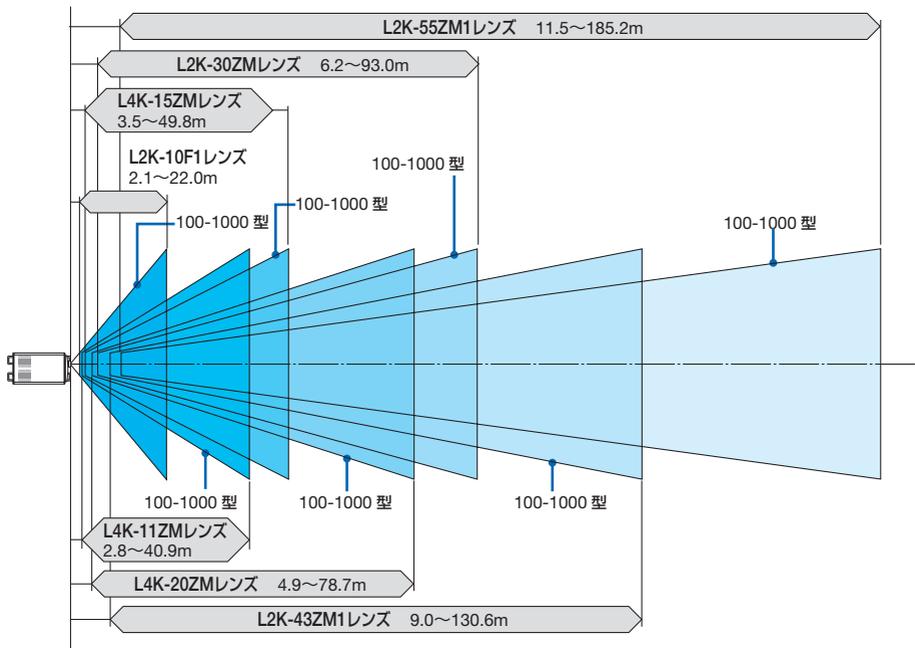
投写距離は、 $6.64m \times 1.62 \sim 6.64m \times 2.24 = 10.76m \sim 14.87m$ となります (ズームレンズのため)。

レンズユニットの投写範囲

● 4096×2160 (アスペクト比 17 : 9) の場合

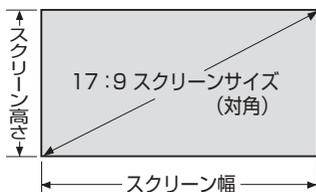


● 3840×2160 (アスペクト比 16 : 9) の場合



スクリーンサイズと寸法表

● 4096×2160 (アスペクト比 17 : 9) の場合



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
100	224.7	118.5
120	269.6	142.2
150	337.0	177.7
200	449.3	237.0
250	561.7	296.2
300	674.0	355.4
350	786.4	414.7
400	898.7	473.9
450	1011.0	533.2
500	1123.4	592.4
550	1235.7	651.6
600	1348.0	710.9
650	1460.4	770.1
700	1572.7	829.4
750	1685.1	888.6
800	1797.4	947.8
850	1909.7	1007.1
900	2022.1	1066.3
950	2134.4	1125.6
1000	2246.7	1184.8

● 3840×2160（アスペクト比 16：9）の場合



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
100	221.4	124.5
120	265.7	149.4
150	332.1	186.8
200	442.8	249.1
250	553.5	311.3
300	664.1	373.6
350	774.8	435.8
400	885.5	498.1
450	996.2	560.4
500	1106.9	622.6
550	1217.6	684.9
600	1328.3	747.2
650	1439.0	809.4
700	1549.7	871.7
750	1660.4	933.9
800	1771.0	996.2
850	1881.7	1058.5
900	1992.4	1120.7
950	2103.1	1183.0
1000	2213.8	1245.3

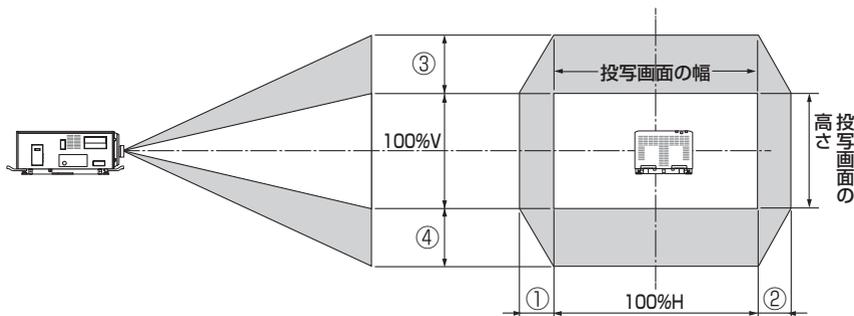
レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能 (🔗 48 ページ) があります。次の範囲内のレンズシフトができます。



- ポートレート投写を行う場合は、レンズシフト機能は使用しないでください。レンズセンターで使用してください。

記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。



※天吊り設置の場合もレンズシフト範囲は同じです。

● 4096×2160（アスペクト比 17：9）の場合

レンズユニット	図の番号	
	①②	③④
L2K-10F1	8%H	27%V
L4K-11ZM	17%H	50%V
L4K-15ZM	17%H	50%V
L4K-20ZM	17%H	50%V
L2K-30ZM	8%H	27%V
L2K-43ZM1	8%H	27%V
L2K-55ZM1	10%H	31%V

● 3840×2160（アスペクト比 16：9）の場合

レンズユニット	図の番号	
	①②	③④
L2K-10F1	12%H	34%V
L4K-11ZM	22%H	55%V
L4K-15ZM	22%H	55%V
L4K-20ZM	22%H	55%V
L2K-30ZM	12%H	34%V
L2K-43ZM1	12%H	34%V
L2K-55ZM1	14%H	37%V

（計算例）レンズユニット L4K-15ZM を使って 4096×2160（アスペクト比 17：9）、300 型で投写する場合

「スクリーンサイズと寸法表」(163 ページ) より H=674.0cm、V=355.4cm になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 $0.5 \times 355.4\text{cm} \doteq 178\text{cm}$ 、下方向も同様に約 178cm 投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

水平方向の調整範囲：左方向 $0.17 \times 674.0\text{cm} \doteq 115\text{cm}$ 、右方向も同様に約 115cm 投写画面を移動することができます。

※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。

対応解像度一覧

HDMI/HDBaseT

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
FWXGA	1360 × 768	16 : 9	60
	1366 × 768	16 : 9	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{※1}	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080 ^{※1}	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440 ^{※1}	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600 ^{※1}	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160	16 : 9	24/25/30/50 ^{※1} /60 ^{※1}
	4096 × 2160 ^{※2}	17 : 9	24/25/30/50 ^{※1} /60 ^{※1}
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	48/50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	1440 × 576	4:3 / 16:9	50

DisplayPort

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
FWXGA	1360 × 768	16 : 9	60
	1366 × 768	16 : 9	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160	16 : 9	24/25/30/50/60
	4096 × 2160 ^{*2}	17 : 9	24/25/30/50/60
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

SDI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HD-SDI(1035i)	1920 × 1035	16 : 9	60
HD-SDI(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HD-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24pSF
HD-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30
HD-SDI(720p)	1280 × 720	16 : 9	24/25/30/50/60
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24pSF
3G-SDI(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
Quad SDI	3840 × 2160	16 : 9	24/25/30/50/60
Quad SDI	4096 × 2160 ^{*2}	17 : 9	24/25/30/50/60

HDBaseT / DisplayPort 3D

信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920 × 1080p		16 : 9	23.98/24	Frame Packing
				Side By Side (Half)
				Top and Bottom
			25	Frame Packing
				Side By Side (Half)
				Top and Bottom
			29.97/30	Frame Packing
				Side By Side (Half)
				Top and Bottom
1280 × 720p		16 : 9	23.98/24	Frame Packing
				Side By Side (Half)
				Top and Bottom
			25	Frame Packing
				Side By Side (Half)
				Top and Bottom
			29.97/30	Frame Packing
				Side By Side (Half)
				Top and Bottom

※1: HDBaseTは対応していません。

※2: リアル表示

- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。

仕様

型名	LX-4K3500Z	LX-4K2600Z
投写方式	3 チップDLP®方式	
DMDパネル	サイズ	1.38型、アスペクト比17:9
	解像度 ^(*)	8,847,360画素 (4096ドット×2160ライン)
光源	Laser Diode	
明るさ ⁽²⁾	35000 lm ^(*) / 40000 lm (センサー)	26000 lm ^(*) / 30000 lm (センサー)
コントラスト比 ⁽³⁾ (全白/全黒)	30000:1 (ダイナミックコントラスト「オン」のとき)	
レンズ調整機能	電動レンズシフト(縦/横)、電動ズーム、電動フォーカス	
外部コントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ RS-232C (D-sub 9pin) ×1 ・ GP I/O ポート(D-sub 37pin) ×1 ・ 3D CTL (D-sub 15pin) ×1 ・ サービス専用USB (Type A) ×1 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ REMOTE端子(ステレオミニジャック) ×1 ・ Ethernet ポート(RJ-45) ×1 ・ リモートインターロック端子×1 	
電源	C1接続の場合 ⁽⁵⁾ : 単相 AC 200V-240V 50/60Hz (プロジェクター電源+ 光源電源) C2接続の場合 ⁽⁵⁾ : 単相 AC 200V-240V 50/60Hz (プロジェクター電源) 単相 AC 200V-240V 50/60Hz (光源電源)	
消費電力 ⁽⁴⁾	4705W	3665W
定格入力電流 ⁽⁴⁾	C1接続の場合 ⁽⁵⁾ プロジェクター電源+ 光源電源 : 30.0A C2接続の場合 ⁽⁵⁾ プロジェクター電源 : 4.9A 光源電源 : 25.1A	
冷却方式	空冷+水冷システム	
騒音レベル	55dB 以下	
設置方式	デスク/フロント、デスク/リア、天吊り/フロント、天吊り/リア	
質量	169kg (レンズとラージベニューボード含まず)	
外形寸法	697mm (幅) × 1180mm (奥行) × 455mm (高さ) (突起部含まず。脚部含む。)	
使用環境 ⁽⁴⁾	動作温度 : 5 ~ 40℃	
	動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし結露しないこと)	
	保存温度 : -10 ~ 50℃	
	保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし結露しないこと)	
	動作高度 : 0 ~ 2600m	

型名		LX-BD4K01	
色再現性		10ビットカラープロセッシング (約 10億 7000 万色)	
走査周波数	水平	15KHz、24 ~ 153KHz VESA 準拠	
	垂直	24, 25, 30, 48Hz、50 ~ 85Hz、100, 120Hz VESA 準拠	
最大表示解像度 (横×縦)		デジタル 4096×2160	
信号 入力 端子	HDMI	映像入力	HDMI®コネクタタイプA×2 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12ビット対応 Colorimetry : RGB, YCbCr444, YCbCr422対応 HDCP対応 ^(*)6) 、4K 対応
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort×2 データレート : 5.4Gbps/2.7Gbps/1.62Gbps レーン数 : 1レーン/2レーン/4レーン 色深度 : 8ビット、10ビット Colorimetry : RGB, YCbCr444, YCbCr422対応 HDCP対応 ^(*)6) 、4K 対応
	Ethernet/ HDBaseT ポート	映像入力	RJ-45×1、100BASE-TX対応 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12ビット対応 Colorimetry : RGB, YCbCr444, YCbCr422対応 HDCP対応 ^(*)6) 、4K対応
	3G/HD/ SD-SDI	映像入力	BNC×4 入力信号 : SMPTE292M、SMPTE424M Colorimetry : RGB, YCbCr444, YCbCr422対応
質量		1.1kg	
外形寸法		320mm (幅) × 220mm (奥行) × 81.5mm (高さ)	

(*)1 : 有効画素は99.99%です。

(*)2 : 別売のレンズユニット (L4K-20ZM) を装着し、プリセットが高輝度モード、ライト調整が100%のときの明るさです。プリセットで他のモードを選択すると明るさが低下します。

(*)3 : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(*)4 : ラージベニューボードLX-BD4K01を取り付けた状態の数値です。

(*)5 : C1 接続は、プロジェクター電源と光源電源へAC 電源を1本の電源コードで供給する場合

C2 接続は、プロジェクター電源と光源電源へ別々の電源コードでAC 電源を供給する場合

(*)6 : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは"High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI、HDBaseTを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機のDisplayPort1/2 入力端子、HDMI 1/2入力端子、HDBaseTポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していないとしても、DisplayPort1/2入力端子、HDMI 1/2入力端子、HDBaseTポートの映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット

HDMI : HDCP 1.4/2.2 に対応

DisplayPort : HDCP 1.4 に対応

HDBaseT : HDCP 1.4/2.2 に対応

※ レーザー製品に関する取得規格については、「本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください」をご覧ください。

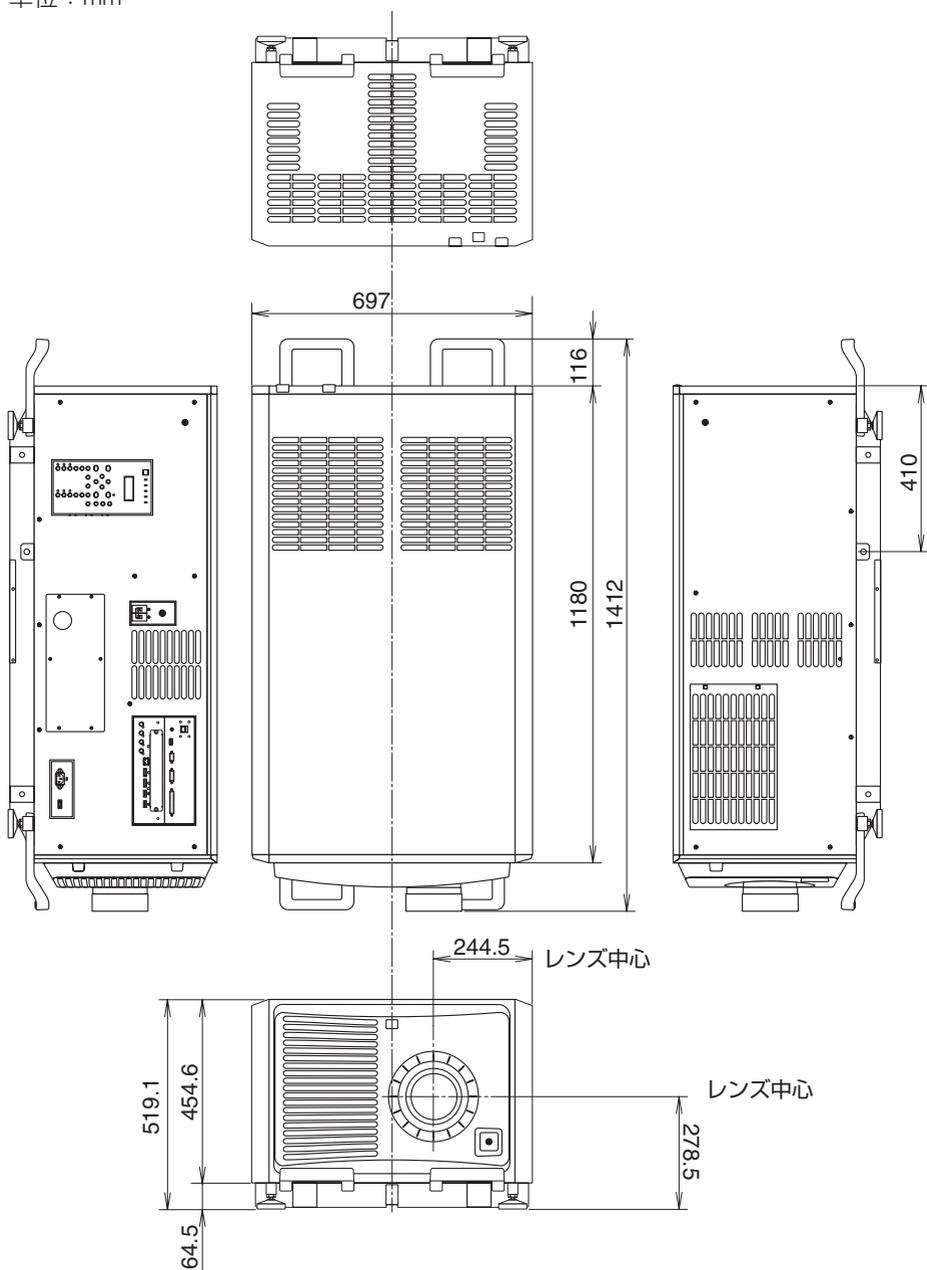
※ この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●投写レンズ仕様（別売）

L2K-10F1	電動レンズシフト、電動フォーカス (投写比 0.93:1、F 2.5、f=28.95mm)
L4K-11ZM	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス、レンズメモリー対応 (投写比 1.24 ~ 1.73:1、F 2.5/2.5、f=35.2 ~ 53.7mm)
L4K-15ZM	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス、レンズメモリー対応 (投写比 1.52 ~ 2.10:1、F 2.5/2.5、f=45.3 ~ 65.6mm)
L4K-20ZM	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス、レンズメモリー対応 (投写比 1.98 ~ 3.34:1、F 2.5/2.5、f=61.4 ~ 105.2mm)
L2K-30ZM	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス、レンズメモリー対応 (投写比 2.71 ~ 3.92:1、F 2.5/2.5、f=85.0 ~ 121.63mm)
L2K-43ZM1	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス、レンズメモリー対応 (投写比 3.91 ~ 5.52:1、F 2.5/2.5、f=122.76 ~ 172.33mm)
L2K-55ZM1	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス、レンズメモリー対応 (投写比 5.00 ~ 7.80:1、F 2.5/2.5、f=156.54 ~ 243.12mm)

外觀図

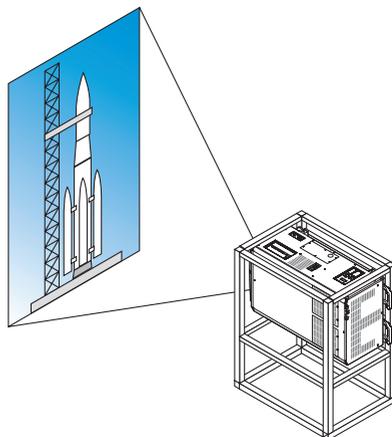
単位：mm



ポートレート（縦向き）投写をする

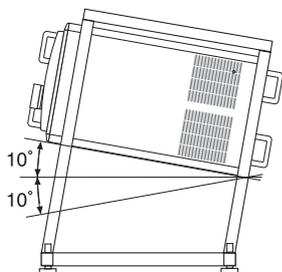
本機を縦向きに設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。

- 接続端子部と本体操作部／表示部がある面を、必ず上側に向けて設置してください。
- オンスクリーン表示（メニュー、入力端子、メッセージ）の向きは、オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定(2) →メニュー角度で設定できます。

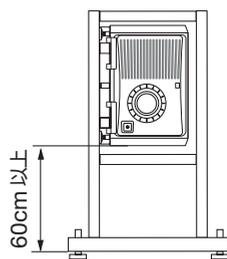


設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。また、吸気口が塞がれて内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。
- 縦向き設置にすると吸気口が上下方向に変わります。下方向の吸気を確保するため本体を支える架台を必ず製作してください。架台の制作はプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。
- 縦向き設置状態で本機を前後方向に傾けて使用する場合は、水平方向（ $\pm 10^\circ$ ）の範囲で使用してください。範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。

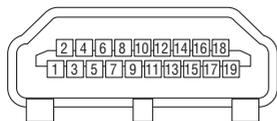


- 吸気確保のため設置面からは60cm以上あけてください。
(注)右の図において、プロジェクター本体の後方、上方および両側面は十分な空間があるものとします。



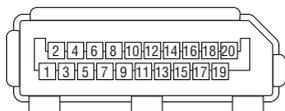
主な端子のピン配列と信号名

● HDMI IN 1/2 端子 (タイプ A)



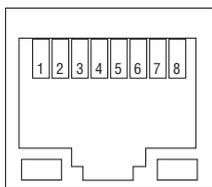
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック -
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック +		

● DisplayPort IN 1/2 端子 (DisplayPort)



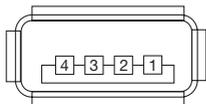
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	メインリンク レーン 3 -	11	接地 0
2	接地 3	12	メインリンク レーン 0 +
3	メインリンク レーン 3 +	13	コンフィグ 1
4	メインリンク レーン 2 -	14	コンフィグ 2
5	接地 2	15	補助チャネル +
6	メインリンク レーン 2 +	16	接地 4
7	メインリンク レーン 1 -	17	補助チャネル -
8	接地 1	18	ホットプラグ検知
9	メインリンク レーン 1 +	19	リターン
10	メインリンク レーン 0 -	20	+3.3V 電源

● HDBaseT ポート (RJ-45)



ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

● USB ポート (USB タイプ A)



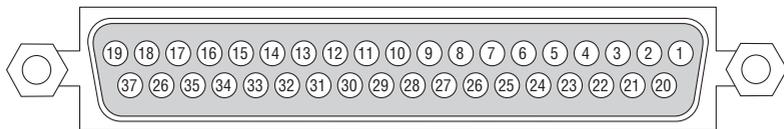
ピン番号	信号
1	V _{BUS}
2	D -
3	D +
4	接地

● RS-232C 端子 (コントロール) (D-Sub 9 ピン)

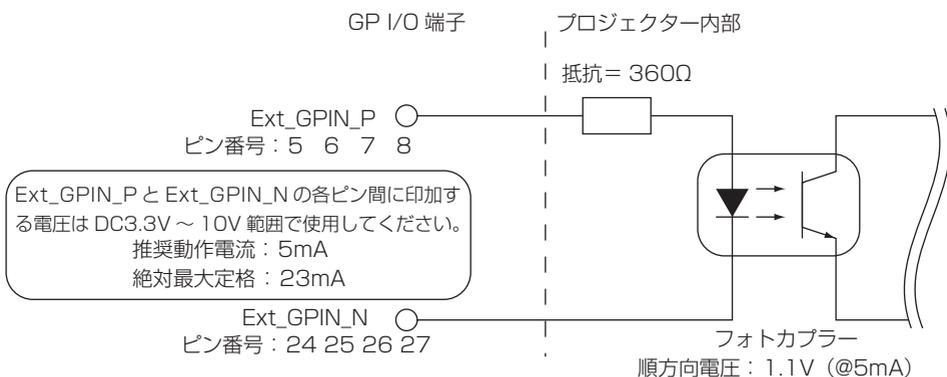


ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 送信データ
3	TxD 受信データ
4	6 ピンと接続
5	接地
6	4 ピンと接続
7	RTS 未使用
8	CTS 未使用
9	未使用

● GP I/O 端子 (外部コントロール) (D-sub 37ピン)



ピン番号	信号名	入出力	ピン番号	信号名	入出力
1	RESERVED	IN	20	RESERVED	IN
2	RESERVED	IN	21	RESERVED	IN
3	RESERVED	IN	22	RESERVED	IN
4	RESERVED	IN	23	RESERVED	IN
5	EXT_GPIN1 + (Control)	IN	24	EXT_GPIN1 - (Control)	IN
6	EXT_GPIN2 + (Control)	IN	25	EXT_GPIN2 - (Control)	IN
7	EXT_GPIN3 + (Control)	IN	26	EXT_GPIN3 - (Control)	IN
8	EXT_GPIN4 + (Control)	IN	27	EXT_GPIN4 - (Control)	IN
9	GPOUT1 + (External 3D L/R Output Reference +)	OUT	28	GPOUT1 - (External 3D L/R Output Reference -)	OUT
10	RESERVED	OUT	29	RESERVED	OUT
11	RESERVED	OUT	30	RESERVED	OUT
12	RESERVED	OUT	31	RESERVED	OUT
13	RESERVED	OUT	32	RESERVED	OUT
14	RESERVED	OUT	33	RESERVED	OUT
15	RESERVED	OUT	34	RESERVED	OUT
16	RESERVED	OUT	35	RESERVED	OUT
17	NC (未接続)	-	36	NC (未接続)	-
18	GND	PWR	37	GND	PWR
19	GND	PWR			



● GP I/O コントロールを使用する

ON パルスを入力することにより、プロジェクターの制御ができます。

ON パルスを有効にするには、300ms 以上のパルス幅が必要です。また、ON パルスを入力する前に 300ms 以上の OFF を保持する必要があります。[\(このページ\)](#)

GP I/O 端子を使ったプロジェクター制御の機能一覧を次に示します。

フォトカプラー ON/OFF				機 能
ピン番号				入力端子の組み合わせによって、以下の機能になります。
8～27	7～26	6～25	5～24	
OFF	OFF	OFF	ON	電源オン
OFF	OFF	ON	OFF	電源オフ
OFF	OFF	ON	ON	シャッター閉
OFF	ON	OFF	OFF	シャッター開
OFF	ON	OFF	ON	HDMI 1 を選択
OFF	ON	ON	OFF	DisplayPort 1 を選択
OFF	ON	ON	ON	SDI1 を選択
ON	OFF	OFF	OFF	SDI2 を選択
ON	OFF	OFF	ON	SDI3 を選択
ON	OFF	ON	OFF	SDI4 を選択
ON	OFF	ON	ON	HDBaseT を選択
ON	ON	OFF	ON	HDMI 2 を選択
ON	ON	ON	OFF	DisplayPort 2 を選択
ON	ON	ON	ON	RESERVED

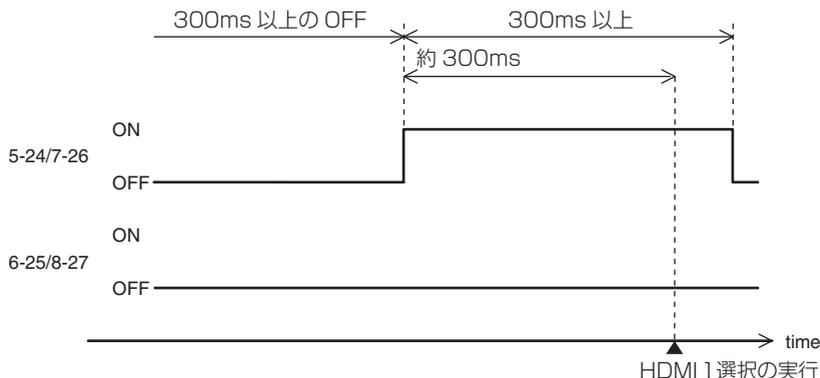
シャッターを閉にする場合：8～27 と 7～26 を OFF にした状態で、6～25 と 5～24 に ON を入力する。

注意

- プロジェクターが別の処理を実行している場合、GP I/O 端子から入力された操作コマンドはキャンセルされます。
- 操作対象以外のピンは OFF に設定する必要があります。
- 操作コマンドが実行されるタイミングは、ON パルスが連続で約 300 ms 入力されたタイミングになります。

● GP I/O コントロールのタイミングチャート

HDMI 1 選択の例



● 3D 端子 (3D) (D-sub 15ピン)

プロジェクターに 3D 映像システムを接続するときに使用します。



ピン番号	信号名	入出力	説明
1	+12V	PWR	3D 映像システムに電源 (+ 12V) を供給
2	GNDC	GND	グラウンド
3	GNDC	GND	グラウンド
4	RS232_RX	IN	3D 映像システムからの受信データ (1200 Baud, 8 bits, No Parity)
5	RS232_TX	OUT	3D 映像システムへの送信データ (1200 Baud, 8 bits, No Parity)
6	CONN_3D_MODE +	OUT	3D モード状態 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのコレクターに接続)
7	CONN_SYNC +	OUT	3D L/R 切り替えタイミング信号 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのコレクターに接続)
8	3D_INPUT_REFERENCE +	IN	3D L/R タイミング信号 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのアノードに接続)
9	+12V	PWR	3D 映像システムに電源 (+ 12V) を供給
10	3D_INPUT_REFERENCE -	IN	3D L/R タイミング信号 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのカソードに接続)
11	3D_DISPLAY_REFERENCE +	IN	3D L/R 表示タイミング信号 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのアノードに接続)
12	3D_DISPLAY_REFERENCE -	IN	3D L/R 表示タイミング信号 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのカソードに接続)
13	CONN_3D_MODE -	OUT	3D モード状態 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのエミッターに接続)
14	CONN_SYNC -	OUT	3D L/R 切り替えタイミング信号 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのエミッターに接続)
15	N/C	-	未接続

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度設定や操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは販売店にお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	本体へ AC 電源が供給されていますか。	37
	プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチは ON になっていますか。	42
	本体キーロック中ではありませんか。本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされていて利きません。	55
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	—
	管理者用キーを取り付けていますか。管理者用キーを取り付けていない状態では起動しません。	41
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマー、オートパワーオフ、またはプログラムタイマーを「オン (時間を選択)」にしていますか。	148 132
	映像が出ない	
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。	44
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	152
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	89
	オンスクリーンメニューのパワーオンシャッターが「閉」に設定されていませんか。	129
	(SHUTTER) (シャッター)、(☒) (LIGHT) または (AV-MUTE) (AV ミュート) ボタンが押されていませんか。	54 55
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、181 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子および DisplayPort 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—

映像が出ない	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS232C が対応できない場合があります。	—
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	149
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	64
映像が歪む	正しく設置されていますか。	46
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	50
	投写画面とプロジェクターが正しい角度で設置されていますか。	—
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	160
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	164
	レンズなどが結露していませんか。気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	34
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	33
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	34
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	34
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	136
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	183
エラーコードが表示された	販売店にお問い合わせください。	28

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(151 ページ)

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]**キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

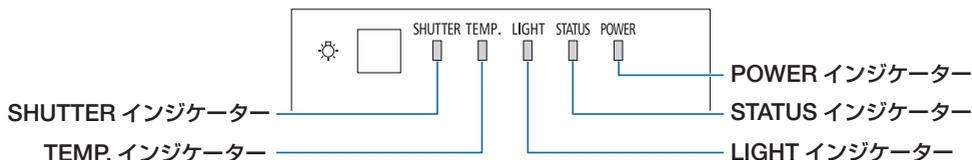
● **Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合**
Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● **MacBook と本機を同時に表示させる場合**
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● **Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合**
Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の6つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



● POWER インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください
消灯	主電源が切れている	—
点滅	緑色 (短い点滅)	電源オン準備中または本体冷却中
	緑色 (2回周期)	ファームウェアアップデート待機中
	緑色 (長い点滅)	オフタイマー (有効状態) プログラムタイマー (オフ時刻有効状態)
	オレンジ色 (長い点滅)	プログラムタイマー (オン時刻有効状態)
点灯	緑色	電源オン状態
	オレンジ色	スタンバイ状態

● STATUS インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください
消灯	異常なし	—
点滅	緑色 (短い点滅)	レンズシャッターが「閉」の状態
	緑色 (長い点滅)	電源オン状態 (光源消灯)
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき
	プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。 (☞ 55, 135 ページ)
	本体冷却中	コントロール ID を確認してください。 (☞ 136 ページ)
	本体冷却中	しばらくお待ちください。
赤色	エラー発生中	しばらくお待ちください。 その際に、液晶表示パネルの表示内容をお知らせください。

点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—
	赤色	修理が必要な異常発生中	販売店へ修理を依頼してください。 その際に、液晶表示パネルの表示内容をお知らせください。

● LIGHT インジケーター

インジケーター表示	本機の状態	行ってください
消灯	光源消灯	—
点灯 緑色	光源点灯中	—

● TEMP. インジケーター

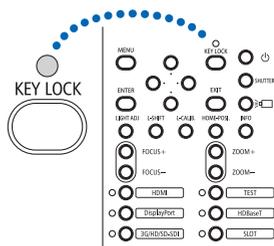
インジケーター表示	本機の状態	行ってください
消灯	異常なし	—
点滅 赤色	温度異常	室温が、本機の動作温度 (5 ~ 40℃) を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
点灯 赤色	高温	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。

● SHUTTER インジケーター

インジケーター表示	本機の状態
消灯	レンズシャッターが「開」の状態
点滅 緑色	レンズキャリブレーション中
	レンズキャリブレーション実行要求 (画面にレンズキャリブレーション実行要求のメッセージを表示)
点灯 緑色	レンズシャッターが「閉」の状態
	オンスクリーンミュート中

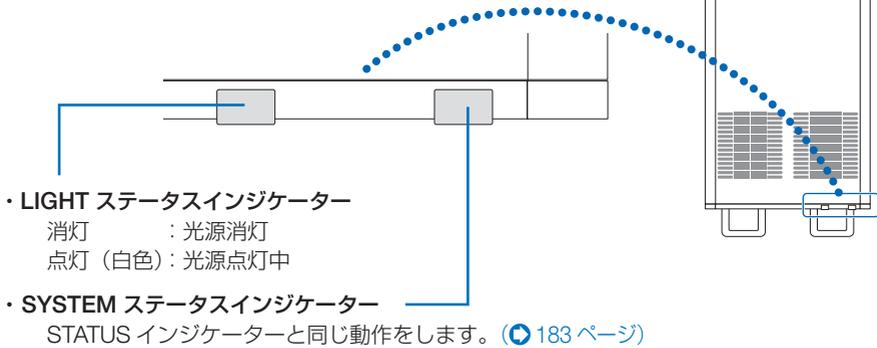
● KEY LOCK インジケーター

インジケーター表示	本機の状態
消灯	本体キーロック「オフ」
点灯 オレンジ色	本体キーロック「オン」



●後方 LED

通知設定の後方 LED が「オン」の場合に、下記の動作をします。
「オフ」の場合は、常に消灯します。



●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、TEMP. インジケータが点滅します。

同時に本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。
このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・ 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(▶ 154 ページ)
- ・ 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。だき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を販売店へお伝えください。

※ このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度 常時 時々(回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない(電源インジケータが青色に点灯しない)。
<input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> Ⓞ ボタンを押しても電源が入らない。
<input type="checkbox"/> 主電源スイッチは「入 (I)」側になっている。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。
<input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
<input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|---|

映像・音声関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピューターの画面が投写されない。
<input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。
<input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
<p>Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。</p> <input type="checkbox"/> 映像が出ない(ブルーバック・ロゴ・表示なし)。
<input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。
<input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。
<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
<input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。
<input type="checkbox"/> 台形に歪む(台形補正を実行してもなおらない)。
<input type="checkbox"/> 映像が切れる。
<input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。
<input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。
<input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
<input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。
<input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。
<input type="checkbox"/> 映像がちらつく。
<input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。
<input type="checkbox"/> コンピューター映像入力文字がちらついたり、色がずれている。
<input type="checkbox"/> ファンモードを「高速」から「自動」にしてもなおらない。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。
<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 |

その他

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。
<input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
<input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
<input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
<small>本体キーロック設定のある機種において</small>
<input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
<input type="checkbox"/> 本体の (KEY LOCK) ボタンを1秒以上押してもなおらない。 |
|--|--|

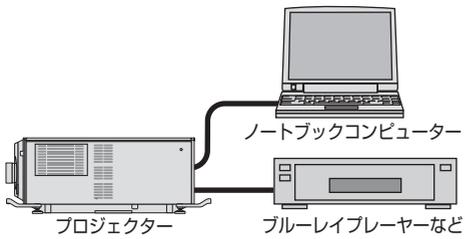
症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター
 型名: **LX-4K3500Z**
 LX-4K2600Z
 製造番号:
 購入時期:
 ライト使用時間:
 入力信号情報:
 水平同期周波数 [kHz]
 垂直同期周波数 [Hz]
 同期極性 H (+) (-)
 V (+) (-)
 同期形態 セパレート ミックス
 Gシンク
 ステータスインジケータの状態
 点灯 (オレンジ・緑)
 点滅 (回周期)

設置環境
 スクリーンサイズ: 型
 タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト
 投写距離: m
 投写方法: 天吊り 床置き
 電源コンセントは?
 壁からのコンセントを直接利用している。
 電源用テーブルタップを利用している。
 (他、接続機器の数: 台)
 電源ドラム (ロール式) を利用している。
 (他、接続機器の数: 台)

コンピューター
 メーカー:
 型名:
 ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型
 解像度:
 リフレッシュレート:
 ビデオボード:
 その他:



信号ケーブル
 純正・その他 (型名: 長さ: m)
 分配器 型名:
 スイッチャー 型名:
 アダプター 型名:

接続機器
 ビデオ・ブルーレイプレーヤー・カメラ・ゲーム・その他
 メーカー:
 型名:

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェア のライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、添付 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダー内の readme.pdf をご参照ください。

別売品／商標について

●別売品

	商 品 名	型 名
レンズユニット	固定短焦点レンズ	L2K-10F1
	ズームレンズ	L4K-11ZM
	ズームレンズ	L4K-15ZM
	ズームレンズ	L4K-20ZM
	ズームレンズ	L2K-30ZM
	ズームレンズ	L2K-43ZM1
	ズームレンズ	L2K-55ZM1

●商標について

- ・ Apple、Mac、MacBook は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing Administrator, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ DisplayPort™ および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association (VESA®) の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ DLP® および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。
- ・ PJLink および PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ その他使用説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

保証とアフターサービス

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■修理を依頼される前に

179～182ページの「故障かな?と思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼される時にご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品番

お買い上げ年月日

年 月 日

お買い上げ店名



Canon